

遠隔監視システム  
**コルソス** CS-D7  
通報装置

**工事説明書**

第6版

# 安全上のご注意

## 安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



**警告** 人が **死亡** または **負傷** を負う可能性が想定される内容です

- 機器本体から **煙** が出ていたり、**へんな臭い** がする場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- 機器本体から **異常音** が出ていたり、機器本体やコード類が **異常に高温** になっている場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- 上記以外でも、機器をご使用中に **異常** と思われる状態になった場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
- 機器に表示された電源電圧以外の電圧でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- タコ足配線してご使用になりますと、火災の原因となりますので絶対におやめください。
- 電源コードを破損し断線させたり、内部電線を露出させたままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり、危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体の上に花瓶、コップ、化粧品、植木鉢、薬品や水の入った容器、小さな金属物をのせたままご使用になりますと、こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体をふる場や加湿器のそばなど、湿気の多いところに置いたり、水がかかる恐れのある場所でご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体内に水や金属、紙などの燃えやすい物が入った場合に、そのままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険です。万一異物が入った場合には、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくはご相談窓口までご連絡ください。
- 機器本体を倒したり逆さまにしたままご使用になりますと火災、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、無理に引っ張る、ねじる、たばねる、コードの上に重いものをのせることなどは、電源コードを断線させ火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- お客様ご自身で機器本体を分解し機器内部の清掃、修理、点検、改造を行うことは火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器本体に水をかけたり、通風孔などの開口部から金属類や紙などの燃えやすいものを侵入させないでください。また、機器本体を倒したり、落下させたり、物をぶつけるなどの衝撃を与えないでください。火災、感電、故障の原因となり危険です。
- めれた手で電源コードや電源プラグにさわったり、機器を操作されますと感電の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 機器内の蓄電池などの交換をお客様ご自身で行ったり、機器で指定されていない電池を使用されますと火災、感電、故障の原因となり危険ですので絶対におやめください。
- 周辺装置を架空配線する場合は、避雷電器等十分な保護対策を行ってください。



**注意** 人が**傷害**を負う可能性が想定される内容、および**物的損害**のみ発生が想定される内容です

- 機器本体を規定以外の設置方法(仰向け、横倒し、逆さまなど)でご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。
- 機器本体を収納箱や本棚など風通しの悪い場所に置いてご使用にならないでください。機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。
- 機器本体を直接じゅうたんの上や、布団の上に置いてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。
- 機器本体にテーブルクロスなどの通気性の悪いカバーを掛けてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。
- 機器本体を屋外や直射日光の当たるところ、また冷暖房機の吹き出し口の前などに置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。
- 機器本体をゴミやほこりの多い場所、また金属粉や有毒ガスの発生する場所に置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。
- 機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置いてご使用にならないでください。故障、誤動作の原因となります。
- 機器本体に乗らないでください。倒れたり破損して、けがをする場合があります。
- 長時間機器をご使用にならない場合には電源を切り、安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。
- 機器本体に高温の発熱体や熱器具を近づけないでください。溶けて発火したり、変色する場合があります。
- 電源コードを高温の発熱体や熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となる場合があります。
- 機器本体を壁掛けにしてご使用になる場合には、振動や衝撃等によって落下しないようにしっかりと壁に固定してください。機器が落下して、けがをする場合があります。
- 機器本体をぐらいついた台の上や傾いた所、また振動や衝撃を受けやすい場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをする場合があります。
- 電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となる場合があります。
- コンセントから電源プラグを抜く際は、必ず電源プラグ本体を持って抜くようにしてください。コードを引っ張りますと、コードが傷つき断線したり、火災、感電の原因となる場合があります。
- 機器本体を移動させる場合には、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードを傷つけますと、火災、感電の原因となる場合があります。

## お願い

本製品が本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねくことが想定される内容です

★ご使用にあたり次のお願いをお守りください。

- 機器本体をベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色や変形、破損の原因となります。汚れがひどい場合には、布にうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭き取り、その後かわいた布で拭くようにしてください。
- 機器本体を落としたり、強い衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。
- 機器本体をテレビ、ラジオ、スピーカや無線機などの強い磁気、電波を発生させる機器のそばに置かないでください。故障や、誤動作の原因となる場合があります。
- お客様がご用意された機器を、本システムに接続してご使用になる場合には、あらかじめ販売店もしくはご相談窓口にご確認ください。

本文で、機器とは主装置などの全ての装置を示します

# 目次

1. 概要	1
2. システム構成	
2. 1 システム構成例	2
2. 2 システム構成品と機能説明	3
3. システム仕様	4
4. 外形寸法および重量	5
5. システム定格	5
6. 接続(周辺)機器の規格	6
7. 設置工事	
設置工事フローチャート	7
7. 1 手配品の確認	8
7. 2 工事依頼書の確認	8
7. 3 設置場所の確認	8
7. 4 本システムの取付	9
7. 5 ユニットの設定・取付	
7. 5. 1 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明	10
7. 5. 2 オプションユニットの実装	15
7. 5. 3 オプションユニットの取付	16
7. 6 配線工事	17
7. 7 電池の取付	24
7. 8 電源投入後の確認	25
8. キーボードメンテナンス機能(保守機能)	27
◆ 新設時のシステムデータ設定について	27
◆ キーボードメンテナンスで使用するキーの働き	28
◆ キーボードメンテナンスの基本操作手順	28
1. メッセージを録音する方法	29
2. システムデータを設定する方法	30
◇ システムデータの設定方式	30
◇ システムデータ設定(通報先設定)の考え方	31
◇ システムデータ設定例	32
2-1. ノーマル設定でシステムデータを設定する方法	34
2-2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法	36
2-3. システムデータを保存する方法	38
2-4. 変更前のシステムデータを読み込む方法	40
2-5. システムデータを初期化する方法	41
3. 日時を設定する方法	42
4. 各端子の現在状態をLCDに表示する方法	44
5. 通報履歴等をLCDに表示する方法	45
6. システムデータ等をプリントアウトする方法	46
7. 簡易オンラインメンテナンスを行う方法	47
8. システムバージョンをLCDに表示する方法	47
9. ユニットバージョンをLCDに表示する方法	48
10. 履歴をクリアする方法	48
11. 積算値をクリアする方法	49
12. システムをオールリセットする方法	49
9. システムデータ設定内容	50
システム機能	
種別01: IDコード	51
種別02: メッセージ録音条件	52
種別03: 回線断検出機能	53

# 目 次

回線機能	
種別10:NCU機能	54
種別11:アンサ信号	55
種別12:エンド信号	56
種別13:DTMFデータ	57
自動応答機能	
種別20:自動応答	58
種別21:暗証番号	59
種別22:テレコントロール	60
種別23:オンラインメンテナンス	61
通報機能	
種別30:通報先	62
種別31:通報グループ	64
種別32:通報モード切替	66
種別33:通報動作設定	67
種別34:集音マイク	68
種別35:出力接点	69
種別36:センサ入力	70
種別37:アナログ入力	72
種別38:アナログ入力定時記録・印刷	75
種別40:AND通報	76
種別41:定時通報	78
種別42:定時状態通報	80
種別43:停電・復電通報	82
種別44:ローバッテリー通報	83
種別45:蓄電池交換通報	84
種別47:モード切替通報	85
エレベータホン機能	
種別60:通報先Aグループ	86
種別61:通報先Bグループ	87
種別62:呼出モード切替	88
種別63:Aグループタイマ	89
種別64:Bグループタイマ	90
種別65:通報方式	91
種別66:通話方式	92
種別67:子機設定	93
FAX機能	
種別70:FAX基本	94
種別71:FAXセンサ入力	95
種別72:FAXアナログ入力	96
種別73:FAX AND	98
種別74:FAXシステム	99
種別75:FAX出力接点	100
種別76:FAX計算	101
種別77:FAX統計	102
10. FAX機能	
10. 1 標準設定	103
10. 2 帳票フォーマット	104
10. 3 設定項目	107
10. 4 設定文字	110
11. 参考資料	
◆ノーマル設定一覧表	111
◆ダイレクト設定一覧表	112
◆固定通報メッセージ	119
◆固定通報DTMFデータ	121
◆機能概要表	123
◆テレコントロール機能	129
◆オンラインメンテナンス機能(保守機能)	136
◆音声通報タイミングチャート	138
◆CS・D7通報装置 外観図	143

# 1. 概 要

コルソスCS・D7通報装置は、センサからの起動信号により、所定の宛先に自動ダイヤル発信を行い、異常／復旧情報やアナログ値情報を音声メッセージやデータで通報します。

また、テレコントロール機能により、外部の専用受信システムや一般電話機等から回線を通じて、現在のセンサの状態を確認することや、出力接点の遠隔制御を行うことができます。また、集音マイク、外部スピーカを接続し、臨場音聴取や拡声を行うことができます。各種オプションセット（別売）を組み合わせ、様々な機能を実現できます。

オプションセットは1セットの実装が可能です。

オプションセットを実装することにより、お客様のニーズに合せたシステムの構築が簡単に実現できます。

例えばEVUセット（エレベータホン通話ユニットセット）を実装すれば、本装置にエレベータホンセットが接続できます。

エレベータホン子機からの起動信号により、所定の宛先に自動ダイヤル発信を行い、設置先／子機番号情報をデータで通報し、通報先とハンズフリー／プレストーク通話が可能です。

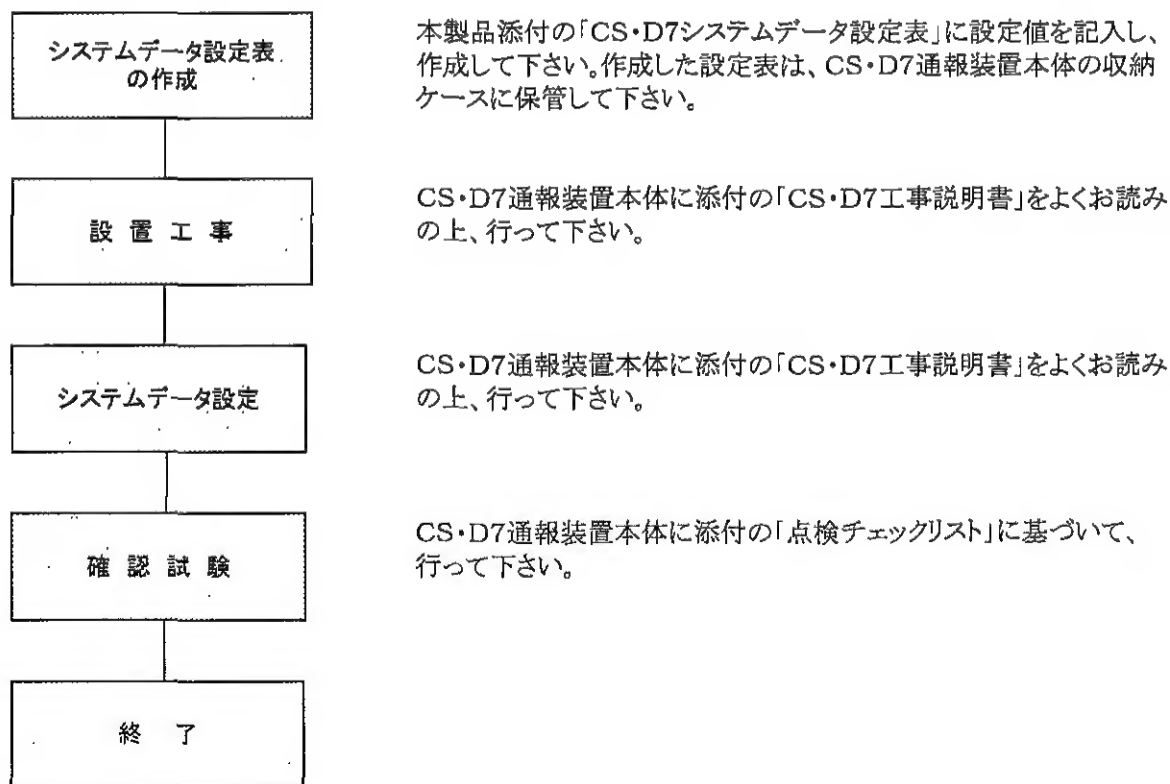
また、テレコントロール機能により、外部の専用受信システムや一般電話機から回線を通じて、通話方式切替等の遠隔操作を行うことができます。

また、FAXセット（FAX通信ユニット）を実装することにより、従来の音声通報、データ（PB）通報に加え、FAXへの通報が可能となります。

FAXへは、各種状態発生情報を表示する異常復旧通報、前日のデータ集計結果等を表示する日報、前月のデータ集計結果等を表示する月報等の各帳票で通報します。

また、FAXからのテレコントロールにより、任意に現在の各種状態や前回、前々回の日報および月報を出力することも可能です。

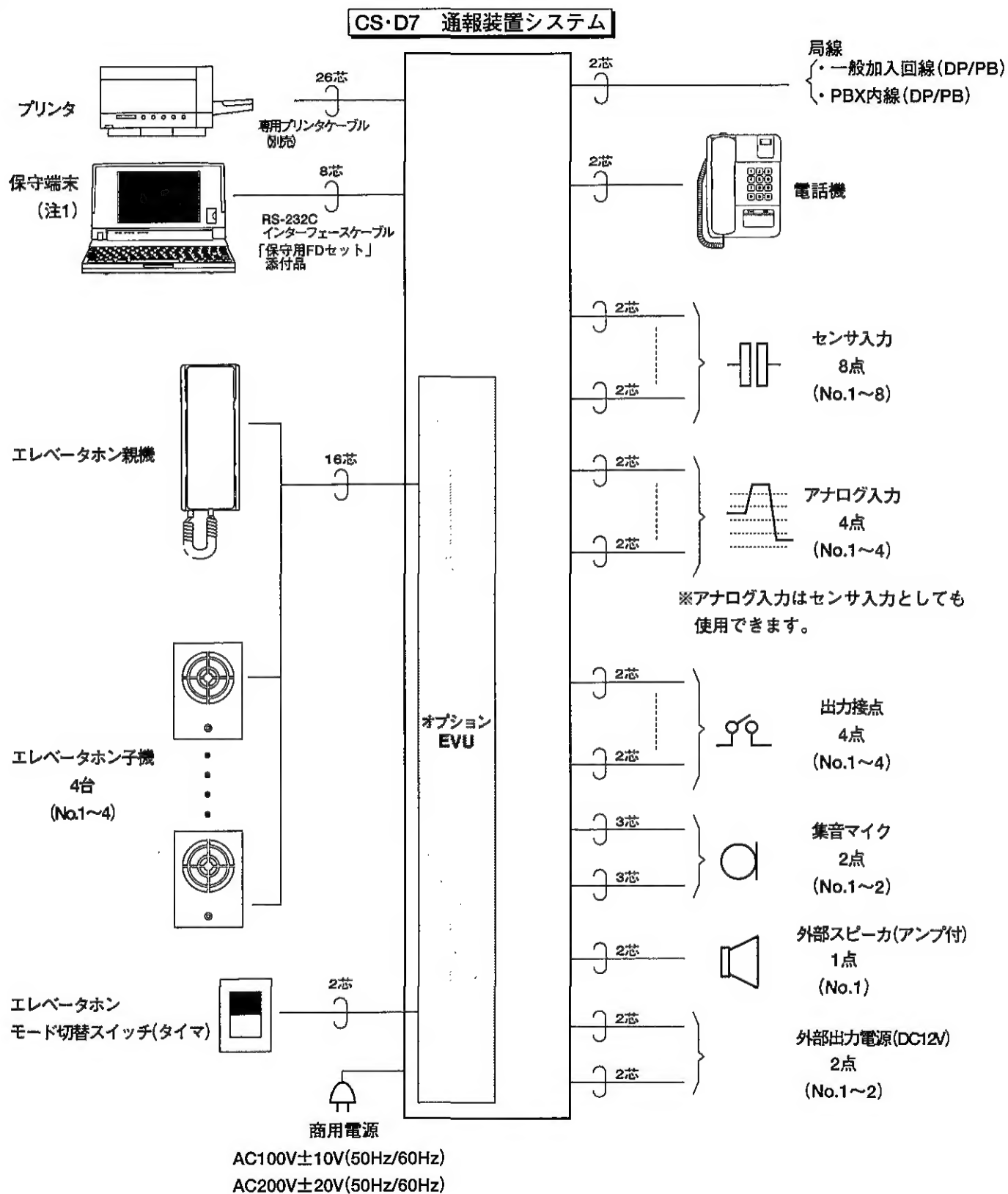
新設時または既設のシステム変更時は、必ず以下のフローチャートに従って行って下さい。



## 2. システム構成

### 2.1 システム構成例

本装置にオプションとしてEVUセット：1セットを実装した場合の構成例です。



注1. 保守端末は、「保守用FDセット」(別売)が動作可能なパソコンのことです。

## 2.2 システム構成品と機能説明

### ◆基本装置

No	品 名	数量	機能および構成品
1	CS・D7通報装置	1	<p>機能: センサ等の機器を接続し、各通報機能を実現できます。</p> <p>・センサ入力: 8点 ・アナログ入力: 4点 ・出力接点: 4点 ・外部出力電源: 2点</p> <p>・集音マイク: 2点 ・外部スピーカ: 1点</p> <p>実装可能なオプションユニット枚数: 1枚</p> <p>構成品( )内は数量:</p> <p>・CS・D7 通報装置(1) ・カギ(2) ・予備ヒューズ(2) ・木ネジ(4)</p> <p>・蓄電池(1) ・壁掛け工事シート(1) ・取扱説明書(1) ・工事説明書(1)</p> <p>・システムデータ設定表(1) ・販売店並びに取付工事店様へのお願い(1)</p> <p>・点検チェックリスト(1) ・重要回線ラベル(3) ・商品ご相談窓口一覧表(1)</p> <p>・保証書(1) ・コア大(1) ・コア小(1)</p>

### ◆オプションユニット

No	品 名	数量	機能および構成品
1	CSD7-EVU-A1	1	<p>機能: エレベータホン通話ユニットのセットです。</p> <p>指定のエレベータインターホンを接続し、エレベータホン機能を実現できます。</p> <p>・インターホン親機端子: 1点 ・インターホン子機端子: 4点</p> <p>・エレベータホンモード切替用端子: 1点</p> <p>構成品( )内は数量:</p> <p>・CSD7-EVU-A1(1) ・取付ネジ(5) ・コア大(1)</p>
2	CSD7-FAXU-A1	1	<p>機能: FAX通報用ユニットのセットです。</p> <p>各種帳票(月報・日報・異常復旧通報)でFAXに通報します。</p> <p>構成品( )内は数量:</p> <p>・CSD7-FAXU-A1(1) ・取付ネジ(5) ・ユニットカバー(1)</p> <p>・リチウム電池(EX1335-0010)(1) ・保守用FD(2)</p> <p>・保守用FDセット運用マニュアル(1)</p> <p>※保守用FDを使用してパソコンとCSD7を接続する場合は、接続ケーブル(別売)が必要です。(保守用品No. 4参照)</p>

### ◆オプション品

No	品 名	数量	機能および構成品
1	MT-1Dプリンタケーブル EV8817-0000	1	<p>機能: CS・D7通報装置と外付プリンタを接続する専用プリンタケーブルです。</p> <p>構成品( )内は数量:</p> <p>・プリンタケーブル(1)</p>

### ◆保守用品

No	品 名	数量	機能および構成品
1	保守用FDセット	1	<p>機能: Windows95対応のシステムデータ編集ソフトです。</p> <p>パソコンにてシステムデータのアップ/ダウンロードが行えます。</p> <p>アップ/ダウンロード方式は、以下の2通りです。</p> <p>①接続ケーブルを使用してCS・D7通報装置に接続し、システムデータをアップ/ダウンロードします。</p> <p>②モデムカード(別売)を使用して遠隔より電話回線を通して、システムデータをアップ/ダウンロードします。</p> <p>構成品( )内は数量: ・保守用FD(2) ・接続ケーブル(1) ・取扱説明書(1)</p>
2	モデムカード	1	<p>機能: 上記パソコンで、遠隔より電話回線を通して、システムデータをアップ/ダウンロードする為のモデムカードです。</p> <p>構成品( )内は数量:</p> <p>・モデムカード(1)</p>
3	蓄電池12V, 0.8Ah EX0303-0030	—	<p>機能: 交換および増設用の蓄電池です。蓄電池の寿命は、約2年です。</p> <p>構成品( )内は数量:</p> <p>・蓄電池(1)</p>
4	HX-PC接続ケーブル-1 EV9982-0010	1	<p>機能: 上記パソコンとCS・D7通報装置を接続し、システムデータをアップ/ダウンロードする為の接続ケーブルです。(保守用FDセットの構成品と同一品です。)</p> <p>構成品( )内は数量:</p> <p>・接続ケーブル(1)</p>



### 3. システム仕様

#### ◆ NCU(回線)

No	項目	最大容量	記 事
1	適用回線	1	一般加入回線またはPBX内線
2	ダイヤル方式	3	DP(10PPS)/DP(20PPS)/DTMF(PB)
3	ダイヤル桁数	32	0~9、*、#、ポーズ、フラッシュ
4	BT検出	有/無	
5	DTMF信号(データ)		
	送出ゲイン	0~14dB	調整は工事担任者の資格を有するものに限りです。

#### ◆ 通報機能

No	項 目	最大容量	記 事	
1	通報機能	10	①センサ(異常・復旧／パルス積算／時間積算) ②アナログ(異常・復旧(しきい値:5)／アナログ積算) ③AND条件 ④定時 ⑤定時状態 ⑥停電・復電 ⑦ローバッテリー ⑧蓄電池交換 ⑨モード切替 ⑩一括	
2	センサ／アナログ入力	12	外部スイッチおよび外部停止ボタン使用時は、10入力	
	センサ入力数	8	無電圧メーク／ブレーク接点	
	センサ／アナログ選択入力数	4	センサ入力:無電圧メーク／ブレーク接点 アナログ入力:電圧0～4.9725V、電流0～20mA (アナログ入力時は、アナログセンサ切替スイッチおよびシステムデータの設定が必要)	
	入力検知時間	0.05秒～5分		
3	その他入出力			
	出力接点数	4	メーク／ブレークを設定可能	
	集音マイク接続数	2		
	外部スピーカ接続数	1		
4	通報先			
	通報先電話番号登録件数	32	各通報先毎に以下を設定可能	
	通報方式	6	固定音声／録音音声／DTMF／DTMF+固定音声／DTMF+録音音声／ポケットベル	
	応答検出方式	音声通報	5	極性反転／応答タイマ／課金パルス／DTMF信号／オーディオ信号
		DTMF通報	1	アンサ信号
		ポケットベル通報	3	極性反転／応答タイマ／課金パルス
	通報グループ数	32	各通報グループ毎に以下を設定可能	
	通報モード数	2	通報モード1／通報モード2	
	通報宛先設定件数	8	通報先電話番号登録32の中から、各通報モード(1／2)毎に設定可能	
	自動発信回数	255	各通報グループ毎に設定可能	

#### ◆ エレベータホン機能

No	項目	最大容量	記 事
1	接続機器		
	インターホン親機接続数	1	
	インターホン子機接続数	4	
2	通報先		
	呼出モード数	3	インターホン/Aグループ/Bグループ
	通報先電話番号登録件数	3	各グループ(A/B)毎に設定可能
	応答検出方式	1	DTMF信号

#### ◆ FAX機能

No	項目	仕様	記 事
1	形式	送信専用 G3機	
2	送信原稿サイズ	A4 幅216mm	
3	伝送速度	9600/7200/4800/2400bps 自動切替(フォールバック機能)	
4	走査線密度	主走査(水平):8ドット/mm 副走査(垂直):7.7本/mm	

## 4. 外形寸法および重量

(オプションユニットの重量は含まれていません)

品 名	重量 (Kg)	外形寸法(mm)		
		幅	高さ	奥行き
CS-D7 通報装置	約3	263	355	74

## 5. システム定格

### ◆電源電圧・消費電力

動作電源電圧		AC100V±10V(50Hz/60Hz) AC200V±20V(50Hz/60Hz)			
消費電力	オプションユニット実装枚数	消費電力			
		待機時		動作時(最大)	
		100V	200V	100V	200V
	なし	4W	6W	10W	12W
	EVU: 1	6W	8W	15W	17W
	FAXU: 1	6W	8W	15W	17W

### ◆局線線路抵抗

局交換機品名	規 格
A形およびH形	ループ抵抗: 1, 000Ω以下
C1形およびC2形	ループ抵抗: 1, 200Ω以下
クロスバ形(C1形およびC2形を除く)およびD形(電子交換機)	ループ抵抗: 1, 700Ω以下

### ◆大地アース

大地アース種別	規 格
	第3種設置工事(設置抵抗100Ω以下)

### ◆停電動作

停電動作	充電時間
6時間(蓄電池の増設により12時間)待機後3宛先へ通報可能 (ただし、オプションユニットおよび外部出力電源を使用しない場合)	48時間以上

注1. 工場出荷時には、完全充電を行っていませんので、設置時予め充電してください。

注2. 蓄電池の寿命は約2年です。停電の有無に関わらず必ず2年毎に交換してください。

注3. 外部出力電源(MAX:200mA)を使用した場合、約2時間となります。

### ◆使用温度・使用湿度範囲

使用温度範囲	使用湿度範囲
-5~40℃	90%以下

### ◆認定番号および色(外観)

認定番号	色
S98-4065-0	マンセル 7.9Y 8.3/0.6

### ◆工事用品

配線ケーブル	規 格
電話用屋内配線	0.5Φ以上
アース線	1.6Φ1V等 2X1.2Φ1V等
周辺機器(センサ等)配線	0.5Φ以上

注1. 0.4Φの線材は、使用しないで下さい。

## 6. 接続(周辺)機器の規格

CS・D7 通報システムに接続できる接続(周辺)機器の規格は下表の通りです。

### ◆通報関係

接続箇所	接続(周辺)機器	指定品	NTKコード	規格
MDU	外付電話装置	—	—	技術基準適合認定品
	センサ入力	—	—	内部印可電圧:DC5V(内部抵抗:2.2k $\Omega$ ) 各系統共ループ抵抗:200 $\Omega$ 以下
	熱線、防犯及びその他のセンサ	—	—	無電圧マーク/ブレーク接点方式
	モード切替用外付スイッチ(タイマ)	—	—	無電圧方式ロックスイッチ
	外部停止ボタン	—	—	無電圧方式ノンロック押しボタンスイッチ
	アナログ入力	—	—	入力インピーダンス:100k $\Omega$ 入力電圧:DC0~4.9725V 入力電流:DC0~20mA 各系統共ループ抵抗:200 $\Omega$ 以下
	集音マイク(SU630、SU730)	○	8916	アツミ電気製 各系統共ループ抵抗:200 $\Omega$ 以下
	外部スピーカ(3Wアンプボックス)	○	6736	内蔵アンプおよびリモート端子付き 入力インピーダンス:600 $\Omega$ (100mV~300mV) であれば、他製品でも可
	接点出力に接続される装置	—	—	定格電圧:AC120V、DC60V 定格電流:1A 各系統共ループ抵抗:200 $\Omega$ 以下
	外部出力電源(DC12V)を使用する装置	—	—	トータル消費電流:200mA以下 (200mAを超えるとF4ヒューズが溶断します)

### ◆エレベータホン関係

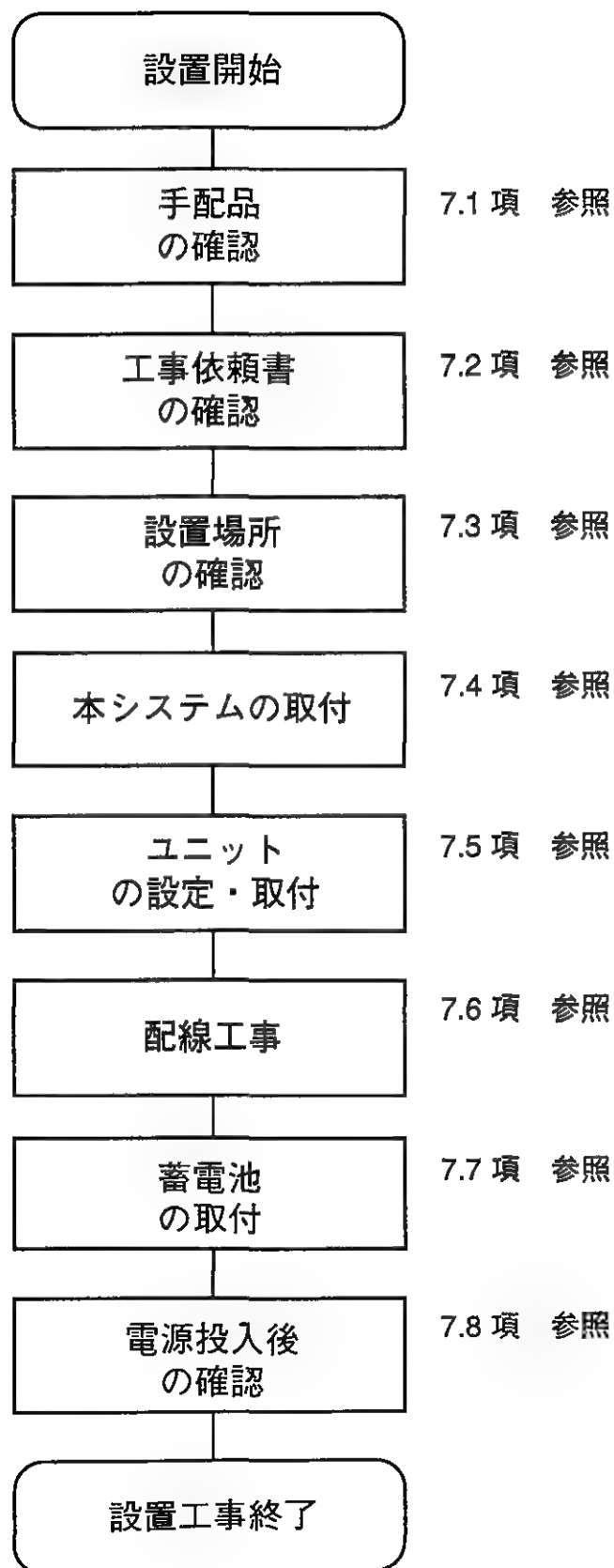
接続箇所	接続(周辺)機器	指定品	NTKコード	規格
MDU	E-01M形(6V系単局用)	○	—	日本インターホン製
	E-02M~E-04M形 (6V系多局用)	○	—	日本インターホン製
	EZ-01M形(24V系単局用)	○	—	日本インターホン製
	EZ-02M~E-04M形 (24V系多局用)	○	—	日本インターホン製
	エレベータホンモード切替用 スイッチ(タイマ)	—	—	無電圧方式ロックスイッチ ループ抵抗:200 $\Omega$ 以下

### ◆保守関係およびその他

接続箇所	接続(周辺)機器	指定品	NTKコード	規格
内カバー	プリンタ	—	—	コネクタ :セントロ36P 制御コード :PC-PR系 接続ケーブル:専用プリンタケーブル(別売)
内カバー	RS-232Cに接続する装置	—	—	保守用FDセット(別売)が動作可能なパソコン 接続ケーブル:保守用FDセット添付品
内カバー	録音ジャックに接続する装置	—	—	接続ジャック:3.5 $\phi$ ミニピンジャック(モノラル)

## 7. 設置工事

設置工事は下図のフローチャートに従って行います。



## 7.1 手配品の確認

- (1) 本装置および周辺機器の手配漏れが無い確認して下さい。
- (2) 工事の手配漏れが無い確認して下さい。

## 7.2 工事依頼書の確認

本工事の依頼を受けた時点で、その工事内容を把握し前項のシステム構成より必要なオプションユニットおよび周辺機器等の注意事項を確認し作成する。

## 7.3 設置場所の確認

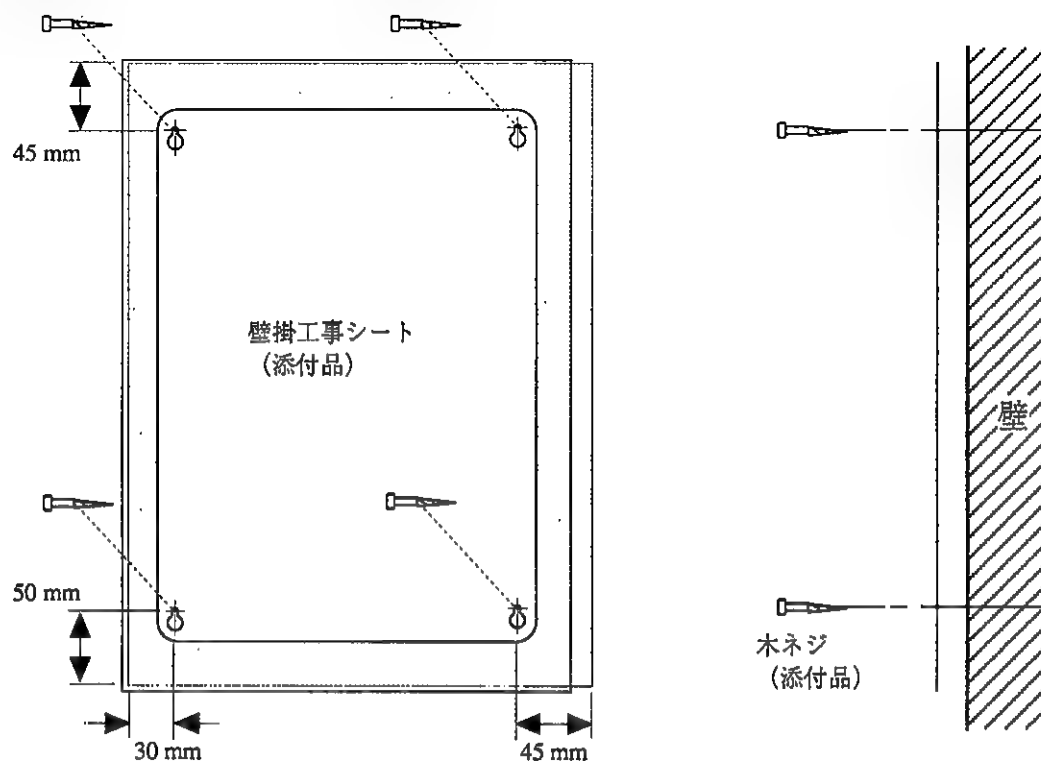


項 目	設置条件	注意事項
設置環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 温度：-5～40℃</li><li>・ 湿度：90%以下</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 急激な温度、湿度の変化がないこと。</li></ul>
設置場所	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 直射日光、暖房器具などで高温、多湿にならない場所</li><li>・ 著しく温度の低下しない場所</li><li>・ 振動・衝撃、ゴミ・ホコリが少ない場所</li><li>・ 冠水、薬品類（ガソリン・ベンジン・シンナー等）のかかる恐れのない場所</li><li>・ 溶接機、高周波ミシンなど電氣的ノイズを発生する物やラジオ、テレビなど高周波信号を扱っている機器が近くにない場所</li><li>・ 通行、物の出し入れがあり、保守点検作業に支障がない場所</li></ul>	
電源設備	<ul style="list-style-type: none"><li>・ AC100V±10V（50Hz/60Hz）または、AC200V±20V（50Hz/60Hz）</li><li>・ 24時間電源が供給されていること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電源コンセントが近くにある場所</li></ul>
通信設備ケーブル	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 通信用第3種アースがとれる場所</li></ul>	

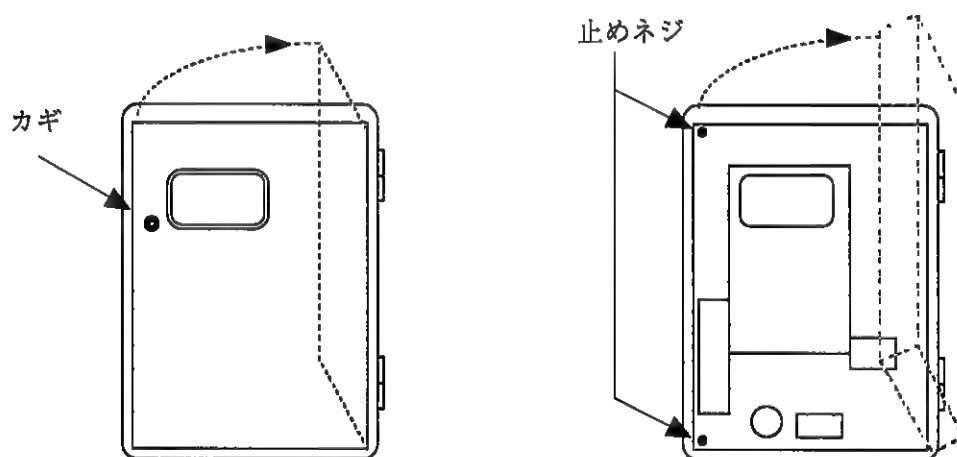
## 7.4 本システムの取付

CS・D7 通報装置本体は、下図の如く壁面に設置して下さい。

設置の際は、添付されている壁掛工事シートおよび木ネジを利用して下さい。



① ネジの取付



④ 外カバー扉、内カバー扉を開く

① 壁掛工事シートを壁面に貼付け、取付位置を決めた上、添付品の木ネジを壁面取付寸法の位置に締め付け固定します。

※網掛け部に他の装置等を配置しないで下さい。

② 木ネジ（４ヶ）固定後、壁掛工事シートを必ず取除いて下さい。

③ ①項で固定した木ネジに本体装置を引っかけます。

④ 添付のカギを使って外カバー扉を開けます。

左側の止めネジ２本をゆるめ、内カバー扉を開きます。

※内カバー扉とベース（取付面側筐体）は外せるようになっています。内カバー扉のみを手で持った場合、内カバー扉とベースが外れますので注意して下さい。

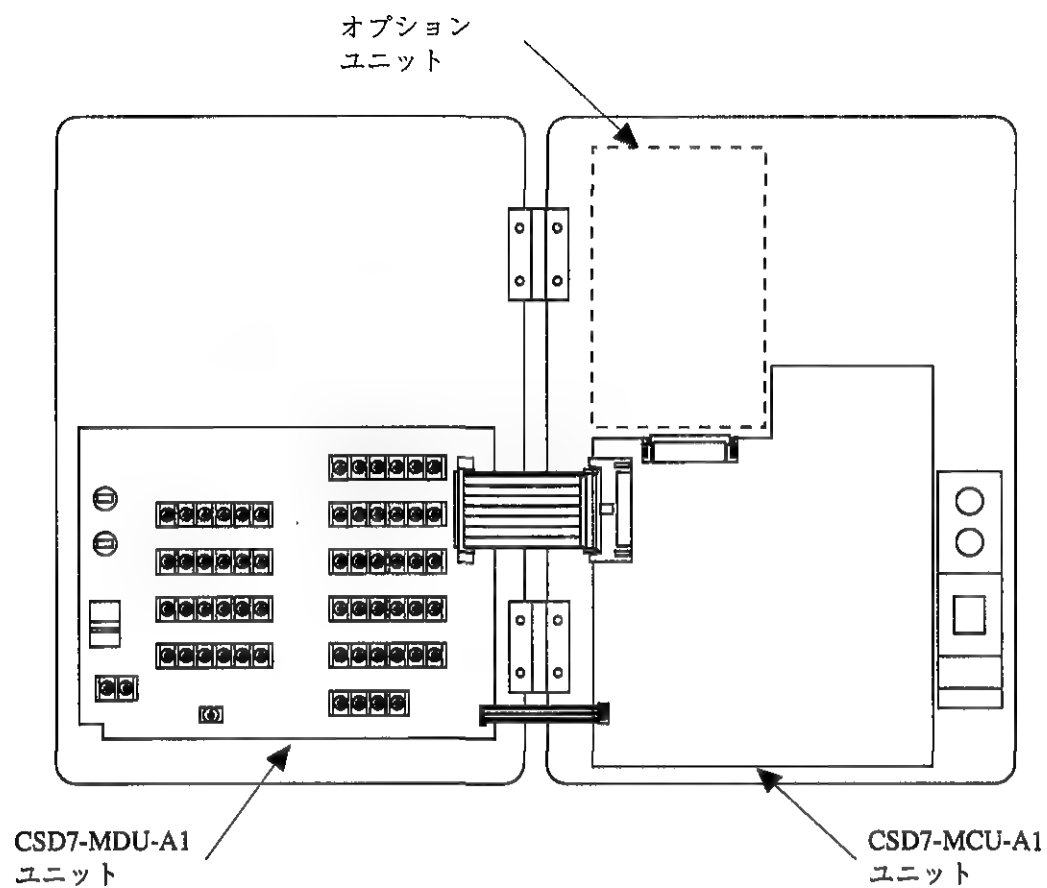
⑤ 引っかけた本体装置ががたつかないように、木ネジをさらに締め付け固定して下さい。

## 7.5 ユニットの設定・取付

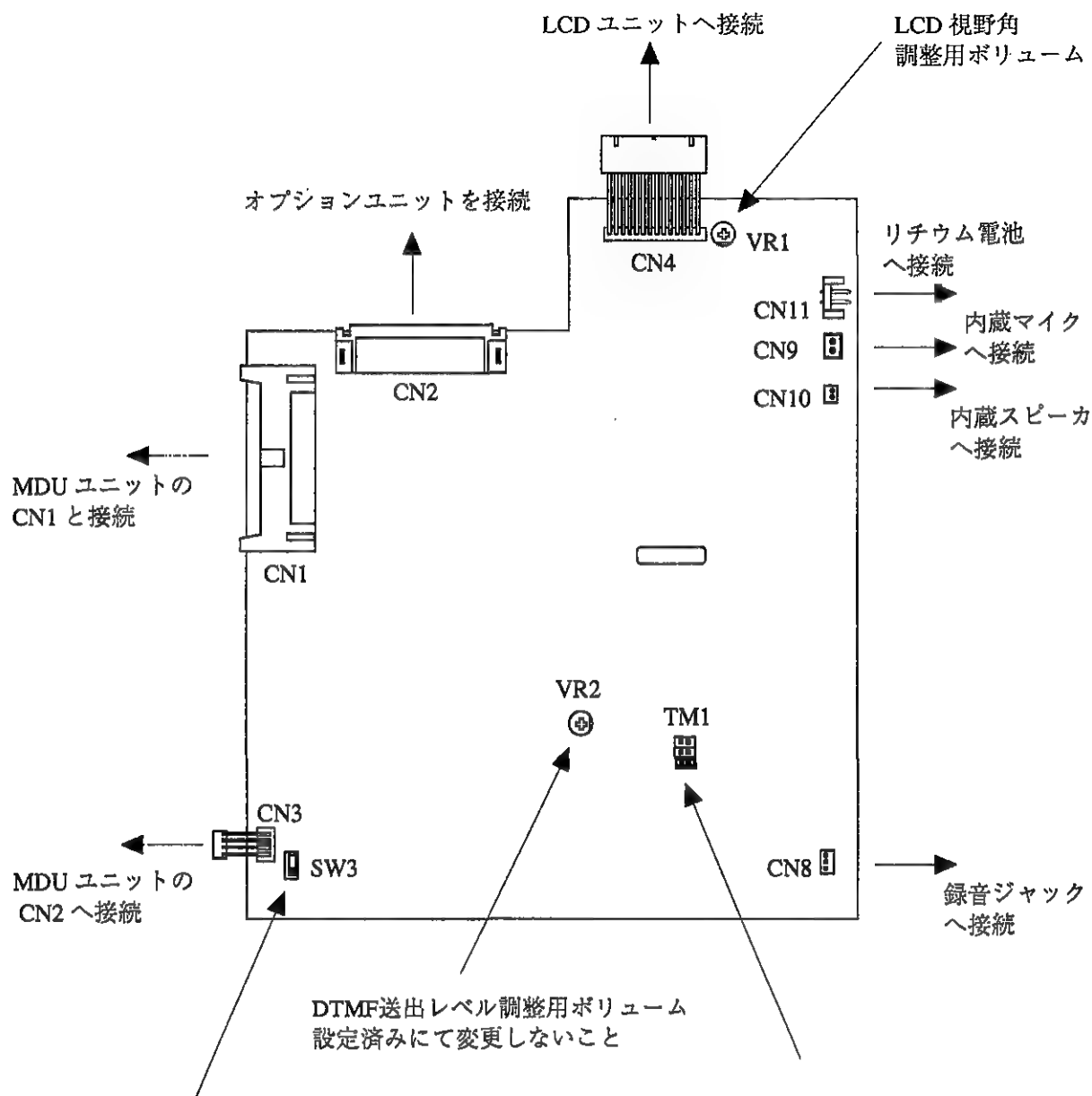
### 7.5.1 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明

#### (1) ユニットの位置

各ユニットは、下図（内カバー扉を開けた状態）の通り実装されています。



(2) CSD7-MCU-A1  
【MDU ユニット側】



回線切替えスイッチ  
PBX 内線に接続する場合は、  
ON に設定します。

音声（固定、録音）メッセージ送出レベル  
設定用ショートピン

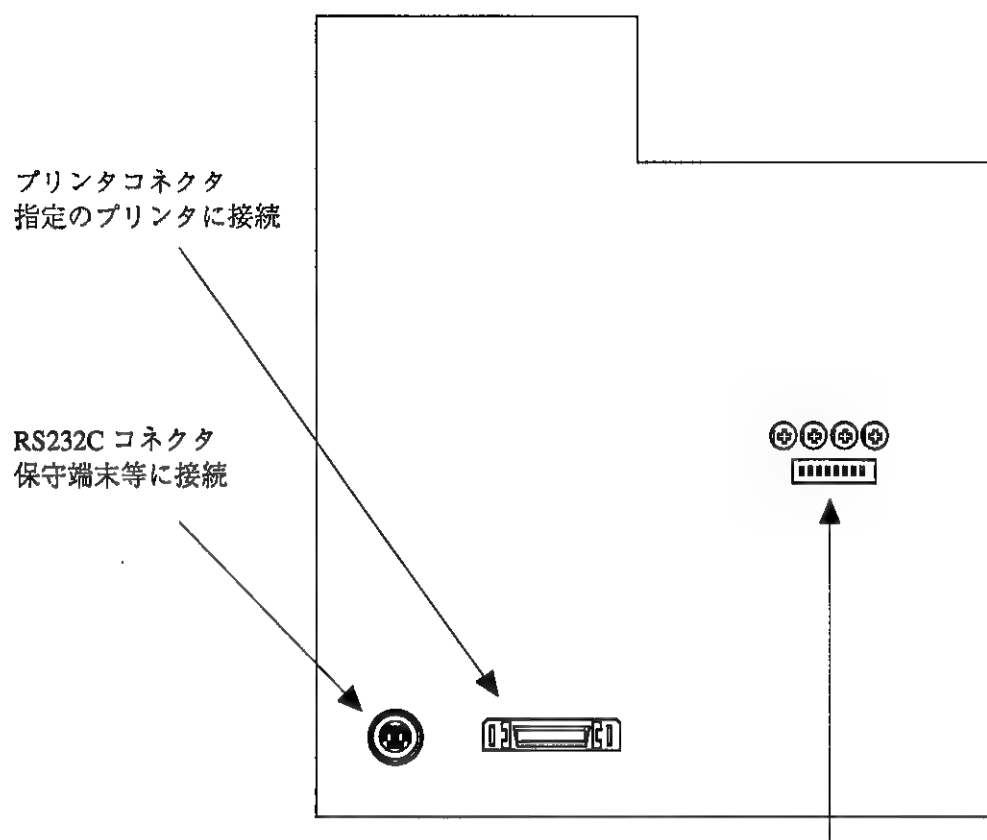
2	1	大
4	3	中
6	5	小（初期値）

**注意**：調整は工事担任者の資格を  
有する者に限ります。



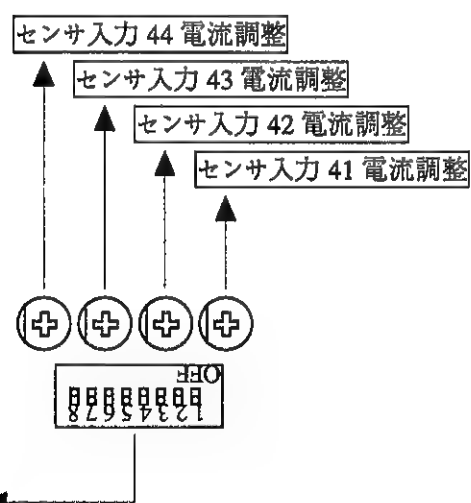
## 【外カバー扉側】

コネクタやスイッチは、外カバー扉を開けゴムカバーを外して接続または操作を行います。



Dip SW								センサ	
8	7	6	5	4	3	2	1	No.	タイプ
						OFF	ON	41	接点入力 41 (初期値)
						ON	OFF		アナログ 01 (電流) 入力
						OFF	OFF		アナログ 01 (電圧) 入力
				OFF	ON			42	接点入力 42 (初期値)
				ON	OFF				アナログ 02 (電流) 入力
				OFF	OFF				アナログ 02 (電圧) 入力
		OFF	ON					43	接点入力 43 (初期値)
		ON	OFF						アナログ 03 (電流) 入力
		OFF	OFF						アナログ 03 (電圧) 入力
OFF	ON							44	接点入力 44 (初期値)
ON	OFF								アナログ 04 (電流) 入力
OFF	OFF								アナログ 04 (電圧) 入力

アナログセンサ切替スイッチ



### 電流調整の仕方

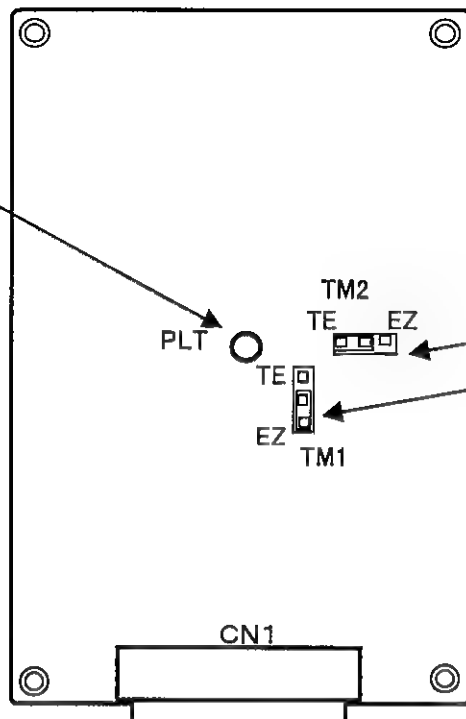
- ① キーボードメンテナンスでアナログ入力の端子状態を表示させます。(取扱説明書を参照)
- ② 電流センサを100%の状態にします。
- ③ ボリュームを回して端子状態の表示を100%にします。

### (3)オプションボード

#### ①CSD7-EVU-A1

##### 動作確認用ランプ

活性化中	早い点滅(約15秒)
活性化後	遅い点滅



##### エレベータンタイプ設定用ショートピン

TE型	TE型エレベータン接続時
EZ型	EZ型エレベータン接続時

#### ②CSD7-FAXU-A1

使用しません

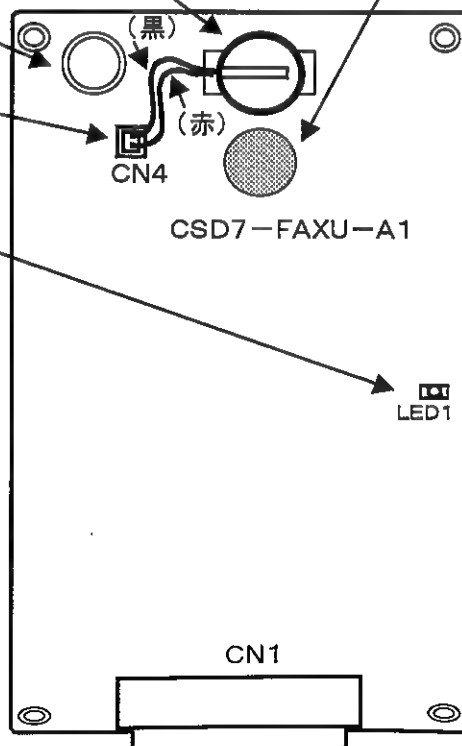
リチウム電池  
接続コネクタ

##### 動作確認用ランプ

活性化中	早い点滅(約15秒)
活性化後	遅い点滅

リチウム電池  
(添付品)

リチウム電池固定用スポンジ  
(表面の保護シートを剥がすと  
粘着シートになります)



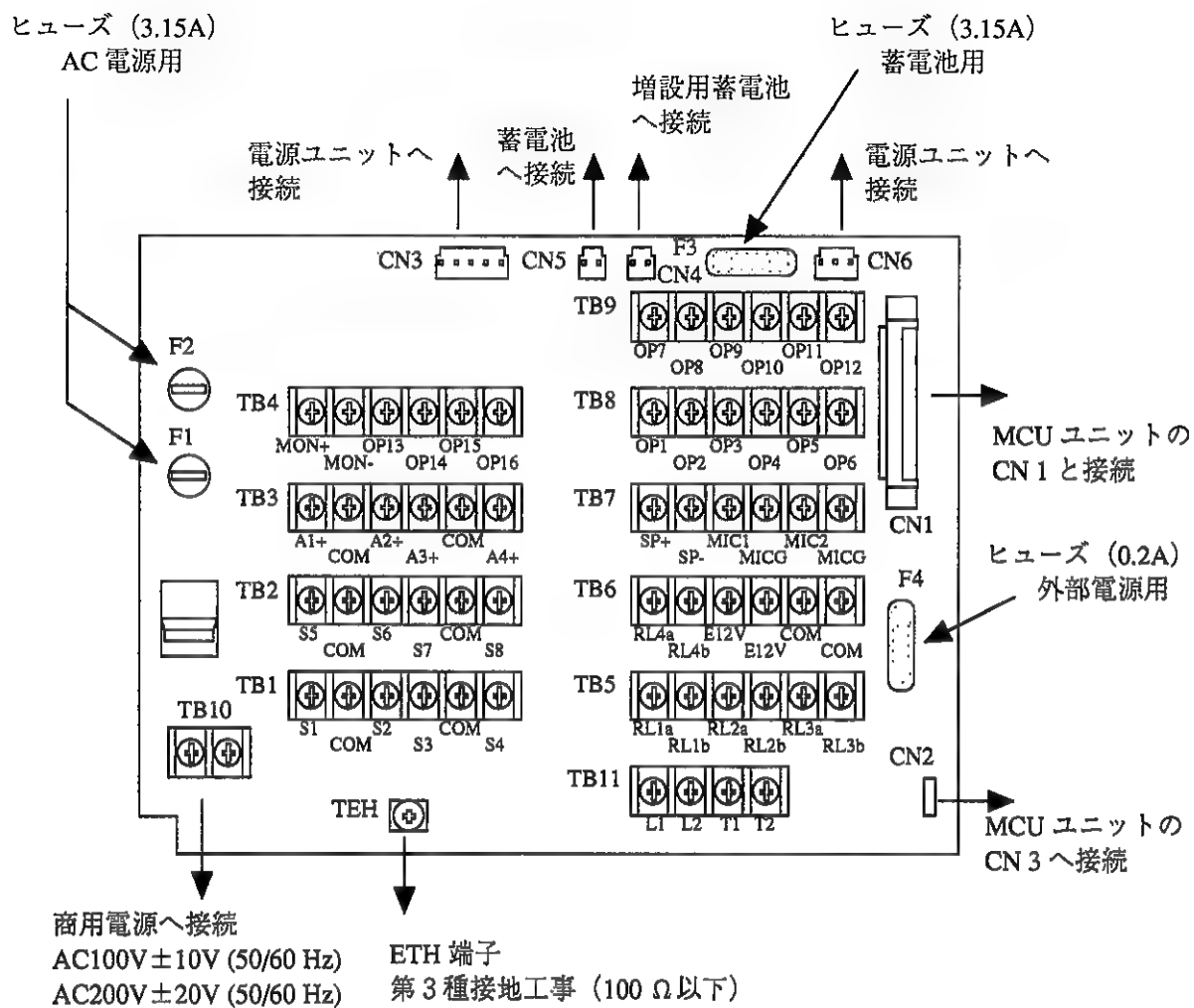
#### リチウム電池の取付方法

- ①リチウム電池固定用スポンジの保護シートを剥がします。
  - ②リチウム電池をリチウム電池固定用スポンジに張り付け固定します。(「CSD7-FAXU-A1」の品名が隠れないように貼り付けて下さい。)
  - ③リチウム電池のコネクタをCSD7-FAXU-A1ユニットのCN4に接続します。
- ※リチウム電池は、通常の使用では交換不要です。

#### ⚠ 警告

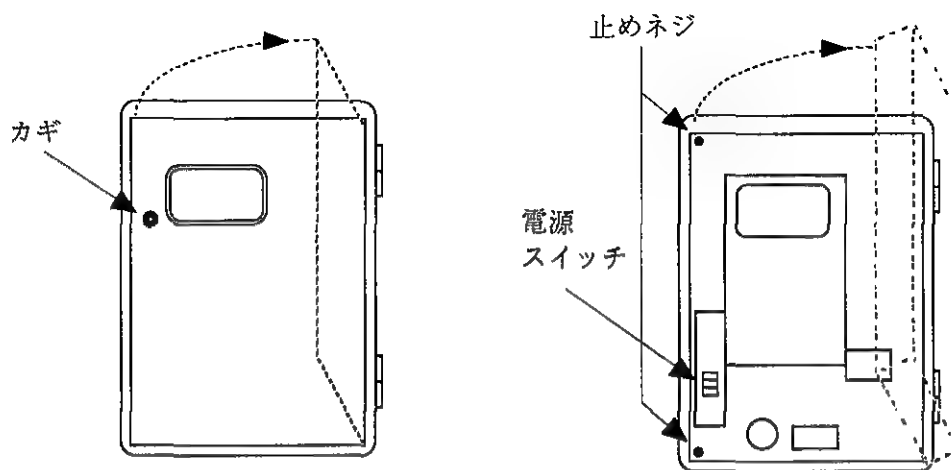
- ・指定外電池を使用すると爆発を起こす恐れがあります。
- ・リチウム電池は、必ず接続して下さい。
- ・接続しない場合は、日報や月報のデータが消えることがあります。
- ・リチウム電池は、必ず接続して下さい。

#### (4) CSD7-MDU-A1

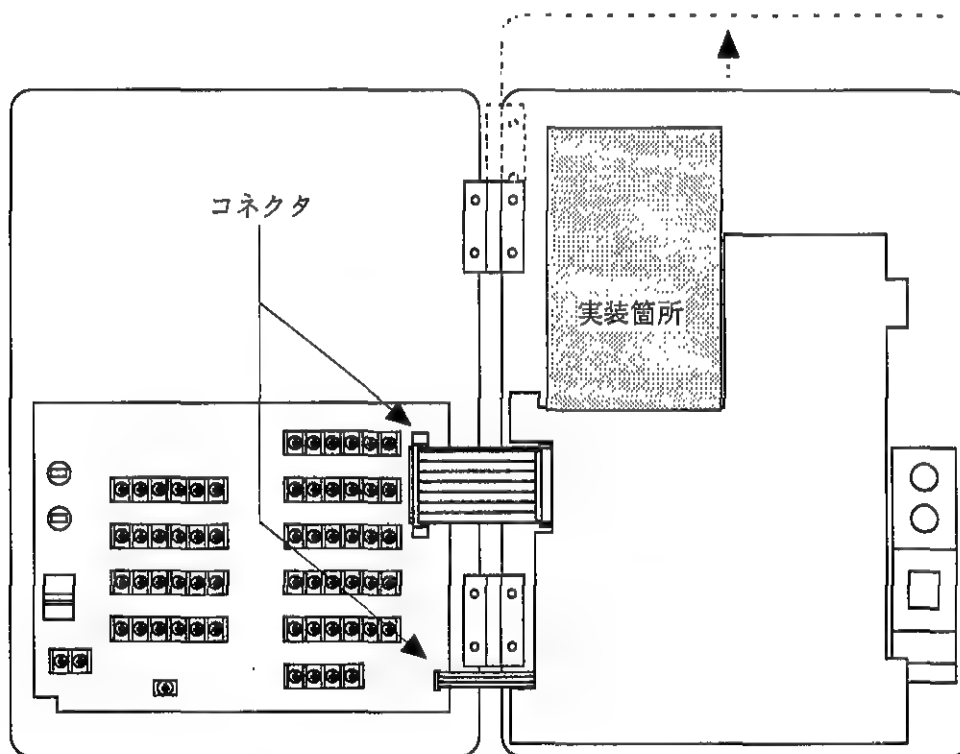


## 7.5.2 オプションユニットの実装

エレベータホンユニットは、下図の通り CS-D7 通報装置本体の内カバー扉に実装します。



② 外カバー扉、内カバー扉を開く

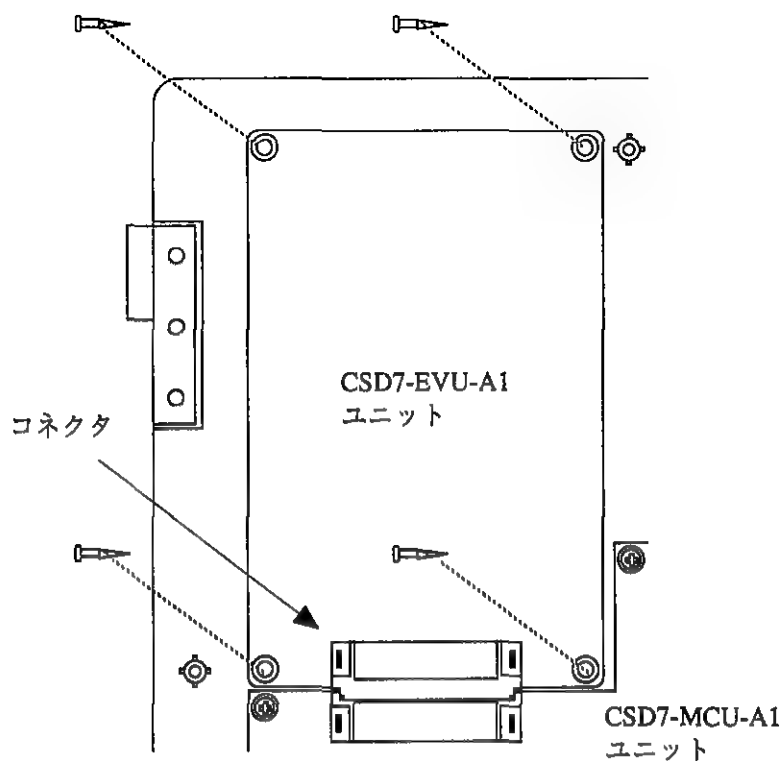


③ 内カバー扉の取外し

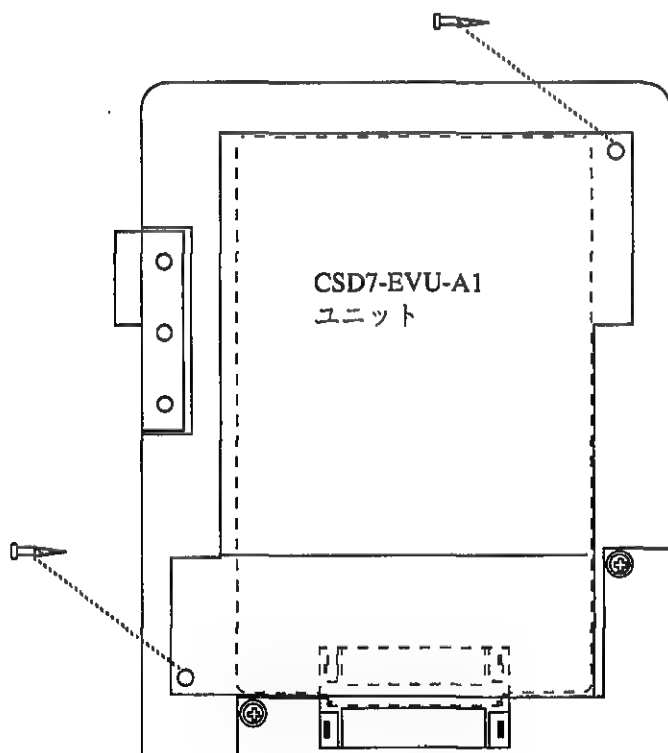
- ① 本体を水平に置きます。壁に取付けている場合は、そのまま次に進みます。
- ② 添付のカギを使って内カバー扉を開けます。  
電源を切ります。  
左側の止めネジ2本をゆるめ、内カバー扉を開きます。
- ③ 壁に取付けている場合は、内カバー扉を取外し、水平に置きます。  
内カバー扉とベース（MDUユニット実装側の筐体）間のコネクタ（2ヶ所）を外します。  
内カバー扉を上の方へ引上げ取外します。  
内カバー扉を水平に置きます。

### 7.5.3 オプションユニットの取付

エレベータホンユニットは、下図の通り MCU ユニットに取付ます。



①, ② エレベータホンユニットの取付



③ カバーの取付

- ① エレベータホンユニットと MCU ユニットのコネクタを合わせます。  
エレベータホンユニットを MCU ユニットに押し込みます。
  - ② 添付の取付ネジでエレベータホンユニットを固定します。(4ヶ所)
  - ③ 添付のカバーを取付ます。(ネジ2ヶ所)
- ※左下のネジは MCU ユニットのカバー取付ネジを使用し、共付けします。


## 7.6 配線工事

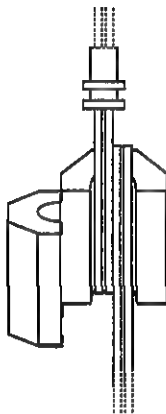
### (1) アース線の接続

アース線は、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある ETH 端子に接続し、第 3 種接地工事（接地抵抗 100  $\Omega$  以下）を必ず実施して下さい。

### (2) 商用電源への接続

添付品のコアに AC コードを巻き、AC100V のコンセントに差し込みます。

-  **注意** ・ AC200V に接続する場合は装置実装の AC コードを取り外し、AC200V 対応の専用ケーブルを使用して下さい。
- ・ 一般に家庭で使用する契約種別以外の電力を使用する場合は、使用する契約種別の契約（約款）をご確認下さい。



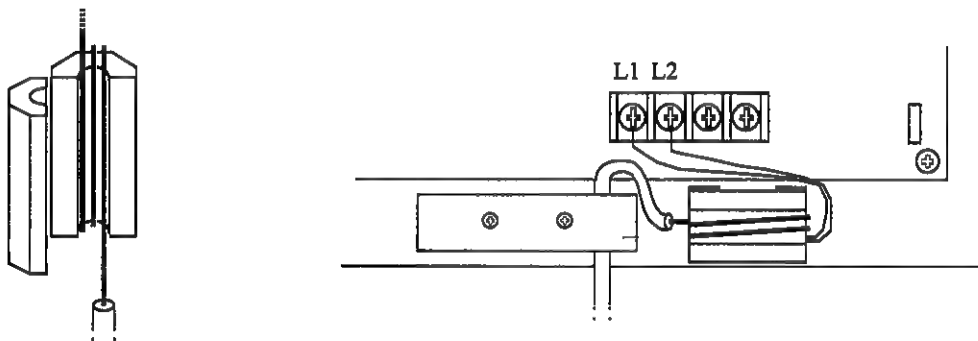
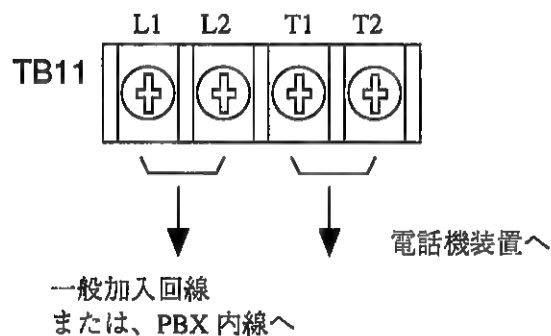
- ① 添付のコア（ESD-SR-25）を開きます。
- ② AC コードを本体になるべく近い位置で一回巻きます。
- ③ コアを閉じます。

### (3) 電話回線、電話装置の接続

電話回線、電話装置は、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある TB11 端子台に接続します。

電話線回線には、添付のコアを巻きます。

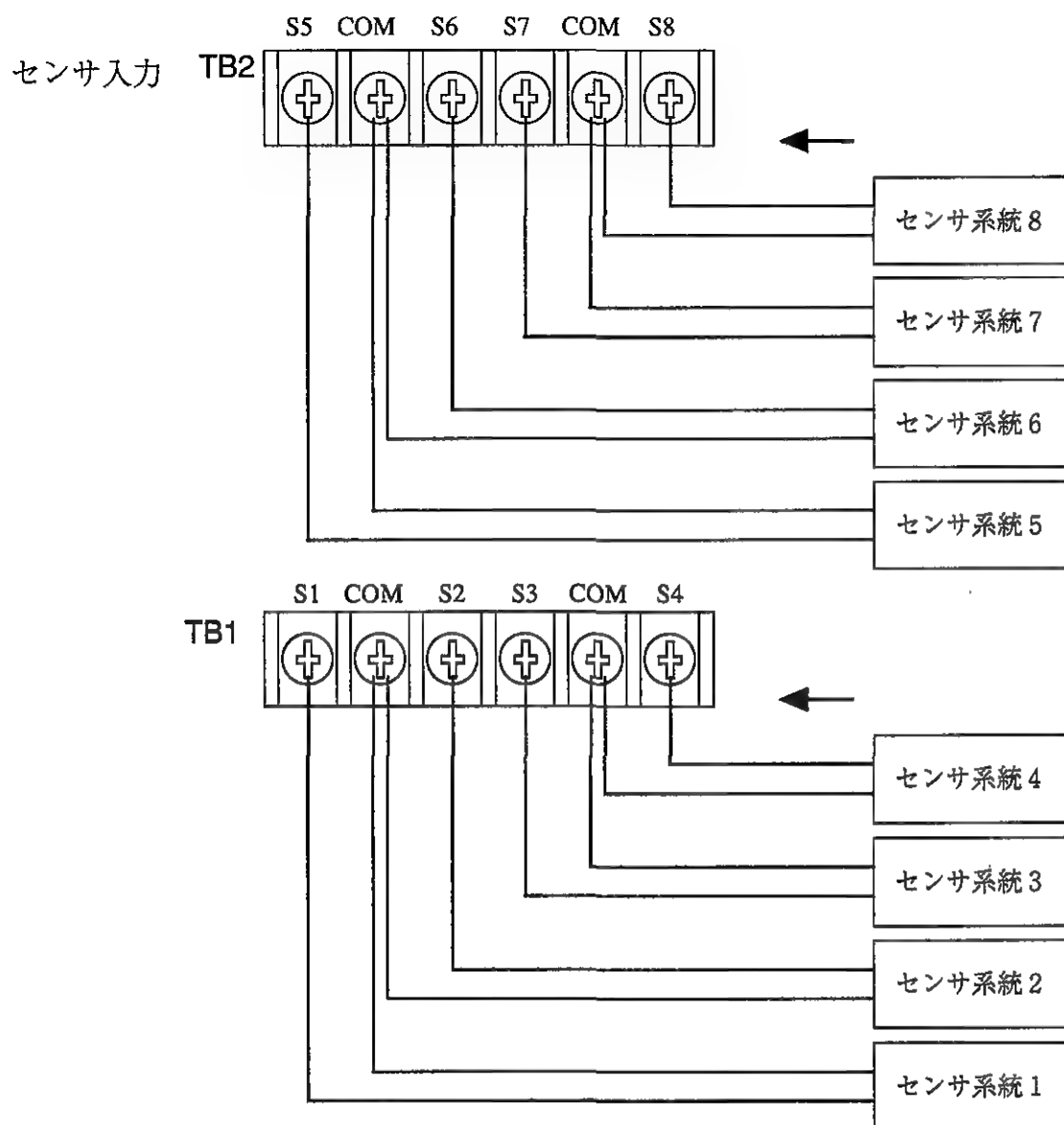
- △ 注意**
- ・ 電話回線に、他の電話装置をブランチ（親子）接続で使用しないで下さい。
  - ・ 発信電話番号通知サービス、キャッチホン等の付加サービスを利用すると本装置の正常な動作が妨げられることがあります。
  - ・ 専用線、ISDN 回線への接続は出来ません。



- ① 添付のコア (ESD-SR-15) を開きます。
- ② 電話回線を本体になるべく近い位置で二回巻き、コアを閉じます。
- ③ コアを MDU ユニット下の空きスペースに入れます。
- ④ 電話回線を端子に接続し、ケーブルを固定します。
- ⑤ 重要回線ラベルをケーブルの両端（本体と MDF）に貼り付けます。

#### (4) センサの接続

センサは、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある TB1、TB2 端子台に接続します。

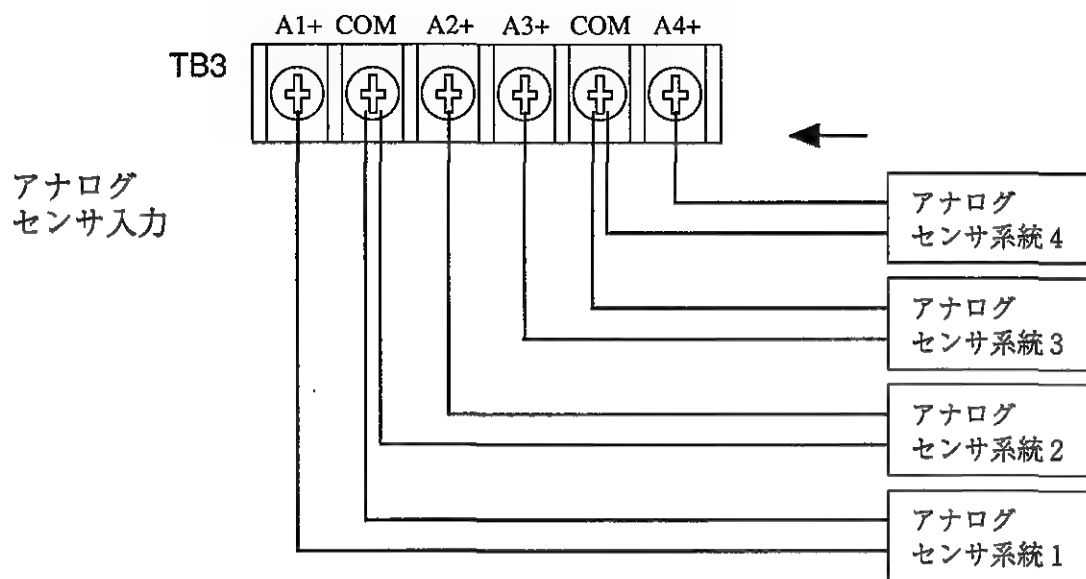




### (5) アナログセンサの接続

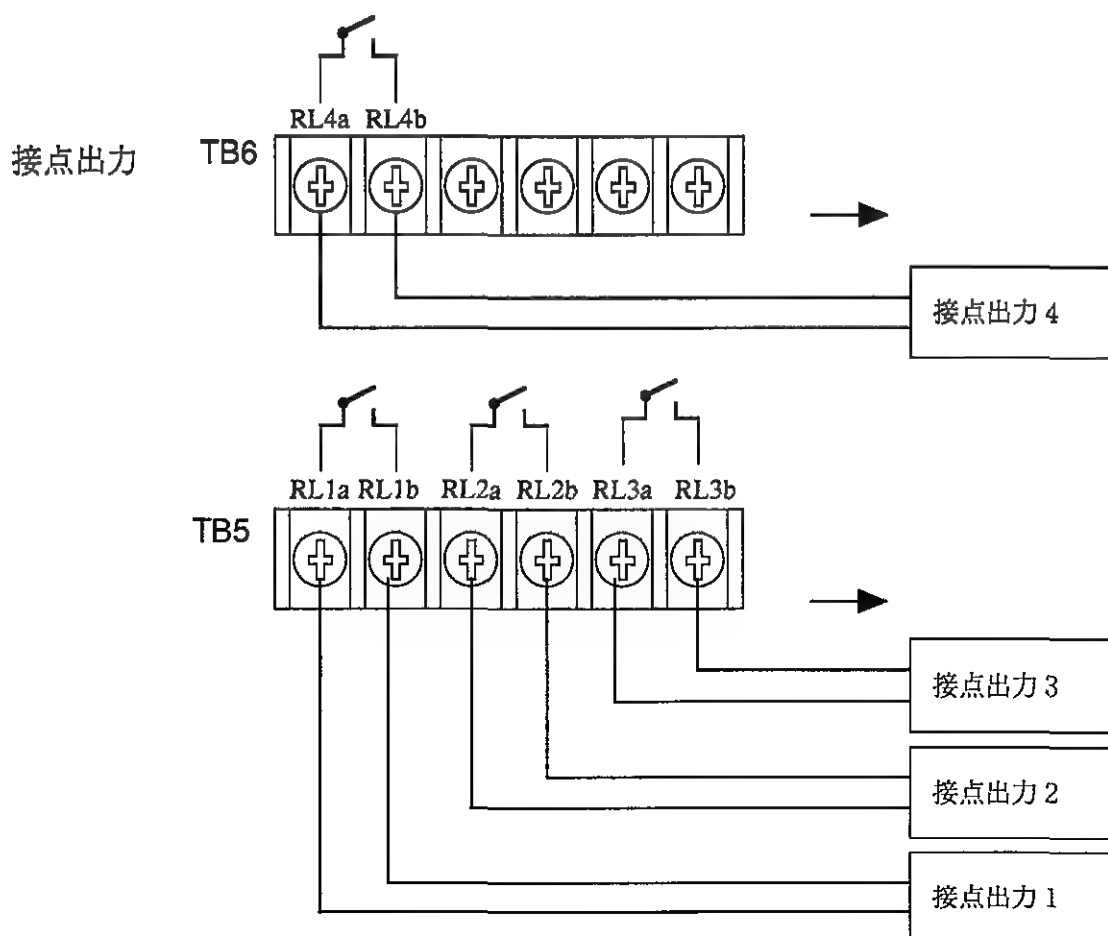
アナログセンサは、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある TB3 端子台に接続します。

アナログセンサ接続時は、アナログセンサ切替スイッチの設定を行って下さい。



### (6) 接点出力の接続

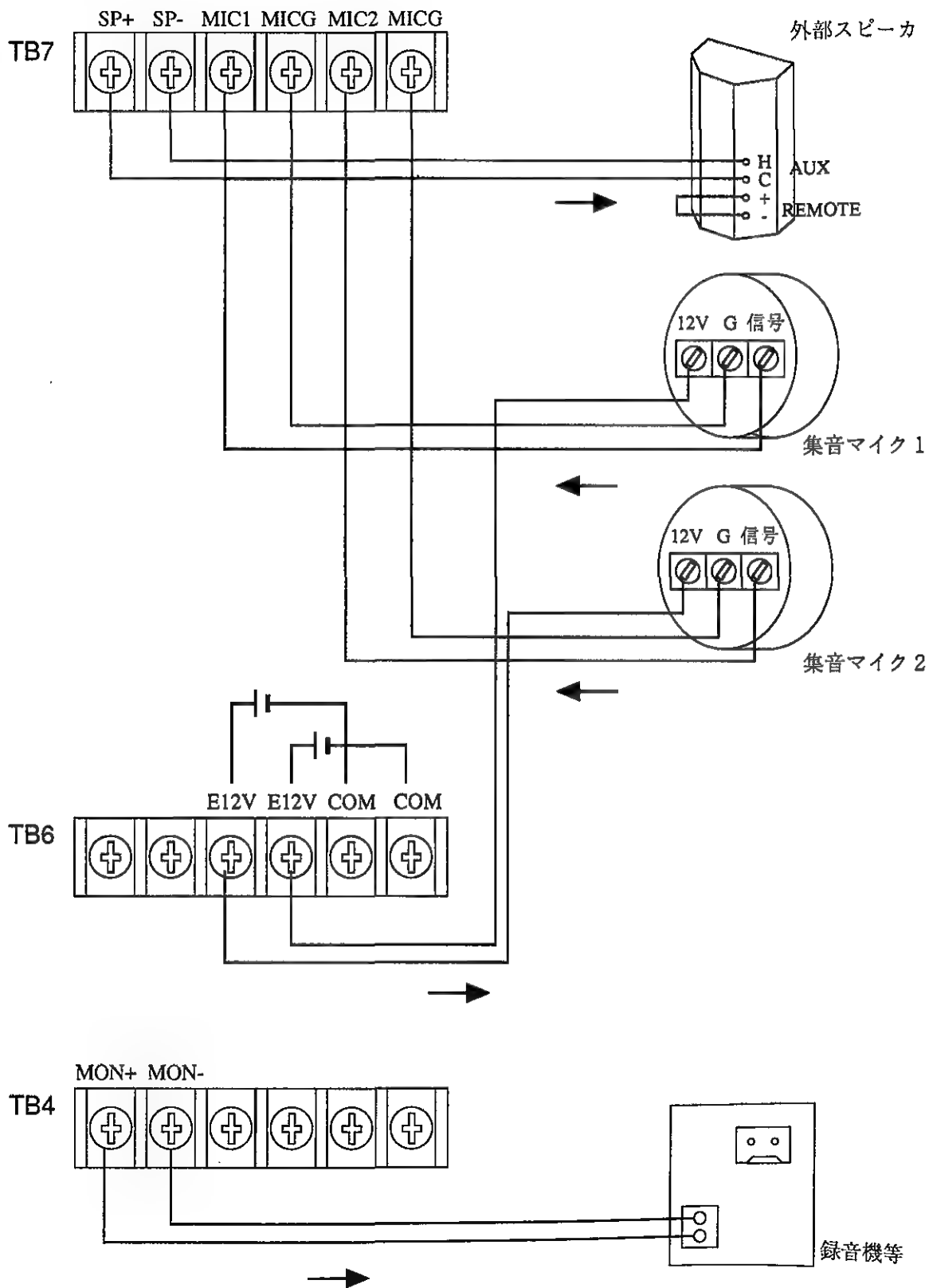
接点出力は、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある TB5、TB6 端子台に接続します。



(7) 外部スピーカ、集音マイク、外部電源、回線モニターの接続

外部スピーカ、集音マイク、外部電源は、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある TB6、TB7 端子台に接続します。

回線モニタは、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある TB4 端子台から行います。



※外部スピーカを制御する場合は、REMOTE端子を接点出力に接続します。

## (8) エレベータホンの接続

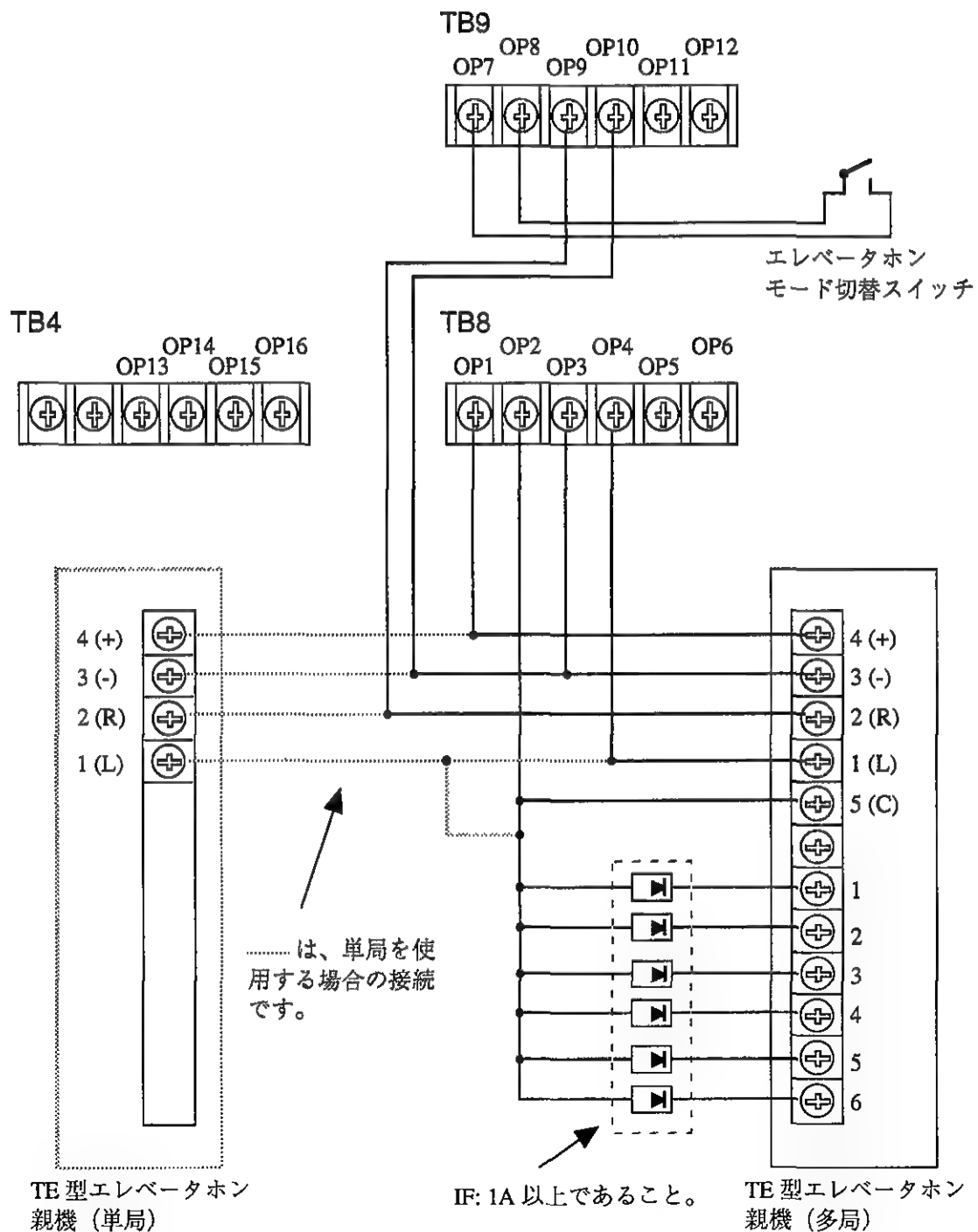
エレベータホンは、CS・D7 通報装置の MDU ユニットにある TB4、TB8、TB9 端子台に接続します。

エレベータホンの配線には、添付のコアを取付けます。

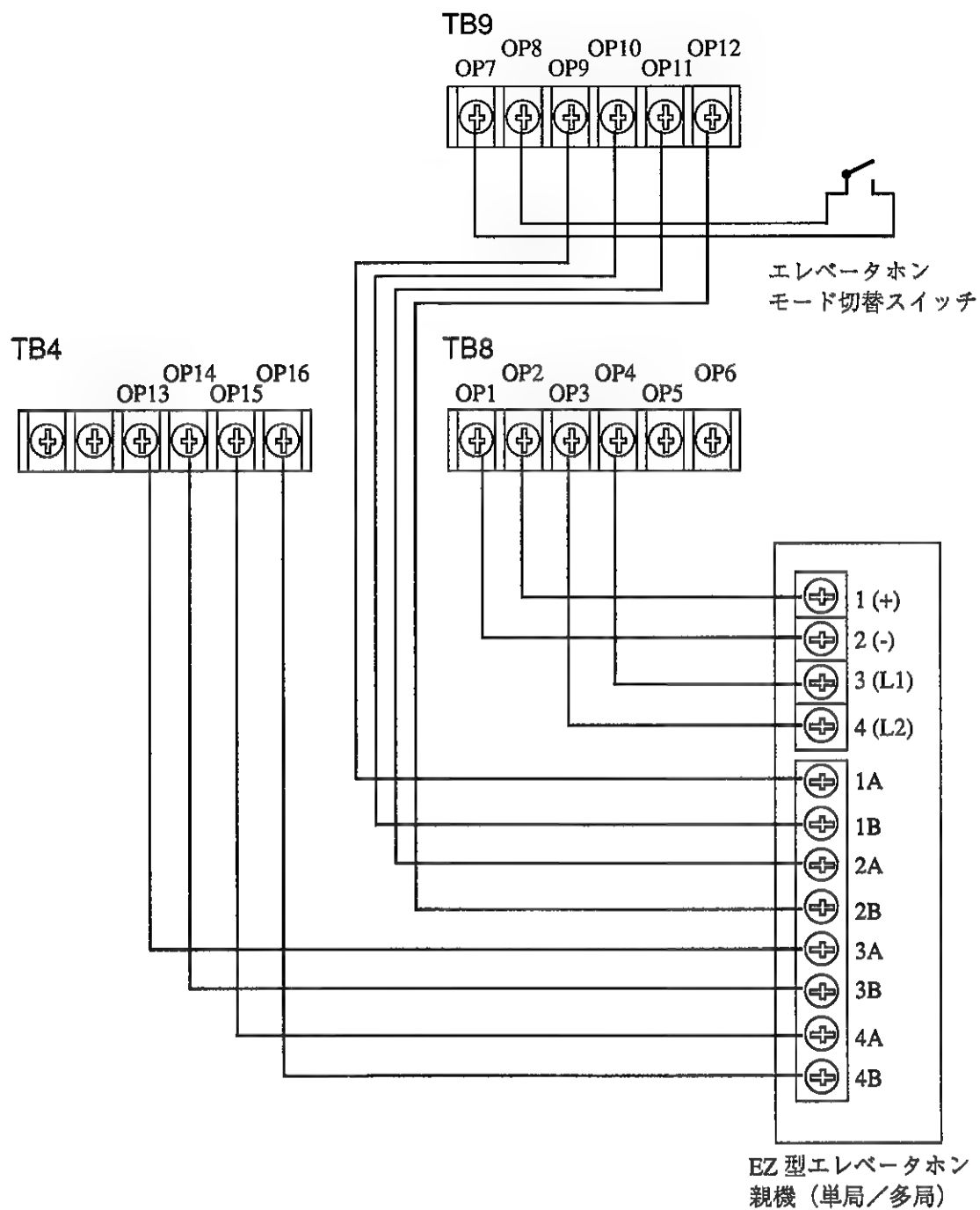
エレベータホン接続時は、EVU ユニットの設定を行って下さい。

エレベータホン子機の接続は、エレベータホンの説明書をご覧ください。

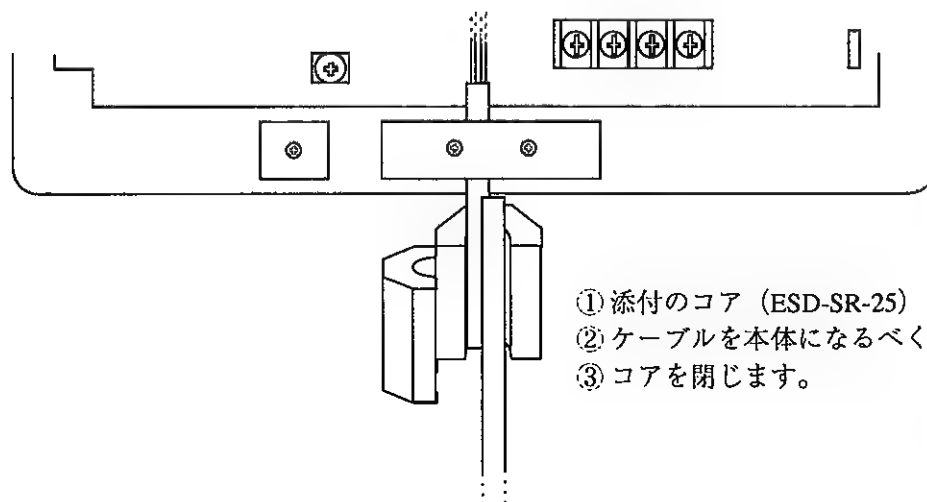
### 1) TE 型エレベータホン



## 2) EZ 型エレベータホン



## 3) コアの取付

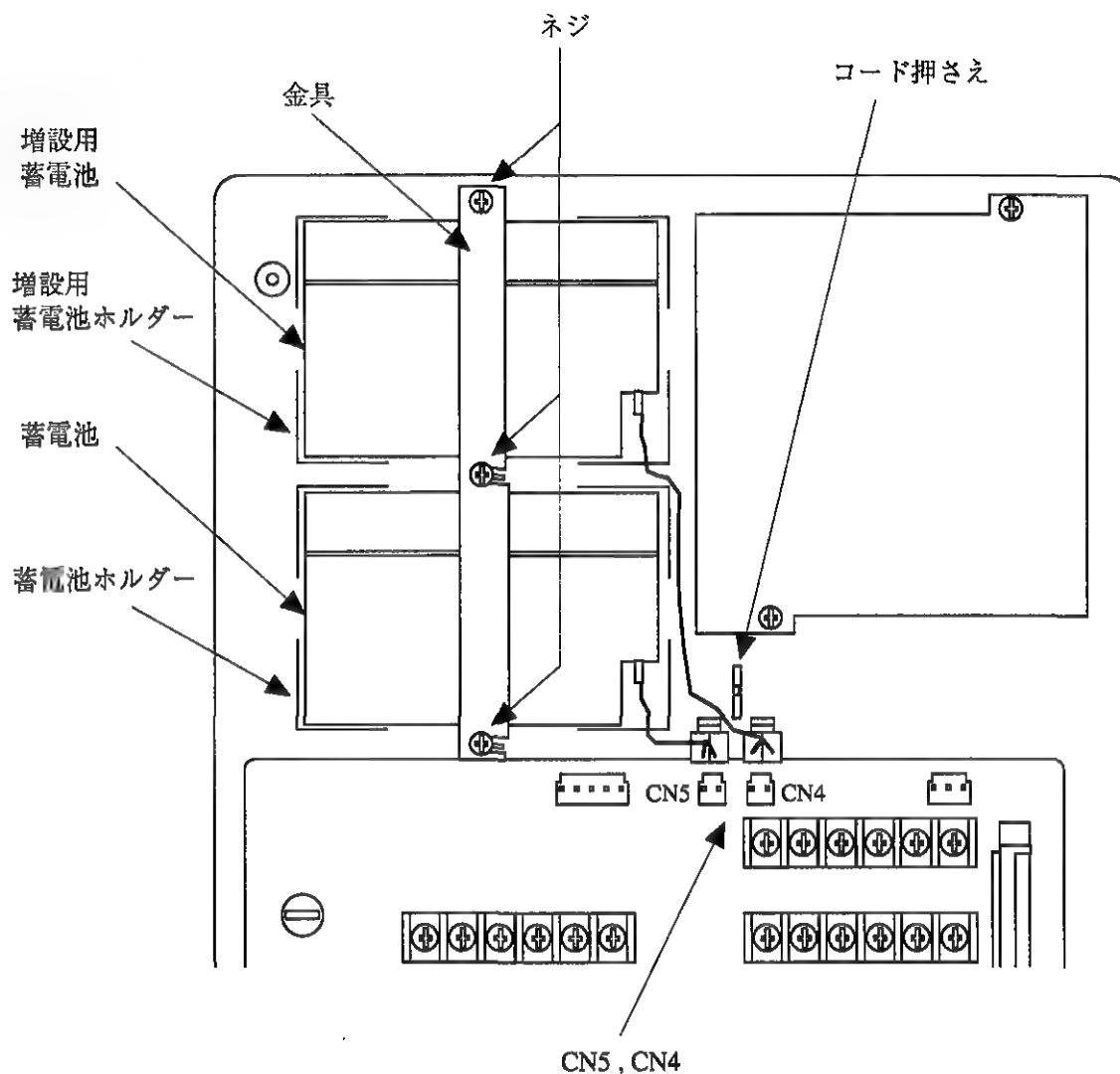


- ① 添付のコア (ESD-SR-25) を開きます。
- ② ケーブルを本体になるべく近い位置で一回巻きます。
- ③ コアを閉じます。

## 7.7 電池の取付

### (1) 蓄電池の取付

蓄電池は、CS・D7 通報装置本体のベースに取付け MDU ユニットの CN4, CN5 に接続します。



- ① 金具のネジ (3ヶ) をゆるめ、金具を回転させます。
- ② 添付品の蓄電池を電池ホルダーに収納します。  
必要の場合は、増設蓄電池を増設用蓄電池ホルダーに収容します。
- ③ 蓄電池 (増設蓄電池) のコネクタを確実に CN5 (CN4) に差し、金具で固定します。  
コードをコード押さえに固定します。
- ④ 蓄電池設置年月を「蓄電池交換記録表」に記入します。

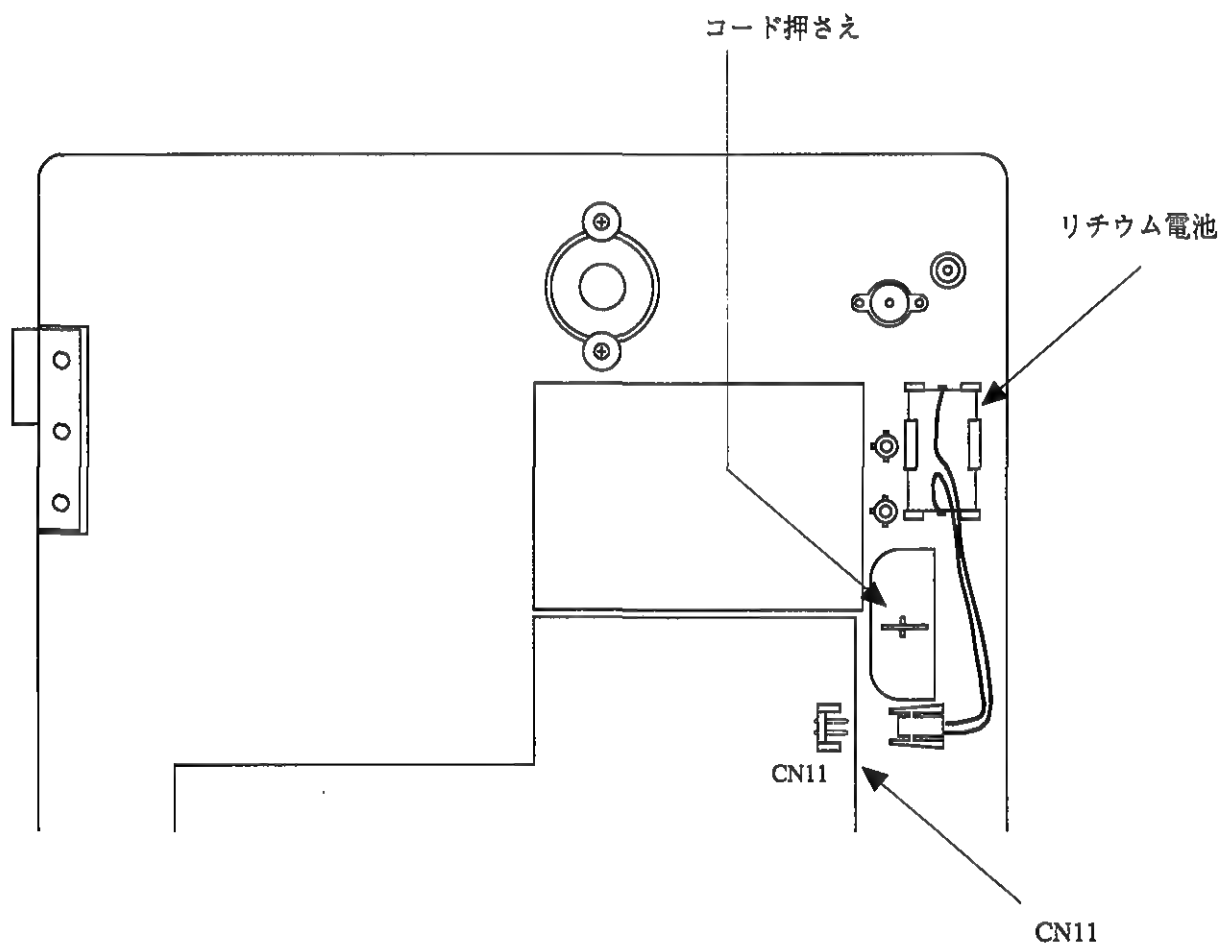
## (2) リチウム電池の取付

リチウム電池は、CS・D7 通報装置本体の内カバー扉の内側に取付け MCU ユニットの CN11 に接続します。

リチウム電池は通常の使用では交換不要です。電源を入れない状態が二年を越える場合は指定の電池と交換して下さい。

**⚠ 警告** 指定品以外の電池を使用すると爆発を起こす恐れがあります。

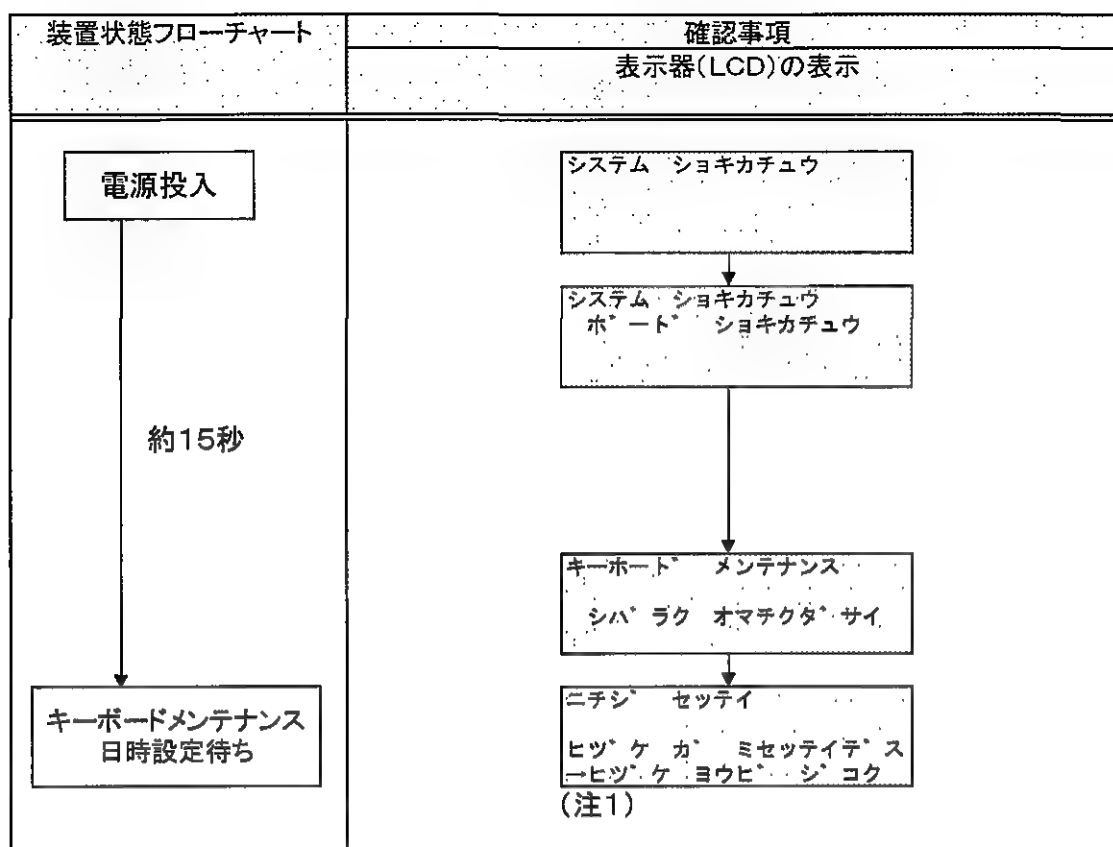
リチウム電池を接続しない場合は、時計が狂ったり録音メッセージが消えることがあります。



- ① リチウム電池のコネクタを、CSD7-MCU-A1 ユニットの CN11 に接続します。
- ② コードをコード押さえで固定します。

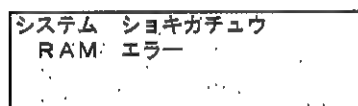
## 7.8 電源投入後の確認

設置工事完了後、電源を投入し下記項目の内容を確認してください。



注1. 日時設定およびシステムデータ設定については、「8. キーボードメンテナンス機能」(P27～)をご覧ください。

表示器(LCD)の表示が下図のようになった場合、修理が必要となります。



## 8. キーボードメンテナンス機能(保守機能)

**注意:** 保守機能の実行中、本装置は運用停止となるため異常通報等ができません。

通常の監視機能(センサ入力、積算等)も作動しませんので、必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

また、保守機能を実行する場合は、以下の事に注意して下さい。

- ・出力端子(出力接点等)が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態(設定)に戻ります。
- ・入力端子(センサやアナログ)が動作している場合は、保守機能終了後に再通報します。
- ・「定時(状態)間隔通報」、「アナログ入力定時記録・印刷」を運用している場合は、保守機能実行時に動作間隔はリセットされ、保守機能終了後は、再度開始時刻になるまで動作しません。

キーボードメンテナンスで実行できる機能は下表の通りです。

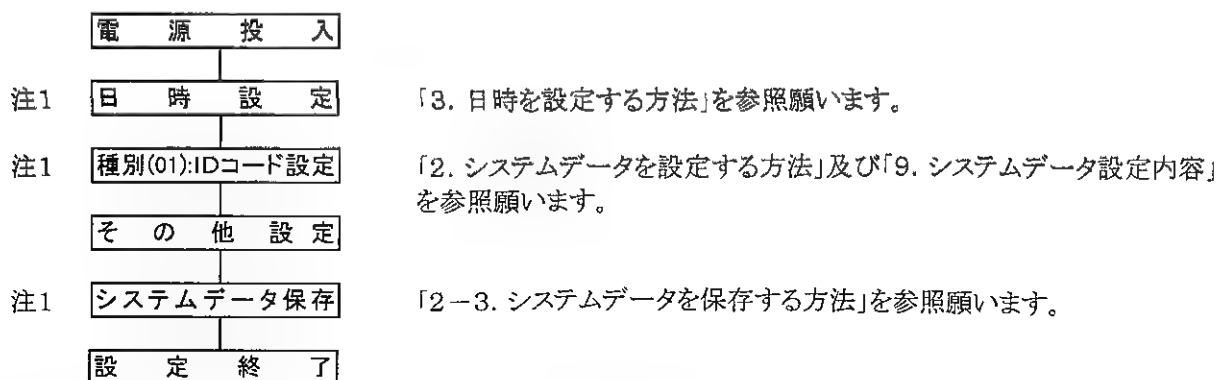
キーボードメンテナンスの基本操作手順は、次ページを参照願います。

各機能を実行するにあたっては、参照ページをよく読み十分ご理解のうえ行って下さい。

No	機 能 名	機 能 概 要	参照ページ
1	メッセージの録音	本装置の内蔵マイク等よりメッセージを録音します。	29
2	システムデータ設定		30～33
	ノーマル設定	通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定します。	34～35
	ダイレクト設定	必要な種別No等を入力してシステムデータを設定します。	36～37
	システムデータ保存	システムデータを保存します。	38～39
	システムデータ読込	設定途中で変更前のシステムデータに戻します。	40
	システムデータ初期化	システムデータを初期化(出荷時設定状態)します。	41
3	日時設定	日付、曜日、時刻を設定します。	42～43
4	端子状態	センサ、アナログの現在状態を表示します。	44
5	履歴表示	記録されている履歴を表示します。	45
6	プリントアウト	履歴、システムデータを外付プリンタに印刷します。	46
7	オンラインメンテナンス	簡易オンラインメンテナンス待ち状態にします。	47
8	システムバージョン	本装置のメインCPUのバージョンを表示します。	47
9	ユニットバージョン	本装置のサブCPUのバージョン及び状態を表示します。	48
10	履歴クリア	記録されている履歴をクリアします。	48
11	積算値クリア	センサ、アナログ端子に記録されている積算値をクリアします。	49
12	システムオールリセット	本装置のシステムデータ及び録音メッセージを全て初期化します。	49

### ◆新設時のシステムデータ設定について

新設時は、電源投入すると日時設定待ちとなります。必ず下記の手順で行って下さい。



注1. 新設時については、「日時設定」「システムデータ設定の種別(01):IDコード設定」及び「システムデータ保存」を行わないと「設定解除」キーを押してもキーボードメンテナンス終了画面になりません。



## ◆キーボードメンテナンスで使用するキーの働き

[モード1]ボタン  
項目Noをプラス1します。

[モード2]ボタン  
項目Noをマイナス1します。

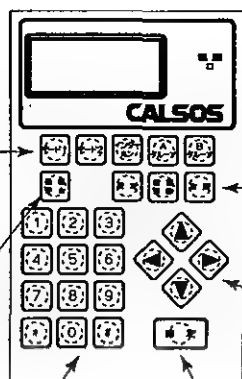
[インターホン]ボタン  
電話番号やDTMFデータ等を設定中に押すと  
ポーズ、フラッシュ、及びDTMF(A~D)が  
設定できます。

[グループA]ボタン  
要素Noをプラス1します。

[グループB]ボタン  
要素Noをマイナス1します。

[通報停止]ボタン  
表示されている設定値をクリア(初期値)します。

[数字]キー  
0~9、\*、#を設定します。



[設定]キー  
待機状態より3秒以上押すとキーボードメン  
テナンス状態となります。

[設定解除]キー  
メインメニューより押すとキーボードメンテ  
ナンス終了画面になります。

[取消]キー  
前画面に戻します。

[▲] [▶] [◀] [▼]  
表示されている→(カーソル)を移動します。  
一覧表示されている画面においては、  
[▶] [◀]でページ送り/戻しします。

[確定]キー  
表示されている設定値を確定し次に進みます。

## ◆キーボードメンテナンスの基本操作手順

キーボードメンテナンスを実行するにあたっては、必ず以下の操作手順にしたがって行って下さい。

1. 本装置が右のような状態であることを確認して下さい。  
尚、「モード1」「インターホン」は、実装されているオプションセ  
ットや設定により異なります。  
通報動作等により、本装置が起動中はキーボードメンテナンス状  
態になりません。

```
01-01 MON 12:30
モード' 1   インターホン
```

```
01-01 MON 12:30
リレキ:XXXX
モード' 1   インターホン
```

```
■01-01 MON 12:30
カイセン イシ' ヨウ
```

2. 待機状態より「設定」キーを3秒間押すと  
キーボードメンテナンス状態となりメインメニューを表示します。

```
メインメニュー
キーボ' ード'   メンテナンス
→メッセージ'   ロクオン
システムデ'   ータ
```

3. 各機能を実行できます。  
各機能の実行方法は、各機能のページを参照願います。

```
メインメニュー
キーボ' ード'   メンテナンス
→メッセージ'   ロクオン
システムデ'   ータ
```

4. メインメニューより「設定解除」キーを押すと  
キーボードメンテナンス終了画面となります。

ただし、システムデータを設定または変更した場合、「システムデ  
ータ保存」を行っていないと警告画面が表示されます。  
警告画面が表示された時の操作方法は、「23.システムデータを保  
存する方法」のページを参照願います。

```
終了画面
シュウリョウ シマスカ?
カクテイ: YES トリゲシ: NO
または
```

```
警告画面
システムデ'   ータ   ラ
          ホソ'   ン   シテイマセン
シュウリョウ シマスカ?
カクテイ: YES トリゲシ: NO
```

5. 「確定」キーを押すと待機状態に戻ります。

```
待機状態
01-01 MON 12:30
モード' 1   インターホン
```

# 1. メッセージを録音する方法

注意:メッセージを録音する前に

メッセージを録音する前には、必ず以下のシステムデータ設定を確認して下さい。尚、設定変更する場合は、「2-2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法」の順にしたがって設定して下さい。

「種別(02):メッセージ録音条件/項目(01):サンプリングレート」

サンプリングレート	録音時間	音 質
8Kbps	約131秒(2分11秒)	下
12Kbps	約 86秒(1分26秒)	中
16Kbps(初期値)	約 65秒(1分 5秒)	上

本装置の内蔵マイクまたは録音ジャックよりメッセージを録音します。録音フレーズは、フレーズNo. 00~63です。また、既に録音されているメッセージを再生またはクリアすることもできます。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーボード・メンテナンス  
→メッセージ ロクオン  
システムデータ

2. 「確定」キーを押します。

No. 00録音画面

ロクオンサレタイムセン [16K]  
フレーズ No.: 00  
\*: ロクオン  
ノコリ: 65

サンプリングレート

録音可能な残り時間(秒)

3. 「\*」キーを押すと録音を開始します。

また、以下の操作もできます。

- ・「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。
- ・「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No. 00録音中画面

ロクオンチュウ [16K]  
フレーズ No.: 00  
\*: ロクオンテイシ  
ノコリ: XXX

4. 再度「\*」キーを押すと録音を終了します。

No. 00操作画面

ロクオンズ ミ: XXX [16K]  
フレーズ No.: 00  
\*: ロクオン # : サイセイ  
テイシ: クリア ノコリ: XXX

フレーズ毎の録音時間(秒)

5. 「↓」キーを押します。

(「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。)

また、以下の操作もできます。

- ・「\*」で上書き録音します。
- ・「#」で再生します。
- ・「通報停止」でメッセージを消去します。
- ・「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No. 01録音画面

ロクオンサレタイムセン [16K]  
フレーズ No.: 01  
\*: ロクオン  
ノコリ: XXX

6. 操作3~5を繰り返し、各フレーズにメッセージを録音して下さい。

No. 01録音画面

ロクオンサレタイムセン [16K]  
フレーズ No.: XX  
\*: ロクオン  
ノコリ: XXX

7. 「取消」キーを押します。

また、以下の操作もできます。

- ・「\*」で録音を開始します。
- ・「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。

フレーズNo入力画面

フレーズ No.: [16K]  
[0-63]: フレーズ No.  
[99]: オールクリア

8. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

また、以下の操作もできます。

- ・「数字」+「確定」でフレーズNoを入力します。
- ・「↑」「↓」「→」「←」でフレーズNo録音状況画面になります。(参考画面1参照)
- ・「99」+「確定」でフレーズのメモリアルクリア画面になります。(参考画面2参照)

メインメニュー

キーボード・メンテナンス  
→メッセージ ロクオン  
システムデータ

参考画面1: フレーズNo録音状況画面

ロクオンシ ヨウキョウ [16K]  
60 61 62 63  
→00R 01 02 03R  
04 05R 06 07

「R」マークのフレーズは録音されていることを示します。

- ・「↑」「↓」「→」「←」でフレーズNoを選択できます。
- ・「確定」で選択したフレーズNoの録音または操作画面になります。
- ・「取消」でNo. 00録音または操作画面になります。

参考画面2: メモリアルクリア画面

オールクリアシマスカ?

テイシ: YES  
トリケシ: NO

- ・「通報停止」でフレーズのオールクリアをします。
- ・「取消」でNo. 00録音または操作画面になります。

## 2. システムデータを設定する方法

### ◇ システムデータの設定方式

システムデータは、以下の3通りの方式で設定することができます。

本説明書では、「1. キーボードメンテナンス」方式について述べてあります。

「2. 保守端末オンサイト方式」「3. 保守端末オンライン方式」については、「保守用FDセット」(別売)添付品の「保守用FD取扱説明書」を参照して下さい。

#### 1. キーボードメンテナンス方式

通報装置本体のキーボードを使用して、システムデータを設定します。

システムデータの設定方法には、ノーマル設定とダイレクト設定があります。

ノーマル設定は、通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定していく設定方法です。

ダイレクト設定は、種別No. 等を入力してシステムデータを設定する設定方法です。

また、CS・D7通報装置本体のキーボードメンテナンス機能により、システムデータの設定以外にも様々な機能を行うことができます。

#### 2. 保守端末オンサイト方式

通報装置本体の「RS-232C」端子と保守端末(「保守用FDセット」が動作可能なパソコン)を専用ケーブル(添付品)で接続し、事前に保守端末にて作成したシステムデータをダウンロードして設定できます。

また、CS・D7通報装置に設定してあるシステムデータをアップロードして読み込むこともできますので、アップロードしたシステムデータを変更してダウンロードすることもできます。

#### 3. 保守端末オンライン方式

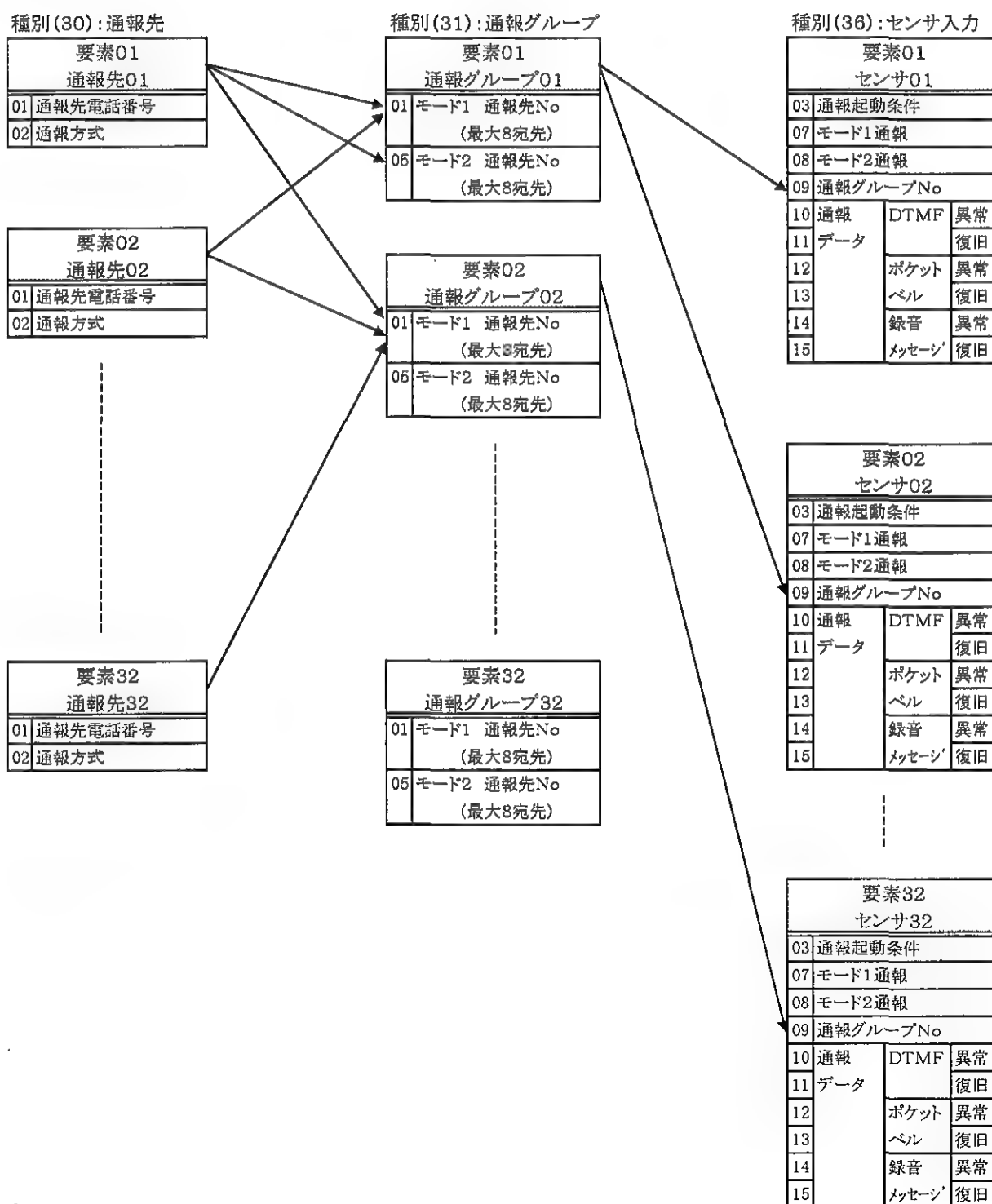
保守端末と指定のモデムカード(別売)を使用して電話回線に接続し、遠隔地より上記2と同じ事を行うことができます。

## ◇ システムデータ設定(通報先設定)の考え方

システムデータ設定において、通報先設定の基本的な考え方は、以下の通りです。  
尚、各種別の設定項目は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

1. 通報先(最大32宛先)を設定します。
2. 設定済みの通報先の中から、通報グループ(最大32グループ)に最大8宛先(各モード)設定します。
3. 設定済みの通報グループの中から、各通報(センサ、アナログ等)に1グループ設定します。

### 設定例



## ◇ システムデータ設定例

### ① 通報機能の設定例

・接続機器	: センサ(メークで異常)を8系統接続
・通報モード	: 昼間は通報モード1(通報先No1、2、3に通報) : 夜間は通報モード2(通報先No4、5、6に通報)
・通報方式	: 全て録音音声で通報
・通報完了条件	: 各通報モード共に通報先3宛先のうち1宛先応答で通報完了
・モード切替ボタン	: センサNo. 41に接続
・外部停止ボタン	: センサNo. 42に接続
・その他	: 夜間は、音声制御によるテレコントロール操作

上記のような運用をする場合の基本的なシステムデータ設定は、以下の通りです。  
白抜き数字は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

設定種別		要素 No.	項目		設定データ ( ): 初期値	記 事
No.	名 称		No.	名 称		
01	IDコード	—	01	ID No	「最大16桁」	必ず設定
10	NCU機能	—	01	ダイヤルモード	(20PPS)	ダイヤルモードの設定
20	自動応答	—	01	自動応答機能	有(無)	テレコントロールを実行する 為の設定
			02	自動応答条件	(モード2)	
			06	自動応答メッセージ方式	録音音声	
			07	自動応答メッセージ	「最大1フレーズ」	
21	暗証番号	—	01	暗証番号オンラインメンテナンス	「4桁の番号」	
			02	暗証番号テレコン音声制御	「4桁の番号」	
30	通報先	01~06	01	電話番号	最大32桁	通報先1~6各々の設定
			02	通報方式	録音音声	
			03	応答検出方式	(極性反転)	
31	通報グループ	01	01	通報先No. (モード1)	1-2-3	通報先1~6をグループ化 する設定
			02	通報完了条件	(1宛先)	
			04	発呼回数	(3)	
			05	通報先No. (モード2)	4-5-6	
			06	通報完了条件	(1宛先)	
			08	発呼回数	(3)	
32	通報モード切替	—	01	切替方式	(ボタン)	モード切替に関する設定
			02	外部スイッチNo	センサ41	
33	通報動作設定	—	02	外部停止ボタンNo	センサ42	外部停止ボタンの設定
36	センサ入力	01~08	01	異常モード	(メーク)	センサ1~8各々の設定
			03	通報起動条件	(異常時)	
			07	モード1通報	有(無)	
			08	モード2通報	有(無)	
			09	通報グループ	(1)	
			14	通報データ (録音メッセージ・異常時)	「最大16フレーズ」	
37	アナログ入力 (センサ入力)	01~02 (41~42)	01	端子用途	(センサ)	センサ41~42各々の設定

## ②エレベータホン機能の設定例

・接続機器	:TE親機1台、TE子機多局4台
・呼出モード	:昼間はインターホンモード
	:夜間はAグループ(3宛先に通報)

上記のような運用をする場合の基本的なシステムデータ設定は、以下の通りです。

設定種別		要素 No.	項目		設定データ ( ):初期値	記 事
No.	名 称		No.	名 称		
60	通報先Aグループ	01～03	01	電話番号	最大32桁	
			02	応答DTMF	「最大1桁」	
62	呼出モード切替	—	01	切替方式	(ボタン)	
66	通話方式	—	01	通話方式	(ハンズフリー)	
67	子機設定	—	01	子機タイプ	(TE)	

注1. オプションユニットであるCSD7-EVU-A1上のTM1, 2を上表で設定した子機タイプに合わせて下さい。

注2. CSD7通報装置の設置場所が離れている場合、エレベータホン切替スイッチを使用することにより、切替可能です。

## 2-1. ノーマル設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をノーマル設定で行います。

ノーマル設定は、通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定していく設定方法です。

各種別／項目の設定内容は、「9. システムデータ設定内容」を参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーホート	メンテナンス
→メッセージ	ロクオン
システムデータ	

2. 「↓」キー+「確定」キーを押します。  
(“→”を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。)

システムデータメニュー画面

システムデータ	
→ノーマル	セッテイ
データ	イレクト セッテイ

3. 「確定」キーを押します。

ノーマル設定画面

01: IDコード	←	種別No: 名称
01: ID No	←	項目No: 名称
[0-9]	←	入力可能データ

4. 「数字」キーでID番号を設定します。

(例) 0123456789を設定する場合

また、以下の操作もできます。

- ・「通報停止」で初期値になります。
- ・「確定」で次項目を表示します。
- ・「モード1」「モード2」で項目を切替えます。
- ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ノーマル設定画面

01: IDコード
01: ID No
[0-9]
0123456789

5. 「確定」キーを押します。

(「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。)

- ・「通報停止」で初期値になります。
- ・「モード1」「モード2」で項目を切替えます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ノーマル設定画面

01: IDコード
02: ID メッセージ
[0-63] (0/1)
: :

6. 操作4～5を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。

ノーマル設定画面

01: IDコード
02: ID メッセージ
[0-63]
: :

7. 「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

“→”は「システムデータ保存」に表示します。

(「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。  
詳しくは「2-3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

システムデータメニュー画面

システムデータ
データ イレクト セッテイ
→システムデータ ホゾン
システムデータ ヨミコミ

8. 「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

システムデータ
システムデータ ラ
ホゾン シマスカ?
カクテイ: YES トリケシ: NO

9. 「確定」キーを押します。

データに問題がある場合、エラー表示となります。

(「2-3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

また、以下の操作もできます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

システムデータ ホソノ  
セイコウセイ チェックチュウ

トリケシ: ホソノ チュウシ

システムデータ保存中画面

システムデータ ホソノ チュウ

シハ ラクオマチクタ サイ

システムデータ保存終了画面

システムデータ  
ホソノ シマシタ

HIT ANY KEY

10. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

システムデータ  
ダイレクト セッテイ  
→システムデータ ホソノ  
システムデータ ヨミコミ

11. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード メンテナンス  
メッセージ ロクオン  
→システムデータ  
ニデシ セッテイ



## 2-2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をダイレクト設定で行います。  
ダイレクト設定は、種別No. 等入力してシステムデータを設定する設定方法です。  
各種別/項目の設定内容は、「9. システムデータ設定内容」を参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー  
キーボード メンテナンス  
→メッセージ ログオン  
システムデータ

2. 「↓」キー+「確定」キーを押します。  
(「→」を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。)

システムデータメニュー画面  
システムデータ  
→ノーマル セット  
ダイレクト セット

3. 「↓」キー+「確定」キーを押します。  
(「→」を「ダイレクト セット」に合わせ「確定」キーを押します。)

種別入力画面  
No: ■

4. 「数字」キーで種別Noを入力します。  
(例) 種別36を設定する場合  
また、以下の操作もできます。  
・「↑」「↓」「→」「←」で種別一覧画面(参考画面1参照)  
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

要素入力画面  
No: 36 (■  
センサIN  
センサNo?  
[01-XX]

5. 「数字」キーで要素Noを入力します。(要素がある場合のみ)  
(例) 要素01を設定する場合  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」で種別入力画面になります。

項目入力画面  
No: 36 (01) - ■  
センサIN

6. 「数字」キーで項目Noを入力します。  
(例) 項目01を設定する場合  
また、以下の操作もできます。  
・「↑」「↓」「→」「←」で項目一覧画面(参考画面1参照)  
・「取消」で要素入力画面になります。

ダイレクト設定画面 要素No  
36: センサIN 01  
01: イジ ヨウモード  
ブレーク  
→メーク

7. 「↑」「↓」キーで異常モードを設定します。  
(例) ブレークに設定する場合  
また、以下の操作もできます。  
・「通報停止」で初期値になります。  
・「確定」で次項目を表示します。  
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。  
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。  
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面  
36: センサIN 01  
01: イジ ヨウモード  
メーク  
→ブレーク

8. 「確定」キーを押します。  
(「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。)  
また、以下の操作もできます。  
・「通報停止」で初期値になります。  
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。  
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。  
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面  
36: センサIN 01  
02: ケンシュツタイマ  
[5-3000 (x10ms)]  
: 30 → ■

9. 「取消」キーを押すと項目入力画面になります。  
また、以下の操作もできます。  
・「通報停止」で初期値になります。  
・「確定」で次項目を表示します。  
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。  
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。

項目入力画面  
No: 36 (01) - ■  
センサIN

10. 「取消」キーを押すと要素入力画面になります。  
また、以下の操作もできます。  
・「数字」で項目Noを入力できます。

要素入力画面  
No: 36 (■  
センサIN  
センサNo?  
[01-XX]

11. 「取消」キーを押すと種別入力画面になります。

また、以下の操作もできます。

・「数字」で要素Noを入力できます。

種別入力画面

No : ■

12. 操作4～11を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。

種別入力画面

No : ■

13. 「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

”→”は「システムデータ保存」に表示します。

(「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。

詳しくは「2-8. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

システムデータメニュー画面

システムデータ  
データ イレクト セッテイ  
→システムデータ ホソノ  
システムデータ ヨミコミ

14. 「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

システムデータ ホソノ  
システムデータ ラ  
ホソノ シマスカ?  
カクテイ: YES トリケシ: NO

15. 「確定」キーを押します。

データに問題がある場合、エラー表示となります。

(「2-8. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)

また、以下の操作もできます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

システムデータ  
セイコ ウセイ チェックチュウ  
トリケシ: ホソノ シチュウシ

システムデータ保存中画面

システムデータ ホソノ シチュウ  
シハ ラクオマチクタ サイ

システムデータ保存終了画面

システムデータ ラ  
ホソノ シマシタ  
HIT ANY KEY

16. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

システムデータ  
データ イレクト セッテイ  
→システムデータ ホソノ  
システムデータ ヨミコミ

17. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード メンテナンス  
メッセージ ロクオン  
→システムデータ  
ニチシ セッテイ

参考画面1:

種別一覧画面

→01: IDコード  
02: ロクオンシ ヨウケン  
03: カイセンキノウ  
04: NCUキノウ

・「→」でページ送りをします。

・「←」でページ戻しをします。

・「↑」「↓」で種別及び項目Noを選択できます。

・「確定」キーで選択した種別及び項目Noの設定画面になります。

項目一覧画面(例:「種別(36):センサ入力」の場合)

→01: イシ ヨウモード  
02: ケンシュツタイマ  
03: ツウホウシ ヨウケン  
04: ツウホウナイヨウ

## 2-3. システムデータを保存する方法

設定したシステムデータを保存します。

ノーマル及びダイレクト設定で設定したシステムデータは、本項目を行うことにより、CS・D7通報装置に保存されます。  
保存されたシステムデータは、初期化及び変更したシステムデータを再度保存しない限りは、保持されます。

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、システムデータメニュー画面に戻ると”→”は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面

システムデータ  
ダイレクト セット  
→システムデータ ホソ  
システムデータ ヨミコミ

2. 「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

システムデータ ホソ  
システムデータ ヨ  
ホソ シマスカ?  
カクテイ: YES トリケシ: NO

3. 「確定」キーを押します。

システムデータに問題がある場合、エラー表示となります。

(次ページの「システムデータにエラーがある場合の操作方法」を参照願います。)

また、以下の操作もできます。

・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

システムデータ  
セイコ ウセイ チェックチュウ  
トリケシ: ホソ ンチュウシ

システムデータ保存中画面

システムデータ ホソ ンチュウ  
シハ ラクオマテクタ サイ

システムデータ保存終了画面

システムデータ ヨ  
ホソ シマシタ  
HIT ANY KEY

4. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

システムデータ  
ダイレクト セット  
→システムデータ ホソ  
システムデータ ヨミコミ

5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード メンテナンス  
メッセージ ログオン  
→システムデータ  
ニチシ セット

# システムデータにエラーがある場合の操作方法

## (例) ID Noが未設定の場合

1. 前ページの操作3でシステムデータに問題があると、整合性チェック後、右のようなエラー画面を表示します。

エラー画面

システムデータ ニ  
エラー ガ、アリマス  
カクテイ:エラー サンショウ  
トリケシ:メニューニモト、ル

2. 「確定」キーを押します。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でメインメニューに戻ります。

エラー参照画面

01: IDコード  
01: ID No  
ミセツテイデ、ス

3. 「確定」キーを押します。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」で項目入力画面になります。  
・「→」でエラーを選択できます。(複数のエラーがある場合)

ID No設定画面

01: IDコード  
01: ID No  
[0-9]  
■

4. 「数字」キー+「確定」キーでID Noを設定します。  
また、以下の操作もできます。  
・「確定」で次項目を表示します。  
・「取消」で項目入力画面になります。

IDメッセージ設定画面

01: IDコード  
02: ID メッセージ  
[0-63]  
■ :

5. 「取消」キーを押すと項目入力画面になります。  
また、以下の操作もできます。  
・「確定」で次項目を表示します。

項目入力画面

No: 01-■  
IDコード

6. 「取消」キーを押すと種別入力画面になります。  
また、以下の操作もできます。  
・「数字」で項目Noを入力できます。

種別入力画面

No: ■

7. 「取消」キーを押すとシステムデータ保存画面になります。

システムデータ保存画面

システムデータ ホゾ、ン  
システムデータ ラ  
ホゾ、ンシマスカ?  
カクテイ: YES トリケシ: NO

8. 「確定」キーを押します。  
再度エラーとなった場合、操作1に戻ります。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

システムデータ  
セイコ、ウセイ チェックチュウ  
トリケシ: ホゾ、ンチュウシ

システムデータ保存中画面

システムデータ ホゾ、ンチュウ  
シハ、ラクオマテクタ、サイ

システムデータ保存終了画面

システムデータ ラ  
ホゾ、ンシマシタ  
HIT ANY KEY

9. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

システムデータ  
タ、イレクト セツテイ  
→システムデータ ホゾ、ン  
システムデータ ヨミコミ

10. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード、メンテナンス  
メッセージ、ロクオン  
→システムデータ  
ニチシ、セツテイ

## 2-4. 変更前のシステムデータを読み込む方法

設定途中(「システムデータ保存」を行う前)で、その設定前のシステムデータに戻します。

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面に戻ります。  
”→”は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面

```
システムデータ
ダイレクト セットイ
→システムデータ ホソ・ン
システムデータ ヨミコミ
```

2. 「↓」キーを押します。  
(”→”を「システムデータ ヨミコミ」に合わせます。)

システムデータメニュー画面

```
システムデータ
システムデータ ホソ・ン
→システムデータ ヨミコミ
システムデータ ショキカ
```

3. 「確定」キーを押します。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でメインメニューになります。

システムデータ読み込み画面

```
システムデータ ヨミコミ
システムデータ ラ
ヨミコミマスカ?
カクテイ: YES トリケシ: NO
```

4. 「確定」キーを押します。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ読み込み画面

```
システムデータ ヨミコミチュウ
シハ・ラクオマテクタ・サイ
```

システムデータ読み込み終了画面

```
システムデータ ラ
ヨミコミシマシタ
HIT ANY KEY
```

5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデータ
システムデータ ホソ・ン
→システムデータ ヨミコミ
システムデータ ショキカ
```

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーボード・メンテナンス
メッセージ・ロクオン
→システムデータ
ニテシ・セットイ
```

## 2-5. システムデータを初期化する方法

システムデータを初期化(出荷時の設定)します。但し、録音メッセージは消去されません。

録音メッセージの消去については、「1. メッセージを録音する方法」を参照願います。

**注意:** 本装置に記録されているシステムデータが初期化されますので、十分注意して操作して下さい。

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面に戻ります。  
"→"は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面

```
システムデ`ータ
タ`イレクト セッテイ
→システムデ`ータ ホソ`ン
システムデ`ータ ヨミコミ
```

2. 「↓」キーを2回押します。  
("→"を「システムデータ ショキカ」に合わせます。)

システムデータメニュー画面

```
システムデ`ータ
システムデ`ータ ヨミコミ
→システムデ`ータ ショキカ
```

3. 「確定」キーを押します。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でメインメニューになります。

システムデータ初期化画面

```
システムデ`ータ ショキカ
システムデ`ータ ラ
          ショキカシマスカ?
カクテイ: YES   トリケシ: NO
```

4. 「確定」キーを押します。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ初期化中画面

```
システムデ`ータ ショキカチュウ
シハ`ラクオマテクタ`サイ
```

システムデータ初期化終了画面

```
システムデ`ータ ラ
          ショキカシマシタ
H I T   A N Y   K E Y
```

5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ`ータ
システムデ`ータ ヨミコミ
→システムデ`ータ ショキカ
```

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホート` メンテナンス
メッセーシ` ロクオン
→システムデ`ータ
ニテシ` セッテイ
```

### 3. 日時を設定する方法

設定されている日時を変更します。

尚、新設時の日時設定は次ページの「新設時に日時を設定する方法」を参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーボード・メンテナンス

→メッセージ・ロクオン  
システムデータ

2. 「↓」キー2回＋「確定」キーを押します。

(“→”を「ニチジ セッテイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

日時設定画面

ニチジ セッテイ

→ヒツ ケ ヨウヒ シ コク

3. 「→」キーで変更したい項目を選択し「確定」キーを押します。

(例)時刻を変更する場合

また、以下の操作もできます。

- ・「↑」「↓」で現在時刻表示画面になります。(参考画面1参照)
- ・「取消」でメインメニューになります。

時刻設定画面

ニチジ セッテイ

ケ ンサ イ : 1 2 : 0 0

シ コク : ■ :

4. 「数字」キーで時刻を設定します。

(例)13:30を設定する場合

また、以下の操作もできます。

- ・「取消」で日時設定画面になります。

時刻設定画面

ニチジ セッテイ

ケ ンサ イ : 1 2 : 0 0

シ コク : 1 3 : 3 0

5. 「確定」キーを押します。

また、以下の操作もできます。

- ・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面

ニチジ セッテイ

→ヒツ ケ ヨウヒ シ コク

6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

また、以下の操作もできます。

- ・「→」「←」でその他変更したい項目を選択できます。

メインメニュー

キーボード・メンテナンス

システムデータ

→ニチジ セッテイ

タンシ シ ヨウタイ

参考画面1: 現在時刻表示画面

ニチジ セッテイ THU  
96-01-01 12:00  
→ヒツ ケ ヨウヒ シ コク

現在記憶している日付、曜日  
時刻を表示します。

## 新設時に日時を設定する方法

新設時の日時設定を行います。

新設時に本装置の電源をONしたり「システムオールリセット」を行った場合は、自動的に本設定状態となります。

1. 新設時、本装置の電源をONします。  
または、「システムオールリセット」を行います。

日時設定画面

ニチシ セッテイ  
ヒツ ケ カ ミセッテイテ ス  
→ヒツ ケ ヨウヒ シ ヨク

2. 「確定」キーを押します。

日付設定画面

ニチシ セッテイ  
ケ ンサ イ：ミセッテイ  
ヒツ ケ：■ - -

3. 「数字」キーで日付を設定します。

(例) 96年1月1日を設定する場合

また、以下の操作もできます。

・「取消」で日時設定画面になります。

日付設定画面

ニチシ セッテイ  
ケ ンサ イ：ミセッテイ  
ヒツ ケ：96-01-01

4. 「確定」キーを押します。

また、以下の操作もできます。

・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面

ニチシ セッテイ  
ヨウヒ カ ミセッテイテ ス  
ヒツ ケ→ヨウヒ シ ヨク

5. 「確定」キーを押します。

曜日設定画面

ニチシ セッテイ  
ケ ンサ イ：ミセッテイ  
→SUN TUE THU SAT  
MON WED FRI

6. 「→」キーで曜日を設定します。

(例) 木曜日を設定する場合

また、以下の操作もできます。

・「取消」で日時設定画面になります。

曜日設定画面

ニチシ セッテイ  
ケ ンサ イ：ミセッテイ  
SUN TUE→THU SAT  
MON WED FRI

7. 「確定」キーを押します。

また、以下の操作もできます。

・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面

ニチシ セッテイ  
シ ヨク カ ミセッテイテ ス  
ヒツ ケ ヨウヒ →シ ヨク

8. 「確定」キーを押します。

時刻設定画面

ニチシ セッテイ  
ケ ンサ イ：ミセッテイ  
シ ヨク：■ :

9. 「数字」キーで時刻を設定します。

(例) PM1:00を設定する場合

また、以下の操作もできます。

・「取消」で日時設定画面になります。

時刻設定画面

ニチシ セッテイ  
ケ ンサ イ：ミセッテイ  
シ ヨク：13:00

10. 「確定」キーを押します。

また、以下の操作もできます。

・「取消」で日時設定画面になります。

日時設定画面

ニチシ セッテイ  
トリケシ：メインメニュー  
→ヒツ ケ ヨウヒ シ ヨク

11. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーホート メンテナンス  
システムテータ  
→ニチシ セッテイ  
タンシ シ ヨウタイ



## 4. 各端子の現在状態をLCDに表示する方法

センサ入力、アナログ入力の現在の端子状態を表示します。

尚、出力接点は保守機能実行により待機状態に戻る為、待機状態の確認となります。

積算値のクリアについては、「11. 積算値をクリアする方法」のページを参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーホート	メンテナンス
→メッセージ	ロクオン
システムデ	ータ

2. 「↓」キー3回＋「確定」キーを押します。  
(「→」を「タンシ ジョウタイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

端子状態メニュー画面

タンシ	ジ	ョウタイ
→センサ		
アナログ		

3. 「確定」キーを押します。  
(例)センサ入力の状態を確認する場合  
また、以下の操作もできます。  
・「↓」で端子選択できます。

センサ入力状態表示画面

センサ			
01	[フ	レーク]	セイシ ヨウ
02	[メーク		イシ ヨウ
03	[メーク		ハ ルス

入力状  
入力状態に対す  
る

4. 「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。  
また、以下の操作もできます。  
・「モード2」で積算値表示画面になります。(参考画面1参照)  
・「取消」で端子状態メニュー画面になります。

センサ入力状態表示画面

センサ			
04	[フ	レーク]	シ カン
05	[メーク		セイシ ヨウ
06	[メーク		モート 1

5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーホート	メンテナンス
ニテシ	セッテイ
→タンシ	ジ ヨウタイ
リレキ	ヒョウシ

参考画面1: 積算値表示画面

センサ			
01	[フ	レーク]	セイシ ヨウ
02	[メーク		イシ ヨウ
03	[00475]		ハ ルス

積算端子のみ積算値を表示します。

- ・「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。
- ・「モード1」でセンサ入力状態表示画面になります。
- ・「取消」で端子状態メニュー画面になります。

## 5. 通報履歴等をLCDに表示する方法

通報、センサ入力、アナログ入力、接点出力、回線断の履歴を表示します。

通報動作、センサ入力、アナログ入力、接点出力は、最大:各100件、回線断は、最大:20件の履歴を蓄積できます。  
尚、最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきます。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーボード メンテナンス

→メッセージ ログオン

システムデータ

2. 「↓」キー4回+「確定」キーを押します。  
(「→」を「リレキ ヒョウジ」に合わせ「確定」キーを押します。)

履歴表示メニュー画面

リレキ ヒョウジ

→ツウホウ [005]

センサ [020]

3. 「確定」キーを押します。

(例) 通報履歴を確認する場合

また、以下の操作もできます。

・「↓」で履歴項目を選択できます。

・「取消」でメインメニューになります。

履歴表示画面

No: 1 [MAX: 006]

イシ ヨウ 01 セイシ ヨウ

96-11-01 13:02

4. 「↑」「↓」「→」「←」で履歴を確認します。

また、以下の操作もできます。

・「取消」で履歴表示メニュー画面になります。

履歴表示画面

No: 5 [MAX: 006]

イシ ヨウ 08 オウトウナシ

96-11-01 09:05

5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード メンテナンス

タンシ シ ヨウタイ

→リレキ ヒョウジ

プ リントアウト

## 6. システムデータ等をプリントアウトする方法

本装置にプリンタ(PC-PR系)を接続することにより、システムデータや履歴を印刷します。

注意:プリンタを接続する場合は、静電気にご注意ください。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーボード	メンテナンス
→メッセージ	ロックオン
システムデータ	

2. 「↓」キー5回+「確定」キー押します。  
(“→”を「プリントアウト」に合わせ「確定」キー押します。)

プリントアウトメニュー画面

プリントアウト
→システムデータ インサツ
リレキ インサツ

3. 「確定」キーを押します。  
(例)システムデータを印刷する場合  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でメインメニューになります。

システムデータ印刷メニュー画面

システムデータ インサツ
→セレクト システムデータ
システム キノウ

4. 「確定」キーを押します。  
(例)全システムデータを印刷する場合  
また、以下の操作もできます。  
・「↓」で印刷項目を選択できます。  
・「取消」でプリントアウトメニュー画面になります。

印刷中画面

システムデータ インサツ
セレクト システムデータ
(インサツチュウ)
トリケシ:チュウシ

5. 印刷が終わる(プリンタにデータ送出手間が終わる)  
とシステムデータ印刷メニュー画面になります。

システムデータ印刷メニュー画面

システムデータ インサツ
→セレクト システムデータ
システム キノウ

6. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード	メンテナンス
→メッセージ	ロックオン
システムデータ	

## 7. 簡易オンラインメンテナンスを行う方法

本装置の設定に関係なくオンラインメンテナンスを行う事ができます。

本項目を実行状態とすると、本装置はオンラインメンテナンス待ち状態となり保守端末によるシステムデータのダウンロードやアップロード等を行うことができます。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーボード	メンテナンス
→メッセージ	ロックオン
システムデータ	

2. 「↓」キー6回+「確定」キー押します。

(“→”を「オンラインメンテナンス」に合わせ「確定」キー押します。)

オンラインメンテナンス待ち画面

オンラインメンテナンス	待ち
-------------	----

4. 本装置は、オンラインメンテナンス待ち状態となりますのでオンラインメンテナンスを実行できます。

また、以下の操作もできます。

・「取消」でメインメニューになります。

5. オンラインメンテナンスを終了すると自動的にメインメニューに戻ります。

メインメニュー

システムデータ	
プリントアウト	
→オンライン	メンテナンス
システム	インフォメーション

## 8. システムバージョンをLCDに表示する方法

本装置に実装されているメインCPUのバージョンを表示します。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーボード	メンテナンス
→メッセージ	ロックオン
システムデータ	

2. 「↓」キー7回+「確定」キーを押します。

(“→”を「システム インフォメーション」に合わせ「確定」キーを押します。)

システム表示画面

システム	: CSD7-B	
バージョン	: 03.00	←バージョン
	: (01.00)	

3. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード	メンテナンス
オンライン	メンテナンス
→システム	インフォメーション
ユニット	インフォメーション

## 9. ユニットバージョンをLCDに表示する方法

本装置に実装されているサブCPUの種類、状態及びバージョンを表示します。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーホート	メンテナンス
→メッセージ	ロクオン
システムデータ	

2. 「↓」キー8回+「確定」キー押します。

(「→」を「ユニット インフォメーション」に合わせ「確定」キー押します。)

ユニット表示画面

スロットNo	: 1	
シュベツ	: NCU	←1 ユニット名称: 連番
シヨウタイ	: ツウシンカノウ	←実装状態
バージョン	: 03.00	←バージョン

3. 「→」「←」で各オプションセットを確認します。

ユニット表示画面

スロットNo	: 3
シュベツ	: EVU-1
シヨウタイ	: ツウシンカノウ
バージョン	: 03.00

4. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーホート	メンテナンス
システム	インフォメーション
→ユニット	インフォメーション
リレキ	クリア

## 10. 履歴をクリアする方法

本装置に記録されている各動作履歴をクリアします。

**注意:** 最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきますので、特別な場合を除き操作しないで下さい。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

キーホート	メンテナンス
→メッセージ	ロクオン
システムデータ	

2. 「↓」キー9回+「確定」キー押します。

(「→」を「リレキ クリア」に合わせ「確定」キー押します。)

履歴クリアメニュー画面

リレキ	クリア
→ツウホウ	[005]
センサ	[020]

3. 「確定」キーを押します。

(例) 通報履歴をクリアする場合

また、以下の操作もできます。

- ・「↓」で履歴クリア項目を選択できます。
- ・「取消」で履歴クリアメニュー画面になります。

履歴クリア画面

リレキ	クリア
ツウホウ	[005]
カクテイ	クリア

4. 「確定」キーでクリアされ履歴クリアメニュー画面になります。

クリア項目選択画面

リレキ	クリア
→ツウホウ	[000]
センサ	[020]

5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーホート	メンテナンス
ユニット	インフォメーション
→リレキ	クリア
セキサンチ	クリア

## 11. 積算値をクリアする方法

本装置に記録されている各積算値をクリアします。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー  
キーボード` メンテナンス  
→メッセージ` ロクオン  
システムデータ` ータ

2. 「↓」キー10回+「確定」キー押します。  
(“→”を「セキサンチ クリア」に合わせ「確定」キー押します。)

積算値クリアメニュー画面

セキサンチ クリア  
→ハ` ルス セキサンチ  
シ` カン セキサンチ

3. 「確定」キーを押します。  
(例) バルス積算値をクリアする場合  
また、以下の操作もできます。  
・「↓」で積算値クリア項目を選択できます。  
・「取消」でメインメニューになります。

クリアNo選択画面

ハ` ルス セキサンチ  
→0 1 [1 2 3 4 5]  
0 2 [0 0 1 2 3]

4. 「↑」「↓」「→」「←」でクリアする端子を選択し「確定」キーでクリアされます。  
(例) センサ01をクリアする場合  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」で積算値クリアメニュー画面になります。

積算値クリア画面

ハ` ルス セキサンチ  
→0 1 [0 0 0 0 0]  
0 2 [0 0 1 2 3]

5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。

メインメニュー

キーボード` メンテナンス  
リレキ クリア  
→セキサンチ クリア  
システム オール リセット

## 12. システムをオールリセットする方法

本装置に記録されているシステムデータ、履歴及び録音メッセージを全てリセット(出荷時の状態)します。

**注意:** 本装置の状態は、出荷時状態に戻りますので、特別な場合を除き操作しないで下さい。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー  
キーボード` メンテナンス  
→メッセージ` ロクオン  
システムデータ` ータ

2. 「↓」キーを11回+「確定」キー押します。  
(“→”を「システム オール リセット」に合わせ「確定」キー押します。)

オールリセット画面

システム オール リセット

セッテイ: オールリセット

4. 「設定」キーを押すとオールリセットします。  
また、以下の操作もできます。  
・「取消」でメインメニューになります。

オールリセット中画面

オール リセット中チュウ

オールリセット後は、日時設定画面となります。

システム初期化中画面

システム ショキカチュウ  
ホ` ート` ショキカチュウ

システム初期化中画面

キーボード` メンテナンス  
シハ` ラク オマテクタ` サイ

日時設定画面

ニチシ` セッテイ  
ヒツ` ケ` カ` ミセッテイテ` ス  
→ヒツ` ケ` ヨウヒ` シ` コク

## 9. システムデータ設定内容

次ページ以降のシステムデータ設定内容の表記は、以下の通りです。

機能名称  
**通報**

種別No  
ダイレクト設定の種別入力  
画面で入力するNoです。  
**36**

種別名称  
**センサ入力**

要素No  
ダイレクト設定の要素入力  
画面で入力するNoです。  
**01~08**

**概要**

センサ入力の設定をします。

**設定項目**

項目No	項目名称	設定内容	初期値	項目説明
01	異常モード	メーク/ブレイク/パルス検算/時間検算	メーク	異常モードを設定 <span style="float: right;">注1</span>
02	検出タイム	5~30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定 <span style="float: right;">注2</span>
03	通報起動条件	異常時/異常復帰時	異常時	本項目(01)が「メーク」「ブレイク」の場合、通報起動条件を設定 <span style="float: right;">注3</span>
04	通報内容	積算値/異常通報	積算値	本項目(01)が「パルス/時間検算」の場合、固定音声/固定データ通報時の通報内容を設定 <span style="float: right;">注4</span>
05	異常積算値	1~65534(回又は10秒)	65534	本項目(01)が「パルス/時間検算」の場合、異常とする積算値を設定 <span style="float: right;">注5</span>
06	定時通報時積算値クリア	有/無	有	本項目(01)が「パルス/時間検算」の場合、定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定 <span style="float: right;">注6</span>
07	モード1通報	有/無	無	モード1における通報の有無を設定 <span style="float: right;">注7</span>
08	モード2通報	有/無	無	モード2における通報の有無を設定 <span style="float: right;">注8</span>
09	通報グループNo	1~32	1	通報グループNoを設定 <span style="float: right;">注9</span>
10	DTMF	異常 0~9, *, #, A~D, F [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定 <span style="float: right;">注10</span>
11	データ	検出 0~9, *, #, A~D, F [MAX:32桁]	未設定	データ通報時の通報データを設定 <span style="float: right;">注11</span>
12	ポケット	異常 0~9, *, #, A~D, F [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定 <span style="float: right;">注12</span>
13	ベル	検出 0~9, *, #, A~D, F [MAX:32桁]	未設定	ベル通報時の通報データを設定 <span style="float: right;">注13</span>
14	録音	異常 フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定 <span style="float: right;">注14</span>
15	メッセージ	検出 フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	メッセージ通報時の通報メッセージを設定 <span style="float: right;">注15</span>
16	動作記録	有/無	有	動作時、履歴記録の有無を設定 <span style="float: right;">注16</span>
17	動作印刷	有/無	有	動作時、印刷の有無を設定 <span style="float: right;">注17</span>
18	録音音聴取	有/無	無	録音音聴取の有無を設定 <span style="float: right;">注18</span>

**記事**

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
メーク	「メーク」した場合、異常とします。
ブレイク	「ブレイク」した場合、異常とします。
パルス検算	「メーク」した回数を積算し、設定した積算値(回)で異常とします。
時間検算	「メーク」している時間を10秒単位で積算し、設定した積算値(x10秒)で異常とします。

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復帰時	異常時及び復帰時に通報します。

注3. 本項目は「種別(30)/項目(02):通報方式」が以下の場合、有効となります。

①「固定音声」「MF+固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」でかつ「本項目(10):通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)

■ 通報内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
積算値	積算値(最大5桁:1~65534)を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。

固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

**LCD表示**

no:異常18(01~08)

36:センサINnn  
01:イン/異常モード  
→メーク  
→ブレイク  
→パルスセキサン  
→カンセキサン

36:センサINnn  
02:検出タイム  
[5~30000(x10ms)]  
→30→

36:センサINnn  
03:ツウホウジ/ウケン  
→イン/ウシ  
→イン/ウツホウ

36:センサINnn  
04:ツウホウジ/ウケン  
→セキサン  
→イン/ウツホウ

36:センサINnn  
05:イン/ウツホウ  
[1~65534]  
→65534→

36:センサINnn  
06:セキサンクリア  
→アリ  
→なし

システム種別	01	IDコード	要素	—																		
<b>概要</b> 本装置のIDコードを設定します。 注意: ID番号は、本装置の管理番号となり、通報及び保守等において必要なものですので、必ず設定して下さい。 「本項目 (01): ID番号」が設定されていないと、システムデータ保存時エラーとなります。																						
<b>設定項目</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 ID番号</td> <td>0~9 [MAX:16桁]</td> <td>未設定</td> <td>本装置のID番号を設定 注1</td> </tr> <tr> <td>02 IDメッセージ</td> <td>フレーズNo.0~63 [1フレーズ]</td> <td>未設定</td> <td>ID番号の代わりに送出するメッセージを設定 注2</td> </tr> </tbody> </table>					設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 ID番号	0~9 [MAX:16桁]	未設定	本装置のID番号を設定 注1	02 IDメッセージ	フレーズNo.0~63 [1フレーズ]	未設定	ID番号の代わりに送出するメッセージを設定 注2						
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																			
01 ID番号	0~9 [MAX:16桁]	未設定	本装置のID番号を設定 注1																			
02 IDメッセージ	フレーズNo.0~63 [1フレーズ]	未設定	ID番号の代わりに送出するメッセージを設定 注2																			
<b>記 事</b> 注1. ID番号は、必ず設定してください。  注2. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。 IDメッセージ機能は、以下の通りです。 「種別 (30) / 項目 (02): 通報方式」が「固定音声」の通報先に通報 (固定音声通報) する場合、ID番号の代わりに設定したメッセージを送出します。 本項目の設定により、固定音声通報時の通報メッセージは、以下のようになります。 「センサ01の積算異常を固定音声で通報」する場合 例1: ID番号のみ設定した場合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定値</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ID番号</td> <td>0123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IDメッセージ</td> <td>未設定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 通報メッセージ: 「こちらは0123です センサ01がXXXXXX (積算値) です」 <div style="text-align: center;">固定音声</div> 例2: ID番号とIDメッセージを設定した場合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定値</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ID番号</td> <td>0123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IDメッセージ</td> <td>No1</td> <td>[日通工です]というフレーズNo</td> </tr> </tbody> </table> 通報メッセージ: 「日通工です センサ01がXXXXXX (積算値) です」 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>録音音声</span> <span>固定音声</span> </div>			設定項目	設定値	記 事	ID番号	0123		IDメッセージ	未設定		設定項目	設定値	記 事	ID番号	0123		IDメッセージ	No1	[日通工です]というフレーズNo	<b>LCD表示</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           01: IDコード            01: ID No            [0-9]         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           01: IDコード            02: IDメッセージ            [0-63] (0/1)            : ■ :         </div>	
設定項目	設定値	記 事																				
ID番号	0123																					
IDメッセージ	未設定																					
設定項目	設定値	記 事																				
ID番号	0123																					
IDメッセージ	No1	[日通工です]というフレーズNo																				



システム	種別	02	メッセージ録音条件	要素	—
------	----	----	-----------	----	---

## 概要

本装置の内蔵マイクまたは録音ジャックより録音するメッセージの録音条件を設定します。

注意:メッセージ録音条件の設定は、メッセージを録音する前に行ってください。

なお、システムデータ保存を行わないと有効となりません。

## 設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 サンプルレート	8K/12K/16K(bps)	16Kbps	サンプルレートを設定 注1
02 サイレントリムーブ	有/無	無	サイレントリムーブ機能の有無を設定 注2
03 しきい値	0~7 (0:低~7:高)	0	本項目(02)が「有」の場合、しきい値を設定 注2

## 記 事

注1. サンプルレートの設定により録音時間及び音質は以下のようになります。

サンプルレート	録音時間	音 質
8Kbps	約131秒(2分11秒)	下
12Kbps	約 86秒(1分26秒)	中
16Kbps	約 65秒(1分 5秒)	上

メッセージ録音後にサンプルレートの設定を変更した場合、録音済のフレーズの音質については変更前の音質となり、時間については以下のような比率で換算されます。(16Kbps=1とした場合)

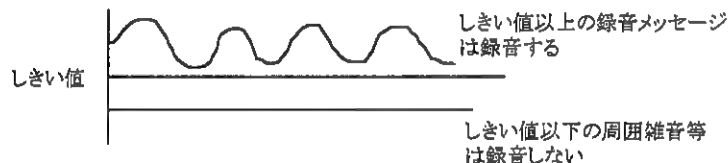
	8Kbps	12Kbps	16Kbps
比率	約2	約1.4	1

(例) 16Kbpsで5秒間録音した場合、12Kbpsに設定を変更すると約7秒と換算されます。

注2. サイレントリムーブ機能は、以下の通りです。

ある大きさ(しきい値)以下の音を録音しない機能です。下図のような録音となります。

但し、メッセージがしきい値以下になった場合も録音しません(LCD表示の録音可能な残り時間が変化せず再生時は無音を送出する)のでご注意ください。



しきい値は、周囲雑音や録音する声の大きさにより設定して下さい。

しきい値設定は、以下を目安に設定し、実際に録音を行い確認して下さい。

しきい値	録音しない音の大きさ
0	かなり小さい音
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	大きい音

## LCD表示

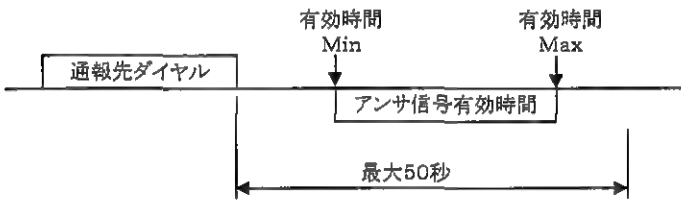
02 : ロクオンシ ョウケン  
01 : サンプ リンク レート  
8 K b p s  
1 2 K b p s  
→ 1 6 K b p s

02 : ロクオンシ ョウケン  
02 : サイレントリムーブ  
アリ  
→ ナシ

02 : ロクオンシ ョウケン  
03 : シキイチ  
[ 0 ~ 7 ]  
: 0 → ■

システム種別		03	回線断検出機能		要素	—
概要						
本装置が回線断線を検出した時の動作を設定します。 回線断線は以下の条件で検出します。 ①待機状態において回線断状態が約30秒継続した時 ②回線捕捉時に回線断状態となっている時						
設定項目						
設定項目		設定内容	初期値	項目説明		
01	回線断警報音	有／無	有	検出時、警報音送出の有無を設定 注1		
02	出力接点連動	有／無	無	検出時、出力接点連動の有無を設定		
03	接点No	1～XX(注2)	未設定	本項目(02)が「有」の場合、連動させる出力接点Noを設定 注2		
04	動作印刷	有／無	無	検出時、印刷の有無を設定 注3		
記 事						
注1. 警報音は、本体の内蔵スピーカより送出します。 送出する警報音は、以下の通りです。 「ビー ビー ビー……………」 警報音は以下の条件で停止します。 ①回線が復旧した時 ②「通報停止ボタン」または「外部停止ボタン」を押した時						
注2. 設定した出力接点Noの待機状態及び出力方式は、「種別(35):出力接点」で設定して下さい。 出力接点の出力方式が「連続」の場合、連動接点は以下の条件でオフします。 ①回線が復旧した時 ②「通報停止ボタン」または「外部停止ボタン」を押した時						
注3. 動作印刷機能は、以下の通りです。 回線断検出時及び復旧時、本装置に接続したプリンタに履歴を印刷します。						
				LCD表示		
				03：カイセンタ`ンキノウ 01：カイセンタ`ンケイホウ →アリ ナシ		
				03：カイセンタ`ンキノウ 02：セッテンレント`ウ アリ →ナシ		
				03：カイセンタ`ンキノウ 03：セッテンNo [1－4] ミセッテイ→■		
				03：カイセンタ`ンキノウ 04：ト`ウサインサツ アリ →ナシ		

回線	種別	10	NCU機能	要素	—																																
概要																																					
本装置の収容回線仕様等を設定します。																																					
設定項目																																					
<table><thead><tr><th>設定項目</th><th>設定内容</th><th>初期値</th><th>項目説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>01 ダイヤルモード</td><td>10pps/20pps/DTMF</td><td>20pps</td><td>ダイヤルモードを設定 注1</td></tr><tr><td>02 DT検出</td><td>有/無</td><td>有</td><td>DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定</td></tr><tr><td>03 DT検出タイマ</td><td>1~10(x100ms)</td><td>8(0.8秒)</td><td>本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定 注2</td></tr><tr><td>04 極性反転検出タイマ</td><td>1~10(x100ms)</td><td>3(0.3秒)</td><td>極性反転の検出時間を設定</td></tr><tr><td>05 BT・H&amp;D検出</td><td>有/無</td><td>有</td><td>BT(ビジートーン)及び通報中のH&amp;D検出の有無を設定</td></tr><tr><td>06 フラッシュ時間</td><td>1~10(x100ms)</td><td>6(0.6秒)</td><td>ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定</td></tr><tr><td>07 回線開放タイマ</td><td>5~255(秒)</td><td>15(15秒)</td><td>前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定 注3</td></tr></tbody></table>						設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 ダイヤルモード	10pps/20pps/DTMF	20pps	ダイヤルモードを設定 注1	02 DT検出	有/無	有	DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定	03 DT検出タイマ	1~10(x100ms)	8(0.8秒)	本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定 注2	04 極性反転検出タイマ	1~10(x100ms)	3(0.3秒)	極性反転の検出時間を設定	05 BT・H&D検出	有/無	有	BT(ビジートーン)及び通報中のH&D検出の有無を設定	06 フラッシュ時間	1~10(x100ms)	6(0.6秒)	ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定	07 回線開放タイマ	5~255(秒)	15(15秒)	前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定 注3
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																																		
01 ダイヤルモード	10pps/20pps/DTMF	20pps	ダイヤルモードを設定 注1																																		
02 DT検出	有/無	有	DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定																																		
03 DT検出タイマ	1~10(x100ms)	8(0.8秒)	本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定 注2																																		
04 極性反転検出タイマ	1~10(x100ms)	3(0.3秒)	極性反転の検出時間を設定																																		
05 BT・H&D検出	有/無	有	BT(ビジートーン)及び通報中のH&D検出の有無を設定																																		
06 フラッシュ時間	1~10(x100ms)	6(0.6秒)	ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定																																		
07 回線開放タイマ	5~255(秒)	15(15秒)	前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定 注3																																		
記 事																																					
注1. 本装置に接続した回線のダイヤルモードを確認して、必ず設定して下さい。 尚、DPダイヤルについてはスピード(10pps/20pps)の設定となります。																																					
注2. DT検出タイマは、以下を参考に設定してください。																																					
<div><div>回線補促</div><div>ダイヤル送出</div><div>H&amp;D検出 0.5秒</div><div>DT検出タイマ</div></div>																																					
注3. 回線開放タイマは、以下を参考に設定して下さい。																																					
<div><div>第1宛先</div><div>第2宛先</div><div>回線開放タイマ</div></div>																																					
・通報先が同一宛先の場合は、回線開放タイマは無条件で60秒となります。																																					
LCD表示																																					
10:NCUキノウ 01:ダイヤルモード 10pps →20pps DTMF																																					
10:NCUキノウ 02:DTケンシュツ →アリ →ナシ																																					
10:NCUキノウ 03:DTケンシュツタイマ [1-10(x100ms)] :8→■																																					
10:NCUキノウ 04:RVケンシュツタイマ [1-10(x100ms)] :3→■																																					
10:NCUキノウ 05:BT・H&Dケンシュツ アリ →ナシ																																					
10:NCUキノウ 06:フラッシュカン [1-10(x100ms)] :6→■																																					
10:NCUキノウ 07:カイセンカイホウタイマ [5-255(s)] :15→■																																					

回線	種別	11	アンサ信号		要素	—
概要						
DTMF通報時において、アンサ信号の有効条件を設定をします。 通報先ダイヤル後、50秒以内に設定した条件内のアンサ信号を受信した場合、通報DTMFデータを送出します。						
設定項目						
設定項目		設定内容	初期値	項目説明		
01	検出周波数	40～300(x10Hz)	165(1650Hz)	検出周波数を設定 注1		
02	有効時間 (Min)	1～10(x100ms)	3 (0. 3秒)	有効時間の最小値を設定 注2		
03	有効時間 (Max)	10～100(x100ms)	50 (5秒)	有効時間の最大値を設定 注2		
記 事						
注1. 検出周波数は、設定値±10%です。						
注2. 有効時間は、以下を参考に設定してください。						
						
				LCD表示		
				11: アンサシンコ`ウ 01: ケンシュツシュウハスウ [40～300 (x10Hz)] : 165→■		
				11: アンサシンコ`ウ 02: ユウコウシ`カンMin [1～10 (x100ms)] : 3→■		
				11: アンサシンコ`ウ 03: ユウコウシ`カンMax [10～100 (x100ms)] : 50→■		

回線	種別	12	エンド信号	要素	—
<b>概 要</b> DTMF通報時において、エンド信号の有効条件を設定をします。 設定した条件内のエンド信号を受信した場合、通報が正常終了します。					
<b>設定項目</b>					
設定項目	設定内容	初期値	項目説明		
01 エンド信号待ちタイマ	1～255(秒)	7(7秒)	通報DTMFデータ送出後、エンド信号の受信待ち時間を設定	注1	
02 検出周波数	40～300(x10Hz)	165(1650Hz)	検出周波数を設定	注2	
03 有効時間(Min)	1～10(x100ms)	3(0.3秒)	有効時間の最小値を設定	注1	
04 有効時間(Max)	10～100(x100ms)	50(5秒)	有効時間の最大値を設定	注1	
<b>記 事</b>					
注1. エンド信号待ちタイマ、有効時間は、以下を参考に設定して下さい。					
<p>The diagram illustrates the timing sequence for the end signal waiting period. It starts with a 'DTMFデータ送出' (DTMF data output) block. Following this, there is a horizontal line representing time. A bracket below this line indicates the 'エンド信号待ちタイマ' (End signal waiting timer). This timer is further divided into two segments: '有効時間 Min' (Effective time Min) and '有効時間 Max' (Effective time Max), with a central label 'エンド信号有効時間' (End signal effective time).</p>					
注2. 検出周波数は、設定値±10%です。					
<b>LCD表示</b>					
12: エント シンコ ウ 01: エント マチタイマ [1-255 (s)] : 7 → ■					
12: エント シンコ ウ 02: ケンシュツシュウハスウ [40-300 (x10Hz)] : 165 → ■					
12: エント シンコ ウ 03: ユウコウシ カンMin [1-10 (x100ms)] : 3 → ■					
12: エント シンコ ウ 04: ユウコウシ カンMax [10-100 (x100ms)] : 50 → ■					

回線	種別	13	DTMFデータ	要素	—																				
<b>概要</b> 本装置が送出するDTMFデータ(ダイヤルは除く)の仕様を設定をします。 <b>注意:</b> 送出レベルの調整は工事担任者の資格を有するものに限ります。																									
<b>設定項目</b>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 DTMF送出タイマ</td> <td>5~100(x10ms)</td> <td>10(0.1秒)</td> <td>送出時間を設定</td> </tr> <tr> <td>02 DTMF休止タイマ</td> <td>5~100(x10ms)</td> <td>10(0.1秒)</td> <td>休止時間を設定</td> </tr> <tr> <td>03 DTMF送出レベル</td> <td>0~7(0:大~7:小)</td> <td>7</td> <td>送出レベルを設定 <span style="float:right">注1</span></td> </tr> <tr> <td>04 アンサ信号後DTMF送出遅延タイマ</td> <td>1~100(x100ms)</td> <td>5(0.5秒)</td> <td>アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定 <span style="float:right">注2</span></td> </tr> </tbody> </table>						設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 DTMF送出タイマ	5~100(x10ms)	10(0.1秒)	送出時間を設定	02 DTMF休止タイマ	5~100(x10ms)	10(0.1秒)	休止時間を設定	03 DTMF送出レベル	0~7(0:大~7:小)	7	送出レベルを設定 <span style="float:right">注1</span>	04 アンサ信号後DTMF送出遅延タイマ	1~100(x100ms)	5(0.5秒)	アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定 <span style="float:right">注2</span>
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																						
01 DTMF送出タイマ	5~100(x10ms)	10(0.1秒)	送出時間を設定																						
02 DTMF休止タイマ	5~100(x10ms)	10(0.1秒)	休止時間を設定																						
03 DTMF送出レベル	0~7(0:大~7:小)	7	送出レベルを設定 <span style="float:right">注1</span>																						
04 アンサ信号後DTMF送出遅延タイマ	1~100(x100ms)	5(0.5秒)	アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定 <span style="float:right">注2</span>																						
<b>記 事</b> 注1. 送出レベルは、以下の通り可変できます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>送出ゲイン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>14dB UP</td></tr> <tr><td>1</td><td>12dB UP</td></tr> <tr><td>2</td><td>10dB UP</td></tr> <tr><td>3</td><td>8dB UP</td></tr> <tr><td>4</td><td>6dB UP</td></tr> <tr><td>5</td><td>4dB UP</td></tr> <tr><td>6</td><td>2dB UP</td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 注2. アンサ信号後DTMF送出タイマは、以下を参考に設定して下さい。 <div style="text-align: center;"> <pre> sequenceDiagram     Note over : アンサ信号受信     Note over : アンサ後DTMF送出タイマ     Note over : DTMFデータ送出           </pre> </div>				設定値	送出ゲイン	0	14dB UP	1	12dB UP	2	10dB UP	3	8dB UP	4	6dB UP	5	4dB UP	6	2dB UP	7	0	<b>LCD表示</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             13:DTMFデータ              01:ソウシュツタイマ              [5-100(x10ms)]              :10→■           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             13:DTMFデータ              02:キュウシタイマ              [5-100(x10ms)]              :10→■           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             13:DTMFデータ              03:ソウシュツレベル              [0-7]              :7→■           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             13:DTMFデータ              04:アンサーMFチエン              [1-100(x100ms)]              :5→■           </div>			
設定値	送出ゲイン																								
0	14dB UP																								
1	12dB UP																								
2	10dB UP																								
3	8dB UP																								
4	6dB UP																								
5	4dB UP																								
6	2dB UP																								
7	0																								

自動応答種別

20

自動応答

要素

—

概要

自動応答機能の設定をします。

本装置が待機状態である場合、外部より本装置にダイヤルすると、設定条件に従って自動応答します。

本装置が起動中(通報中、通報保留中等)は、自動応答しません。

本種別及び「種別(21):暗証番号」の設定を行うと、遠隔操作によるテレコントロールやオンラインメンテナンスを行うことができます。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 自動応答機能	有/無	無	自動応答機能の有無を設定
02 自動応答条件	モード1/モード2/設定時間/無条件	モード2	自動応答する条件を設定 注1
03 自動応答の設定時間	(00:00~23:59)~ (00:00~23:59)	20:00~ 8:00	本項目(02)が「設定時間」の場合、自動応答可能とする時間帯を設定
04 自動応答タイマ	1~255(秒)	5(5秒)	自動応答するまでの時間を設定
05 自動応答DTMF	0~9 [2桁]	未設定	自動応答DTMFを設定 注2
06 自動応答メッセージ方式	固定音声/録音音声	固定音声	自動応答時、送出するメッセージの方式を設定 注3
07 自動応答メッセージ(録音)	フレーズNo.0~63 [1フレーズ]	未設定	本項目(06)が「録音音声」の場合、送出するメッセージを設定 注4
08 端子状態通知	有/無	無	端子状態通知機能の有無を設定 注5

記事

注1. 自動応答条件の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
モード1	通報モード1の時、自動応答します。
モード2	通報モード2の時、自動応答します。
設定時間	通報モードに関係なく設定した時間帯の時、自動応答します。
無条件	常時、自動応答します。

注2. 自動応答DTMFの機能は、以下の通りです。

外部より本装置にダイヤルし、自動応答する前に本装置に接続された外付電話装置で応答した場合において、通話中に外部または外付電話機より設定した自動応答DTMFを入力すると、外付電話機が強制切断され装置が自動応答します。

但し、自動応答DTMFを誤入力した場合、再度設定したDTMFを入力しても自動応答できません。

注3. 自動応答メッセージの設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	本装置の固定メッセージ「こちらはXXXX・・です」を送出します。
録音音声	録音メッセージを送出します。

・XXXX・・(MAX:16桁):「種別(01)/項目(01):ID番号」で設定して下さい。

・録音メッセージは、「本項目(07):自動応答メッセージ」で設定して下さい。

注4. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注5. 端子状態通知機能は、以下の通りです。

本装置が自動応答した場合、暗証番号なしでセンサの全端子情報を音声で送出します。

また、自動応答メッセージ、センサ全端子情報送出中及び送出後は暗証番号の受信が可能であり、テレコントロール等を起動できます。

LCD表示

20:ジ ト ウオウトウ  
01:ジ ト ウオウトウキノウ  
アリ  
→ナシ

20:ジ ト ウオウトウ  
02:オウトウシ ョウケン  
モード 1  
→モード 2  
セッテイシ カン  
ムジ ョウケン

20:ジ ト ウオウトウ  
03:オウトウセッテイシ カン  
:(20:00-08:00)  
→( : - : )

20:ジ ト ウオウトウ  
04:オウトウタイマ  
[1-255 (s)]  
: 5→

20:ジ ト ウオウトウ  
05:オウトウDTMF  
[0-9]  
ミセッテイ→

20:ジ ト ウオウトウ  
06:メッセージ ホウシキ  
コテイオンセイ  
→ロクオンオンセイ

20:ジ ト ウオウトウ  
07:オウトウメッセージ  
[0-63] (0/1)  
: :

20:ジ ト ウオウトウ  
08:タンシシ ョウタイツウチ  
アリ  
→ナシ

自動応答

自動応答メッセージ

センサ全端子情報

1秒

暗証番号待ちタイマ

暗証番号受信可能

・自動応答メッセージは、注3を参照願います。

・センサ全端子情報は、テレコントロール機能の「センサ情報収集全端子情報(≠1199)」と同一のメッセージを送出します。

・自動応答メッセージ、センサ全端子情報送出中の暗証番号(\*XXXX#)受信は、\*を受信した時点で送出している音声を停止します。

・暗証番号待ちタイマは、「種別(21)/項目(09):暗証番号待ちタイマ」で設定して下さい。

自動応答種別	21	暗証番号	要素	—
--------	----	------	----	---

## 概要

テレコントロールやメンテナンス(オンライン/オンサイト)を実行するための暗証番号を設定します。  
「種別(20):自動応答」及び本種別の設定を行うと、遠隔操作によるテレコントロールやオンラインメンテナンスを行うことができます。

## 設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 暗証番号オンラインメンテナンス	0~9 [4桁]	未設定	オンラインメンテナンスを起動する暗証番号を設定 注1
02 暗証番号 音声制御	0~9 [4桁]	未設定	音声によるテレコンを起動する暗証番号を設定 注2
03 テレコン センタ制御	0~9 [4桁]	未設定	センタ装置によるテレコンを起動する暗証番号を設定 注2
04 エレベータ制御	0~9 [4桁]	未設定	エレベータホンのテレコンを起動する暗証番号を設定 注2
08 暗証番号再入力回数	1~10(回)	3回	暗証番号の再入力可能な回数を設定 注3
09 暗証番号受信待ちタイマ	1~255(秒)	30(30秒)	自動応答後、暗証番号の受信待ち時間を設定 注4

## 記事

注1. メンテナンス(オンライン/オンサイト)を起動する為の暗証番号を設定します。

また、「種別(23):オンラインメンテナンス」の設定を確認して下さい。

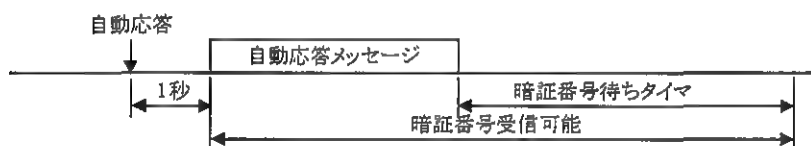
注2. 「種別(20)/項目(01):自動応答機能」が「有」の場合、設定できます。

また、「種別(22):テレコントロール」及び「種別(23):オンラインメンテナンス」の設定を確認して下さい。

各暗証番号(オンラインメンテナンスおよび各テレコントロール)は、番号が重複しないように設定して下さい。

注3. 再入力回数まで入力した場合、回線開放します。

注4. 暗証番号待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。



- ・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
- ・誤入力した場合、暗証番号待ちタイマはリセットされます。
- ・自動応答メッセージ送出中の暗証番号(\*XXXX#)受信は、\*を受信した時点で送出している音声を停止します。

## LCD表示

21 : アンショウハ`ンゴ`ウ  
01 : PWオンラインメンテ  
[0-9]  
ミセツタイ→■

21 : アンショウハ`ンゴ`ウ  
02 : PWテレコンオンセイ  
[0-9]  
ミセツタイ→■

21 : アンショウハ`ンゴ`ウ  
03 : PWテレコンセンタ  
[0-9]  
ミセツタイ→■

21 : アンショウハ`ンゴ`ウ  
04 : PWテレコンエレベ`ータ  
[0-9]  
ミセツタイ→■

21 : アンショウハ`ンゴ`ウ  
08 : PWサイニユウリョク  
[1-10]  
: 3→■

21 : アンショウハ`ンゴ`ウ  
09 : PWマテタイマ  
[1-255(s)]  
: 30→■



自動応答種別		22	テレコントロール		要素	一。
概要						
テレコントロール(音声制御及びエレベータホン制御)に関する設定をします。						
設定項目						
設定項目		設定内容		初期値	項目説明	
01	サービス番号待ちタイマ	10～255(秒)		30(30秒)	1つのサービス番号の受信可能な時間を設定 注1	
08	子機番号受信待ちタイマ	10～255(秒)		30(30秒)	暗証番号受信後、子機番号の受信可能な時間を設定	
記 事						
注1. サービス番号待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。						
<div><div><div>「サービス番号をどうぞ」送出</div><div>サービス番号待ちタイマ</div><div>暗証番号受信</div><div>1秒</div><div>サービス番号受信可能</div></div></div> <div><div>・設定した時間を経過した場合、回線開放します。</div><div>・誤入力した場合、サービス番号待ちタイマはリセットされます。</div><div>・「サービス番号をどうぞ」送出中のサービス番号( #XXXX )受信は、#を受信した時点で送出している音声を停止します。</div></div>						
LCD表示						
<div>22：テレコントロール 01：サービス番号待ちタイマ [10～255(s)] ：30→■</div> <div>22：テレコントロール 08：子機番号待ちタイマ [10～255(s)] ：30→■</div>						

自動応答種別	23	オンラインメンテナンス	要素	—
--------	----	-------------	----	---

## 概要

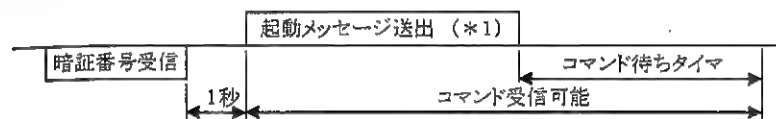
オンラインメンテナンス及びテレコントロール(センタ制御)のコマンドに関する設定をします。

## 設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 コマンド待ちタイマ	1～10(分)	1(1分)	1つのコマンドの受信待ち時間を設定 <span style="float: right;">注1</span>

## 記 事

注1. コマンド待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。



- ・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
- ・誤入力した場合、コマンド待ちタイマはリセットされます。
- ・起動メッセージ送出中のコマンド(#XXXXまたは\*XXXX)受信は、#または\*を受信した時点で送出している音声を停止します。

\*1. 起動メッセージは、オンラインメンテナンス及びテレコントロール(センタ制御)により異なります。尚、起動メッセージの送出は、暗証番号受信後のみです。以降は、コマンドに対するデータや実行終了コード[\*\*]、コマンド無効時のエラーコード[##]等を送出します。

状態	起動メッセージ
オンラインメンテナンス	オンラインメンテナンスを開始します
テレコントロール(センタ制御)	コントロールを開始します

## LCD表示

23 : オンラインメンテナンス  
01 : コマンド待ちタイマ  
[ 1 - 10 (m) ]  
: 1 → ■

通報	種別	30	通報先(1/2)	要素	01~32																																																																								
<div>概要</div> <p>通報先の設定をします。 本種別で設定した通報先No(1~32)を、「種別(31):通報グループ」に設定して下さい。</p>																																																																													
<div>設定項目</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 電話番号</td> <td>0~9、*、#、P、F [MAX:32桁]</td> <td>未設定</td> <td>通報先の電話番号を設定 注1</td> </tr> <tr> <td>02 通報方式</td> <td>固定音声／録音音声 MF+固定音声／MF+録音音声 DTMF／ポケットベル／FAX</td> <td>固定音声</td> <td>通報方式を設定 注2</td> </tr> <tr> <td>03 応答検出方式</td> <td>極性反転／タイマ／課金パルス オーディオ信号／DTMF</td> <td>極性反転</td> <td>本項目(02)が「DTMF」以外の場合、相手応答の検出方式を設定 注3</td> </tr> <tr> <td>04 応答タイマ</td> <td>5~255(秒)</td> <td>10(10)秒</td> <td>本項目(03)が「タイマ」の場合、応答時間を設定 注4</td> </tr> <tr> <td>05 応答DTMF</td> <td>0~9、*、# [1桁]</td> <td>#</td> <td>本項目(03)が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定</td> </tr> <tr> <td>06 応答後音声メッセージ 送出遅延タイマ</td> <td>0~255(秒)</td> <td>1(1秒)</td> <td>本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、相手応答後から 通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定 注5</td> </tr> <tr> <td>07 音声メッセージ送出タイマ</td> <td>1~60(x10秒)</td> <td>6(60秒)</td> <td>通報メッセージの送出時間を設定 注5</td> </tr> <tr> <td>08 音声メッセージ 繰返ポーズタイマ</td> <td>0~255(秒)</td> <td>1(1秒)</td> <td>通報メッセージを繰り返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定 注5</td> </tr> <tr> <td>09 応答後ポケットベルデータ 送出遅延タイマ</td> <td>0~255(秒)</td> <td>10(10秒)</td> <td>本項目(02)が「ポケットベル」の場合、相手応答後から ポケットベルデータを送出するまでの時間を設定</td> </tr> <tr> <td>10 DTMF後音声メッセージ 送出遅延タイマ</td> <td>0~255(秒)</td> <td>2(2秒)</td> <td>本項目(02)が「MF+固定／録音」の場合、DTMFデータ 送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定</td> </tr> <tr> <td>11 通報確認</td> <td>有／無</td> <td>無</td> <td>本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、通報確認機能の有無を設定 注6</td> </tr> <tr> <td>12 通報確認DTMF</td> <td>0~9、*、# [1桁]</td> <td>1</td> <td>本項目(11)が「有」の場合、設定可。 受信するDTMF信号を設定</td> </tr> <tr> <td>13 臨場音聴取</td> <td>有／無</td> <td>無</td> <td>本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、臨場音聴取機能の有無を設定 注7</td> </tr> <tr> <td>14 臨場音聴取マイク番号</td> <td>1~2</td> <td>1</td> <td>本項目(13)が「有」の場合、聴取するマイクNoを設定 注8</td> </tr> <tr> <td>15 臨場音聴取監視タイマ</td> <td>10~255(秒)</td> <td>60(60秒)</td> <td>本項目(13)が「有」の場合、聴取する時間を設定 注8</td> </tr> <tr> <td>16 テレコン起動</td> <td>有／無</td> <td>無</td> <td>本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、テレコン起動の有無を設定します。 注9</td> </tr> <tr> <td>17 テレコン制御方式</td> <td>音声／センタ装置</td> <td>音声</td> <td>本項目(16)が「有」の場合、制御方式を設定</td> </tr> </tbody> </table>						設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 電話番号	0~9、*、#、P、F [MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定 注1	02 通報方式	固定音声／録音音声 MF+固定音声／MF+録音音声 DTMF／ポケットベル／FAX	固定音声	通報方式を設定 注2	03 応答検出方式	極性反転／タイマ／課金パルス オーディオ信号／DTMF	極性反転	本項目(02)が「DTMF」以外の場合、相手応答の検出方式を設定 注3	04 応答タイマ	5~255(秒)	10(10)秒	本項目(03)が「タイマ」の場合、応答時間を設定 注4	05 応答DTMF	0~9、*、# [1桁]	#	本項目(03)が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定	06 応答後音声メッセージ 送出遅延タイマ	0~255(秒)	1(1秒)	本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、相手応答後から 通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定 注5	07 音声メッセージ送出タイマ	1~60(x10秒)	6(60秒)	通報メッセージの送出時間を設定 注5	08 音声メッセージ 繰返ポーズタイマ	0~255(秒)	1(1秒)	通報メッセージを繰り返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定 注5	09 応答後ポケットベルデータ 送出遅延タイマ	0~255(秒)	10(10秒)	本項目(02)が「ポケットベル」の場合、相手応答後から ポケットベルデータを送出するまでの時間を設定	10 DTMF後音声メッセージ 送出遅延タイマ	0~255(秒)	2(2秒)	本項目(02)が「MF+固定／録音」の場合、DTMFデータ 送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	11 通報確認	有／無	無	本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、通報確認機能の有無を設定 注6	12 通報確認DTMF	0~9、*、# [1桁]	1	本項目(11)が「有」の場合、設定可。 受信するDTMF信号を設定	13 臨場音聴取	有／無	無	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、臨場音聴取機能の有無を設定 注7	14 臨場音聴取マイク番号	1~2	1	本項目(13)が「有」の場合、聴取するマイクNoを設定 注8	15 臨場音聴取監視タイマ	10~255(秒)	60(60秒)	本項目(13)が「有」の場合、聴取する時間を設定 注8	16 テレコン起動	有／無	無	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、テレコン起動の有無を設定します。 注9	17 テレコン制御方式	音声／センタ装置	音声	本項目(16)が「有」の場合、制御方式を設定
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																																																																										
01 電話番号	0~9、*、#、P、F [MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定 注1																																																																										
02 通報方式	固定音声／録音音声 MF+固定音声／MF+録音音声 DTMF／ポケットベル／FAX	固定音声	通報方式を設定 注2																																																																										
03 応答検出方式	極性反転／タイマ／課金パルス オーディオ信号／DTMF	極性反転	本項目(02)が「DTMF」以外の場合、相手応答の検出方式を設定 注3																																																																										
04 応答タイマ	5~255(秒)	10(10)秒	本項目(03)が「タイマ」の場合、応答時間を設定 注4																																																																										
05 応答DTMF	0~9、*、# [1桁]	#	本項目(03)が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定																																																																										
06 応答後音声メッセージ 送出遅延タイマ	0~255(秒)	1(1秒)	本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、相手応答後から 通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定 注5																																																																										
07 音声メッセージ送出タイマ	1~60(x10秒)	6(60秒)	通報メッセージの送出時間を設定 注5																																																																										
08 音声メッセージ 繰返ポーズタイマ	0~255(秒)	1(1秒)	通報メッセージを繰り返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定 注5																																																																										
09 応答後ポケットベルデータ 送出遅延タイマ	0~255(秒)	10(10秒)	本項目(02)が「ポケットベル」の場合、相手応答後から ポケットベルデータを送出するまでの時間を設定																																																																										
10 DTMF後音声メッセージ 送出遅延タイマ	0~255(秒)	2(2秒)	本項目(02)が「MF+固定／録音」の場合、DTMFデータ 送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定																																																																										
11 通報確認	有／無	無	本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、通報確認機能の有無を設定 注6																																																																										
12 通報確認DTMF	0~9、*、# [1桁]	1	本項目(11)が「有」の場合、設定可。 受信するDTMF信号を設定																																																																										
13 臨場音聴取	有／無	無	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、臨場音聴取機能の有無を設定 注7																																																																										
14 臨場音聴取マイク番号	1~2	1	本項目(13)が「有」の場合、聴取するマイクNoを設定 注8																																																																										
15 臨場音聴取監視タイマ	10~255(秒)	60(60秒)	本項目(13)が「有」の場合、聴取する時間を設定 注8																																																																										
16 テレコン起動	有／無	無	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、テレコン起動の有無を設定します。 注9																																																																										
17 テレコン制御方式	音声／センタ装置	音声	本項目(16)が「有」の場合、制御方式を設定																																																																										
<div>記事</div> <p>注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。 F(フラッシュ)時間は、「種別(10)/項目(06):フラッシュ時間」で設定して下さい。 P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を 押してください。</p> <p>注2. 通報方式の設定内容は、以下の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定音声</td> <td>本装置の固定メッセージで通報します。</td> </tr> <tr> <td>録音音声</td> <td>録音メッセージで通報します。</td> </tr> <tr> <td>MF+固定音声</td> <td>DTMFデータを送出後、本装置の固定メッセージで通報します。</td> </tr> <tr> <td>MF+録音音声</td> <td>DTMFデータを送出後、録音メッセージで通報します。</td> </tr> <tr> <td>DTMF</td> <td>DTMFデータ(固定または設定データ)で通報します。</td> </tr> <tr> <td>ポケットベル</td> <td>ポケットベルデータで通報します。</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>FAX帳票で通報します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。 固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。 FAX帳票で通報したい場合は、FAXセット(オプション)が必要です。</p>			設定内容	内容説明	固定音声	本装置の固定メッセージで通報します。	録音音声	録音メッセージで通報します。	MF+固定音声	DTMFデータを送出後、本装置の固定メッセージで通報します。	MF+録音音声	DTMFデータを送出後、録音メッセージで通報します。	DTMF	DTMFデータ(固定または設定データ)で通報します。	ポケットベル	ポケットベルデータで通報します。	FAX	FAX帳票で通報します。	<div>LCD表示</div> <p>nn:要素No(01~32)</p> <div> 30: ツウホウサキnn  01: TEL No  ■ </div> <div> 30: ツウホウサキnn  02: ツウホウホウシキ  ーコテイオンセイ  ロクオンオンセイ  MF+コテイオンセイ  MF+ロクオンオンセイ  DTMF  ポ ケ ベ ル  FAX </div>																																																										
設定内容	内容説明																																																																												
固定音声	本装置の固定メッセージで通報します。																																																																												
録音音声	録音メッセージで通報します。																																																																												
MF+固定音声	DTMFデータを送出後、本装置の固定メッセージで通報します。																																																																												
MF+録音音声	DTMFデータを送出後、録音メッセージで通報します。																																																																												
DTMF	DTMFデータ(固定または設定データ)で通報します。																																																																												
ポケットベル	ポケットベルデータで通報します。																																																																												
FAX	FAX帳票で通報します。																																																																												

通報

種別

30

通報先(2/2)

要素

01~32

記事

LCD表示

注3. 応答検出方式の設定内容は、以下の通りです。

尚、「本項目(02):通報方式」が「DTMF」の場合、本項目の設定はできません。

応答検出方式はアンサ信号となりますので、以下の設定を確認して下さい。

・「種別(11):アンサ信号」、「種別(12):エンド信号」、「種別(13):DTMFデータ」

設定内容	内容説明
極性反転	回線の極性反転で応答検出します。
タイマ	ダイヤル後の時間で応答検出します。
課金パルス	回線の課金信号で応答検出します。
DTMF	通報先からの応答DTMFを受信して応答検出します。(*1)
オーディオ信号	通報先からの音声信号を受信して応答検出します。(*1)

\*1. 「本項目(02):通報方式」が「ポケットベル」の場合、設定できません。

注4. 応答タイマは、以下を参考に設定して下さい。

通報先ダイヤル

呼出中

通報データ送出

応答タイマ

注5. 以下を参考に設定して下さい。

音声メッセージ送出タイマは、メッセージ送出途中で設定値を経過しても回線切断せず、メッセージ終了後に回線切断します。

相手応答検出

音声メッセージ送出タイマ

音声メッセージ繰返ボースタイマ

通報メッセージ1回目

通報メッセージ2回目

応答後音声メッセージ送出遅延タイマ

注6. 通報確認機能は、以下の通りです。

通報先に音声メッセージを送出中、通報先より通報確認としてDTMF信号を受信した場合、通報正常終了とします。受信できない場合は、再通報します。

注7. 臨場音聴取機能は、通報が正常に終了した場合、回線を開放せず設定したマイクより臨場音を聴取します。また、臨場音聴取中は、「本項目(16):テレコン起動」の設定に関わらずDTMF信号の[#]を受信することにより、テレコントロールを起動することができます。

本項目の設定を「有」にするとセンサ/アナログ通報を除く各通報で臨場音聴取が可能となります。

尚、センサ/アナログ入力通報で臨場音聴取する場合、本項目及び「種別(36):センサ入力」「種別(37):アナログ入力」の臨場音の設定を「有」にして下さい。

臨場音聴取開始のタイミングは以下の通りです。

「本項目(02):通報方式」	臨場音聴取開始タイミング
固定音声、録音音声	①「本項目(07):音声メッセージ送出タイマ」経過後
MF+固定音声	②通報確認DTMF受信後
MF+録音音声	
DTMF	エンド信号受信後
FAX	臨場音の聴取はできません

注8. 設定した集音マイクNoのゲイン初期値は、「種別(34):集音マイク」で行って下さい。

注9. テレコン起動機能は、通報が正常に終了した場合、回線を開放せずテレコンを起動します。

尚、「本項目(13):臨場音聴取」が「有」で本項目が「有」の場合、臨場音聴取後テレコントロール起動メッセージが送出され、テレコントロール起動となります。

テレコントロール起動のタイミングは以下の通りです。

「本項目(02):通報方式」	テレコン起動タイミング
固定音声、録音音声	①「本項目(07):音声メッセージ送出タイマ」経過後
MF+固定音声	②通報中、DTMF信号の[#]受信後
MF+録音音声	③通報確認DTMF受信後
DTMF	エンド信号受信後
FAX	テレコンはできません

30:ツウホウサキnn  
03:オウトウホウシキ  
→キョクセイハンテン  
タイマ  
カキンパ`ルス  
オーディオシンコ`ウ  
DTMF

30:ツウホウサキnn  
04:オウトウタイマ  
[5-255(s)]  
:10→■

30:ツウホウサキnn  
05:オウトウDTMF  
[0-9, \*, #]  
#→■

30:ツウホウサキnn  
06:オウトウオンセイチエン  
[0-255(s)]  
:1→■

30:ツウホウサキnn  
07:オンセイソウシュツタイマ  
[1-60(x10s)]  
:6→■

30:ツウホウサキnn  
08:クリカエシボ`ース`  
[0-255(s)]  
:1→■

30:ツウホウサキnn  
09:オウトウPベ`ルチエン  
[0-255(s)]  
:10→■

30:ツウホウサキnn  
10:MF→オンセイチエン  
[0-255(s)]  
:2→■

30:ツウホウサキnn  
11:ツウホウカクニン  
アリ  
→ナシ

30:ツウホウサキnn  
12:カクニンDTMF  
[0-9, \*, #]  
1→■

30:ツウホウサキnn  
13:リンシ`ヨウオン  
アリ  
→ナシ

30:ツウホウサキnn  
14:マイクNo  
[1-2]  
:1→■

30:ツウホウサキnn  
15:チョウシュタイマ  
[10-255(s)]  
:60→■

30:ツウホウサキnn  
16:テレコンキト`ウ  
アリ  
→ナシ

30:ツウホウサキnn  
17:テレコンホウシキ  
→オンセイ  
センターソウチ

通報	種別	31	通報グループ(1/2)		要素	01~32																																																																																																																																											
<p>概要</p> <p>通報グループの設定をします。</p> <p>「種別(30):通報先」で設定した通報先No(1~32)の中から設定し、グループ化します。</p> <p>本種別で設定したグループを各通報「種別(36)、(37)、(40)~(45)、(47)」に設定して下さい。</p>																																																																																																																																																	
設定項目																																																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th colspan="2">項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td rowspan="4">モード1</td> <td>通報先No</td> <td>1~32、# [MAX:8宛先]</td> <td>未設定</td> <td>モード1の通報先Noを設定 注1</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>通報完了条件</td> <td>1宛先/全宛先/特定宛先</td> <td>1宛先</td> <td>モード1の通報完了条件を設定 注2</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>特定宛先</td> <td>1~32 [MAX:5宛先]</td> <td>未設定</td> <td>本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>発呼回数</td> <td>1~255(回)</td> <td>3回</td> <td>モード1の発呼(発信)回数を設定</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td rowspan="4">モード2</td> <td>通報先No</td> <td>1~32、# [MAX:8宛先]</td> <td>未設定</td> <td>モード2の通報先Noを設定 注1</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>通報完了条件</td> <td>1宛先/全宛先/特定宛先</td> <td>1宛先</td> <td>モード2での通報完了条件を設定 注2</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>特定宛先</td> <td>1~32 [MAX:5宛先]</td> <td>未設定</td> <td>本項目(06)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3</td> </tr> <tr> <td>08</td> <td>発呼回数</td> <td>1~255(回)</td> <td>3回</td> <td>モード2の発呼(発信)回数を設定</td> </tr> <tr> <td>09</td> <td colspan="2">出力接点連動</td> <td>有/無</td> <td>無</td> <td>接点連動の有無を設定 注4</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>接点連動</td> <td>接点No</td> <td>1~4</td> <td>未設定</td> <td>本項目(09)が「有」の場合、接点連動1の出力接点Noを設定 注5</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td rowspan="2">1</td> <td>オンタイミング</td> <td>起動/回線捕捉/応答/完了</td> <td>起動</td> <td>オンさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>オフタイミング</td> <td>停止ボタン/回線開放/完了</td> <td>停止ボタン</td> <td>オフさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>接点連動</td> <td>接点No</td> <td>1~4</td> <td>未設定</td> <td>本項目(09)が「有」の場合、接点連動2の出力接点Noを設定 注5</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td rowspan="2">2</td> <td>オンタイミング</td> <td>起動/回線捕捉/応答/完了</td> <td>起動</td> <td>オンさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>オフタイミング</td> <td>停止ボタン/回線開放/完了</td> <td>停止ボタン</td> <td>オフさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>接点連動</td> <td>接点No</td> <td>1~4</td> <td>未設定</td> <td>本項目(09)が「有」の場合、接点連動3の出力接点Noを設定 注5</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td rowspan="2">3</td> <td>オンタイミング</td> <td>起動/回線捕捉/応答/完了</td> <td>起動</td> <td>オンさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>オフタイミング</td> <td>停止ボタン/回線開放/完了</td> <td>停止ボタン</td> <td>オフさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>接点連動</td> <td>接点No</td> <td>1~4</td> <td>未設定</td> <td>本項目(09)が「有」の場合、接点連動4の出力接点Noを設定 注5</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td rowspan="2">4</td> <td>オンタイミング</td> <td>起動/回線捕捉/応答/完了</td> <td>起動</td> <td>オンさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>オフタイミング</td> <td>停止ボタン/回線開放/完了</td> <td>停止ボタン</td> <td>オフさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>接点連動</td> <td>接点No</td> <td>1~4</td> <td>未設定</td> <td>本項目(09)が「有」の場合、接点連動5の出力接点Noを設定 注5</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td rowspan="2">5</td> <td>オンタイミング</td> <td>起動/回線捕捉/応答/完了</td> <td>起動</td> <td>オンさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>オフタイミング</td> <td>停止ボタン/回線開放/完了</td> <td>停止ボタン</td> <td>オフさせるタイミングを設定 注6</td> </tr> </tbody> </table>							設定項目		設定内容	初期値	項目説明		01	モード1	通報先No	1~32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード1の通報先Noを設定 注1	02	通報完了条件	1宛先/全宛先/特定宛先	1宛先	モード1の通報完了条件を設定 注2	03	特定宛先	1~32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3	04	発呼回数	1~255(回)	3回	モード1の発呼(発信)回数を設定	05	モード2	通報先No	1~32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード2の通報先Noを設定 注1	06	通報完了条件	1宛先/全宛先/特定宛先	1宛先	モード2での通報完了条件を設定 注2	07	特定宛先	1~32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(06)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3	08	発呼回数	1~255(回)	3回	モード2の発呼(発信)回数を設定	09	出力接点連動		有/無	無	接点連動の有無を設定 注4	10	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動1の出力接点Noを設定 注5	11	1	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6	12	オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6	13	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動2の出力接点Noを設定 注5	14	2	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6	15	オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6	16	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動3の出力接点Noを設定 注5	17	3	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6	18	オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6	19	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動4の出力接点Noを設定 注5	20	4	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6	21	オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6	22	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動5の出力接点Noを設定 注5	23	5	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6	24	オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6
設定項目		設定内容	初期値	項目説明																																																																																																																																													
01	モード1	通報先No	1~32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード1の通報先Noを設定 注1																																																																																																																																												
02		通報完了条件	1宛先/全宛先/特定宛先	1宛先	モード1の通報完了条件を設定 注2																																																																																																																																												
03		特定宛先	1~32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3																																																																																																																																												
04		発呼回数	1~255(回)	3回	モード1の発呼(発信)回数を設定																																																																																																																																												
05	モード2	通報先No	1~32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード2の通報先Noを設定 注1																																																																																																																																												
06		通報完了条件	1宛先/全宛先/特定宛先	1宛先	モード2での通報完了条件を設定 注2																																																																																																																																												
07		特定宛先	1~32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(06)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定 注3																																																																																																																																												
08		発呼回数	1~255(回)	3回	モード2の発呼(発信)回数を設定																																																																																																																																												
09	出力接点連動		有/無	無	接点連動の有無を設定 注4																																																																																																																																												
10	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動1の出力接点Noを設定 注5																																																																																																																																												
11	1	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
12		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
13	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動2の出力接点Noを設定 注5																																																																																																																																												
14	2	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
15		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
16	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動3の出力接点Noを設定 注5																																																																																																																																												
17	3	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
18		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
19	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動4の出力接点Noを設定 注5																																																																																																																																												
20	4	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
21		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
22	接点連動	接点No	1~4	未設定	本項目(09)が「有」の場合、接点連動5の出力接点Noを設定 注5																																																																																																																																												
23	5	オンタイミング	起動/回線捕捉/応答/完了	起動	オンさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
24		オフタイミング	停止ボタン/回線開放/完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定 注6																																																																																																																																												
<p>記事</p> <p>注1. 「種別(30):通報先」で設定した通報先Noを設定します。</p> <p>また、通報先Noの先頭に[#]を設定すると通報動作を行わず、出力接点連動のみ行う通報グループとなります。</p> <p>注2. 通報完了条件は、以下の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1宛先</td> <td>設定した通報先Noの内、1宛先が応答すると通報完了とします。</td> </tr> <tr> <td>全宛先</td> <td>設定した通報先Noの全てが応答すると通報完了とします。</td> </tr> <tr> <td>特定宛先</td> <td>設定した通報先Noの内、設定した特定宛先Noの全てが応答すると通報完了とします。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注3. 特定宛先は、本項目(01)または(05)で設定した通報先Noの中から選択して下さい。</p>							設定内容	内容説明	1宛先	設定した通報先Noの内、1宛先が応答すると通報完了とします。	全宛先	設定した通報先Noの全てが応答すると通報完了とします。	特定宛先	設定した通報先Noの内、設定した特定宛先Noの全てが応答すると通報完了とします。																																																																																																																																			
設定内容	内容説明																																																																																																																																																
1宛先	設定した通報先Noの内、1宛先が応答すると通報完了とします。																																																																																																																																																
全宛先	設定した通報先Noの全てが応答すると通報完了とします。																																																																																																																																																
特定宛先	設定した通報先Noの内、設定した特定宛先Noの全てが応答すると通報完了とします。																																																																																																																																																
<p>LCD表示</p> <p>nn:要素No(01~32)</p> <div> <p>31: ツウホウク ループ nn</p> <p>01: ツウホウサキNo 1</p> <p>[1~32, #] (0/8)</p> <p>: ■ - - -</p> </div> <div> <p>31: ツウホウク ループ nn</p> <p>02: ツウホウカンリョウ 1</p> <p>→1アテサキ</p> <p>セ ンアテサキ</p> <p>トクテイアテサキ</p> </div> <div> <p>31: ツウホウク ループ nn</p> <p>03: トクテイアテサキ 1</p> <p>[1~32] (0/5)</p> <p>: ■ - - -</p> </div> <div> <p>31: ツウホウク ループ nn</p> <p>04: ハッコカイスウ 1</p> <p>[1~255]</p> <p>: 3→■</p> </div>																																																																																																																																																	

通報	種別	31	通報グループ(2/2)	要素	01~32																				
記 事			LCD表示																						
注4. 出力接点運動は、1通報グループにつき5出力接点ができます。																									
注5. 設定した出力接点No.の待機状態及び出力方式は「種別(35):出力接点」で設定して下さい。																									
注6. オン及びオフのタイミングは、以下の通りです。																									
オンタイミング:待機モードから動作するタイミングです。																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起動</td> <td>各通報の起動(検出)時にオンします。</td> </tr> <tr> <td>回線捕捉</td> <td>回線捕捉時にオンします。</td> </tr> <tr> <td>応答</td> <td>相手応答時にオンします。</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td>通報完了時にオンします。</td> </tr> </tbody> </table>			設定内容	内容説明	起動	各通報の起動(検出)時にオンします。	回線捕捉	回線捕捉時にオンします。	応答	相手応答時にオンします。	完了	通報完了時にオンします。	<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>05:ツウホウサキNo 2</div> <div>[1-32, #] (0/8)</div> <div>:■ - - -</div>												
設定内容	内容説明																								
起動	各通報の起動(検出)時にオンします。																								
回線捕捉	回線捕捉時にオンします。																								
応答	相手応答時にオンします。																								
完了	通報完了時にオンします。																								
オフタイミング:待機モードに戻るタイミングです。																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完了</td> <td>通報完了時にオフします。(*1)</td> </tr> <tr> <td>回線開放</td> <td>回線開放時にオフします。(*1)</td> </tr> <tr> <td>停止ボタン</td> <td>本装置の通報停止ボタンまたは外部停止ボタン押下時にオフします。</td> </tr> </tbody> </table>			設定内容	内容説明	完了	通報完了時にオフします。(*1)	回線開放	回線開放時にオフします。(*1)	停止ボタン	本装置の通報停止ボタンまたは外部停止ボタン押下時にオフします。	<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>06:ツウホウカンリョウ 2</div> <div>1アテサキ</div> <div>→セ*ンアテサキ</div> <div>トクテイアテサキ</div>														
設定内容	内容説明																								
完了	通報完了時にオフします。(*1)																								
回線開放	回線開放時にオフします。(*1)																								
停止ボタン	本装置の通報停止ボタンまたは外部停止ボタン押下時にオフします。																								
*1. オフする前に通報停止ボタンまたは外部停止ボタンを押すと強制的に接点をオフします。																									
外部停止ボタンの設定は、「種別(33)/項目(02):外部停止ボタン」で設定して下さい。																									
また、オン/オフの設定可能なタイミングは、以下の通りです。																									
オン/オフの設定(○:有効 ×:無効)																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>オンするタイミング オフするタイミング</th> <th>起動</th> <th>回線捕捉</th> <th>応答</th> <th>完了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完了</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>回線開放</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>停止ボタン</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			オンするタイミング オフするタイミング	起動	回線捕捉	応答	完了	完了	○	○	○	×	回線開放	×	○	○	×	停止ボタン	○	○	○	○	<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>07:トクテイアテサキ 2</div> <div>[1-32] (0/5)</div> <div>:■ - - -</div>		
オンするタイミング オフするタイミング	起動	回線捕捉	応答	完了																					
完了	○	○	○	×																					
回線開放	×	○	○	×																					
停止ボタン	○	○	○	○																					
			<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>08:ハツコカイスウ 2</div> <div>[1-255]</div> <div>:3→■</div>																						
			<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>09:セツテンレント* ウ</div> <div>アリ</div> <div>→ナシ</div>																						
			連動接点1(項目10~12)の場合																						
			<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>10:レント* ウ1セツテンNo</div> <div>[1-XX]</div> <div>ミセツタイ→■</div>																						
			<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>11:レント* ウ1 ON</div> <div>→ツウホウキト* ウ</div> <div>カイセンホソク</div> <div>アイテサキオウトウ</div> <div>ツウホウカンリョウ</div>																						
			<div>31:ツウホウク* ループ° n n</div> <div>12:レント* ウ1 OFF</div> <div>→テイシホ* タン</div> <div>カイセンカイホウ</div> <div>ツウホウカンリョウ</div>																						
			項目(13)~(24)は、項目(10)~(12)と内容同等																						

概要

通報モード1と2の切替方式の設定をします。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 切替方式	ボタン/タイマ	ボタン	切替方式を設定 <span>注1</span>
02 外部スイッチセンサNo	1～XX(注2)	未設定	本項目(01)が「ボタン」の場合、設定可。 外部スイッチとするセンサNoを設定 <span>注2</span>
03 モード切替遅延タイマ(1→2)	0～255(秒)	0(0秒)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード1→2へ切替わるまでの時間を設定 <span>注3</span>
04 モード切替遅延タイマ(2→1)	0～255(秒)	0(0秒)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード2→1へ切替わるまでの時間を設定 <span>注3</span>
05 モード1開始時刻	00:00～23:59	8:00	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード1の開始時刻を設定 <span>注4</span>
06 モード2開始時刻	00:00～23:59	20:00	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の開始時刻を設定 <span>注4</span>
07 モード2の曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土) [MAX:6日]	未設定	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の曜日を設定 <span>注4</span>
08 モード2の月日(毎年)	1月1日～12月31日 [MAX:30日]	未設定	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の月日を設定 <span>注4</span>

記事

注1. 切替方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
ボタン	本装置のモード切替ボタンの2秒押下または外部スイッチで切替えます。 モード切替ボタンまたは外部スイッチでの切替えは後押し優先となります。
タイマ	設定した時間または曜日または月日で切替えます。

外部スイッチの設定は、「本項目(02):外部スイッチNo」で設定して下さい。  
外部スイッチによる切替えは、設定したセンサNoの異常モードにより以下のようになります。  
「種別(36)/項目(02):異常モード」または「種別(37)/項目(03):異常モード」

異常モードの設定	モード1	モード2
メーク	メーク	ブレーク
ブレーク	ブレーク	メーク

注2. 設定できるセンサNoは以下の通りです。  
センサNo1～ 8、41～44(アナログ入力をセンサ入力として使用時)

注3. モード切替遅延タイマは、以下を参考に設定して下さい。  
(例:モード1→2へ切替)

モード2ボタン押下(2秒以上)

モード1運用中

モード2運用中

モード切替遅延タイマ

モード切替遅延タイマカウント中のLCDのモード表示は、点滅表示となります。

注4. モード1開始時刻とモード2開始時刻は、同時刻には設定できません。  
設定した曜日、月日以外の曜日、月日は、モード1となります。  
モード1、2の開始時刻、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
モード1開始時刻	8:00	
モード2開始時刻	20:00	
曜日(毎週)	土、日	
月日(毎年)	12月30日～1月3日	

モード2となる時間、曜日、月日  
「毎年12月30日～1月3日と毎週土、日曜日とそれ以外に日の20:00～7:59」

LCD表示

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
01: キリカエホウシキ  
→ホ<sup>\*</sup> タン  
タイマ  
XX: 注2参照

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
02: カ<sup>\*</sup> イブ<sup>\*</sup> SWセンサNo  
[1-XX]  
ミセツテイ→■

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
03: チエンタイマ(1→2)  
[0-255(s)]  
: 0→■

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
04: チエンタイマ(2→1)  
[0-255(s)]  
: 0→■

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
05: モード<sup>\*</sup> 1カイシシ<sup>\*</sup> コク  
[00:00-23:59]  
08: 00→■ :

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
06: モード<sup>\*</sup> 2カイシシ<sup>\*</sup> コク  
[00:00-23:59]  
20: 00→■ :

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
07: モード<sup>\*</sup> 2ヨウヒ<sup>\*</sup>  
[1(Sun)-7(Sat)]  
— —

32: ツウホウモード<sup>\*</sup> キリカエ  
08: モード<sup>\*</sup> 2ツキヒ  
→01: —  
02: — (0/30)

通報	種別	33	通報動作設定	要素	—
----	----	----	--------	----	---

## 概要

システムの通報動作に関する設定をします。

## 設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01 通報優先	有/無	有	通報優先の有無を設定	注1
02 外部停止ボタンセンサNo	1~XX(注2)	未設定	外部停止ボタンとするセンサNoを設定	注2
03 通報動作印刷	有/無	無	通報時、印刷の有無を設定	注3
04 一括通報	有/無	無	一括通報の有無を設定	注4
05 センサ・アナログ通報遅延タイム	0~255(秒)	0(0秒)	センサ・アナログ通報の遅延時間を設定	注5

## 記事

注1. 通報優先機能は、以下の通りです。

外付電話装置使用中やテレコントロール起動中に通報が発生した場合、回線を強制切断して通報動作を行います。  
尚、設定が「無」の場合は、回線が開放されるまで通報保留します。

注2. 設定できるセンサNoは以下の通りです。

センサNo1~ 8、41~44(7ナログ'入力をセンサ入力として使用時)

注3. 通報動作印刷機能は、以下の通りです。

通報終了時、本装置に接続したプリンタに通報履歴を印刷します。

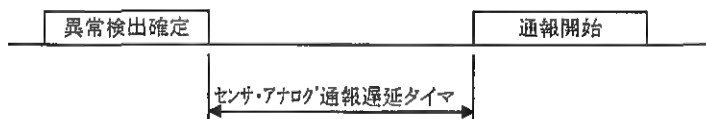
注4. 一括通報機能は、以下の通りです。

異常信号の複数同時入力(通報遅延中の同時入力)及び保留している通報について、通報グループが同一設定(但し、通報グループ内にポケットベル通報がないこと)である通報を、一括して通報します。

通報メッセージ及びデータは以下の通りです。

「種別(30)/項目(02):通報方式」の設定	通報メッセージ及びデータ
固定音声	「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
録音音声	通報毎の録音メッセージを起動順に送出します。
MF+固定音声	「◆固定通報DTMFデータ」のページ及び上記の固定音声
MF+録音音声	または録音音声を参照願います。
DTMF	「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注5. センサ・アナログ通報遅延タイムは以下を参考に設定して下さい。



## LCD表示

33 : ツウホウト`ウサセツテイ  
01 : ツウホウユウセン  
→アリ  
→ナシ

XX:注2参照

33 : ツウホウト`ウサセツテイ  
02 : カ`イフ`テイシホ`タン  
[1-XX]  
ミセツテイ→■

33 : ツウホウト`ウサセツテイ  
03 : ツウホウト`ウサインサツ  
アリ  
→ナシ

33 : ツウホウト`ウサセツテイ  
04 : イツカツツウホウ  
アリ  
→ナシ

33 : ツウホウト`ウサセツテイ  
05 : ツウホウチエンタイム  
[0-255(s)]  
: 0→■



通報	種別	34	集音マイク	要素	01～02
概要					
本装置に接続した集音マイクの送出レベルを設定します。 通報時及びテレコントロールにより集音マイクを起動し、臨場音を聴取することができます。					
設定項目					
設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	ゲイン初期値	0～3 (0:小～3:大)	1	送出ゲインの初期値を設定 <span style="float:right">注1</span>	
記事					
注1. ゲイン初期値は、以下を参考に設定し、実際に集音マイクを起動して確認して下さい。					
設定値		送出ゲイン			
0		6dB DOWN			
1		0			
2		6dB UP			
3		9dB UP			
空調機のそば等に設置しないで下さい。やむをえず設置する場合、ゲインを下げて使用して下さい。					
			LCD表示		
			nn:要素No (01～02)		
			34: シュウオンマイク nn		
			01: ゲインシヨキチ		
			[0～3]		
			: 1→■		

通報

種別

35

出力接点

要素

01~04

概要

出力接点の設定をします。  
出力接点は、回線断検出時や通報時に連動及びテレコントロールにより動作します。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01 待機モード	メーク／ブレーク	ブレーク	待機時の接点状態を設定	注1
02 出力方式	連続／ワンショット	ワンショット	オン時の出力方式を設定	注2
03 ワンショットタイマ	1~255 (x100ms)	50 (5秒)	本項目(02)が「ワンショット」の場合、オンする時間を設定	
04 動作記録	有／無	有	動作時、履歴記録の有無を設定	注3
05 動作印刷	有／無	無	動作時、印刷の有無を設定	注4
06 テレコン応答	オン	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	テレコン操作時のメッセージを設定	注5
07 メッセージ	オフ	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]		

記事

注1. 待機モードの設定により、「オン」「オフ」の動作は、以下のようになります。

設定内容	オン	オフ
メーク	ブレーク	メーク
ブレーク	メーク	ブレーク

注2. 出力方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
連続	オンした場合、「オフの条件」になるまで、オンしています。 (*1)
ワンショット	オンした場合、本項目 (03) の設定時間経過後、オフします。 (*1)

「オフの条件」は、以下の通りです。  
①連動において、オフタイミングになった時  
②テレコントロール操作において、「オフ」のサービス番号を受信した時  
\*1. オフする前に通報停止ボタンまたは外部停止ボタンを押すと強制的に接点をオフします。  
(ただし、テレコントロール操作にてオンした場合は、オフしません。)

注3. 動作記録機能は、以下の通りです。  
接点動作(オン/オフ)する毎に、本装置に履歴として記録します。(最新100件)

注4. 動作印刷機能は、以下の通りです。  
接点動作(オン/オフ)する毎に、本装置に接続したプリンタに動作履歴を印刷します。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。  
テレコンメッセージ機能は、以下の通りです。  
テレコントロール起動中に以下の操作をした場合、送出するメッセージです。  
①「出力接点オン」／「出力接点オフ」のサービス番号を受信した時  
②各接点状態確認のサービス番号を受信した時

LCD表示

nn:要素No(01~04)

35:シュツリヨクセツテンnn  
01:タイキモード  
メーク  
→フ・レーク

35:シュツリヨクセツテンnn  
02:シュツリヨクハウシキ  
レンゾク  
→ワンショット

35:シュツリヨクセツテンnn  
03:ワンショットタイマ  
[1~255 (x100ms)]  
:50→■

35:シュツリヨクセツテンnn  
04:トウサキロク  
→アリ  
ナシ

35:シュツリヨクセツテンnn  
05:トウサインサツ  
アリ  
→ナシ

35:シュツリヨクセツテンnn  
06:オンメッセージ  
[0~63] (0/16)  
:■ - - -

35:シュツリヨクセツテンnn  
07:オフメッセージ  
[0~63] (0/16)  
:■ - - -

通報	種別	36	センサ入力(1/2)	要素	01~08
----	----	----	------------	----	-------

概要	各センサ入力の設定をします。 入力検出条件は、トリガです。(入力検出する度に通報起動します。ただし、通報起動中の同一センサからの入力は検出しません)
----	---

設定項目
------

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 異常モード	メーク/ブレイク/パルス積算/時間積算	メーク	異常モードを設定 注1
02 検出タイム	5~30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定
03 通報起動条件	異常時/異常復旧時	異常時	本項目(01)が「メーク」「ブレイク」の場合、通報起動条件を設定 注2
04 通報内容	積算値/異常通報	積算値	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、固定音声/固定データ通報時の通報内容を設定 注3
05 異常積算値	1~65534(回又はx10秒)	65534	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、異常とする積算値を設定 注4
06 定時通報時積算値クリア	有/無	有	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、定時状態通報時に積算値クリアの有無を設定
07 モード1通報	有/無	無	モード1における通報の有無を設定 注5
08 モード2通報	有/無	無	モード2における通報の有無を設定 注5
09 通報グループNo	1~32	1	通報グループNoを設定 注6
10 通報	DTMF 異常 0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
11 データ	復旧 0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	注7
12	ポケット 異常 0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
13	ベル 復旧 0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	
14	録音 異常 フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
15	メッセージ 復旧 フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	注8
16 動作記録	有/無	有	動作時、履歴記録の有無を設定 注9
17 動作印刷	有/無	無	動作時、印刷の有無を設定 注10
18 臨場音聴取	有/無	無	臨場音聴取の有無を設定 注11

記事	LCD表示
----	-------

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
メーク	「メーク」した場合、異常とします。
ブレイク	「ブレイク」した場合、異常とします。
パルス積算	「メーク」した回数を積算し、設定した積算値(回)で異常とします。
時間積算	「メーク」している時間を10秒単位で積算し、設定した積算値(x10秒)で異常とします。

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 通報内容は、以下の通りです。

設定内容	通報内容
積算値	異常時の積算値を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

積算値に設定した場合「種別(30)/項目(02):通報方式」が以下の時、有効となります。

- ①「固定音声」「MF+固定音声」の時(固定音声通報)
- ②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」でかつ「本項目(10):通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)
- ③「FAX」の時

また、上記で送出する積算値の内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声/DTMF	積算値(最大5桁:1~65534)を通報します。
FAX	「種別(72)/項目(15):計算式」で演算した値を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。

固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

nn:要素No(01~08)

36:センサINnn  
01:イシ ヨウモード  
→メーク  
ブレイク  
パルスセキサン  
シカンセキサン

36:センサINnn  
02:ケンシュツタイム  
[5-30000(x10ms)]  
:30→■

36:センサINnn  
03:ツウホウシ ヨウケン  
→イシ ヨウシ  
イシ ヨウ・フツキユウシ

36:センサINnn  
04:ツウホウナイヨウ  
→セキサンチ  
イシ ヨウツウホウ

36:センサINnn  
05:イシ ヨウセキサンチ  
[1-65534]  
:65534→■

36:センサINnn  
06:セキサンチクリア  
→アリ  
ナシ

通報	種別	36	センサ入力(2/2)	要素	01~08
記事				LCD表示	
<p>注4. 積算値は、65535でオーバーフローとなり、積算できなくなりますので、定期的に積算値はクリアして下さい。積算値をクリアする方法は、以下の通りです。</p> <p>①定時状態通報完了時にクリアする。「本項目(05):定時通報時積算値クリア」</p> <p>②テレコントロールにおいて、「積算値クリア」のサービス番号でクリアする。</p> <p>③キーボードメンテナンスの「積算値クリア」の操作でクリアする。</p> <p>注5. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。 設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。</p> <p>注6. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。</p> <p>注7. A~D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A~D場合は[1]~[4]、Pの場合は[#]を押してください。 尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。 固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。</p> <p>注8. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。</p> <p>注9. 動作記録機能は、以下の通りです。 センサ動作(メーク/ブレイク)する毎に、本装置に履歴として記録します。(最新100件)</p> <p>注10. 動作印刷機能は、以下の通りです。 センサ動作(メーク/ブレイク)する毎に、本装置に接続したプリンタに動作履歴を印刷します。</p> <p>注11. 本項目及び「種別(30)/項目(13):臨場音聴取」が「有」の場合、通報時の臨場音聴取が可能となります。</p>			<div>36:センサI N n n 07:モード 1 ツウホウ アリ →ナシ</div> <div>36:センサI N n n 08:モード 2 ツウホウ アリ →ナシ</div> <div>36:センサI N n n 09:ツウホウク ループ [0-32] :1→■</div> <div>36:センサI N n n 10:DTMFイジ ヨウ ■</div> <div>36:センサI N n n 11:DTMFフッキュウ ■</div> <div>36:センサI N n n 12:Pへ ルイジ ヨウ ■</div> <div>36:センサI N n n 13:Pへ ルフッキュウ ■</div> <div>36:センサI N n n 14:ロクオンイジ ヨウ [0-63] (0/16) :■ - - -</div> <div>36:センサI N n n 15:ロクオンフッキュウ [0-63] (0/16) :■ - - -</div> <div>36:センサI N n n 16:ト ウサキロク アリ →ナシ</div> <div>36:センサI N n n 17:ト ウサインサツ →アリ ナシ</div> <div>36:センサI N n n 18:リンシ ヨウオン アリ →ナシ</div>		

通報	種別	37	アナログ入力(1/3)		要素	01~04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
アナログ入力(センサ入力として使用可)の設定をします。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
注意:アナログ入力とセンサ入力の切替えは、ソフト設定(本種別の設定)とハード設定(アナログセンサ切替スイッチの設定)が必要です。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ハード設定については、「7.5 ユニットの設定・取付 7.5.1 各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
(2)CSD7-MCU-A1【外カバー扉側】」(P12)を参照願います。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
設定項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<table><thead><tr><th colspan="3">設定項目</th><th>設定内容</th><th>初期値</th><th colspan="2">項目説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>01</td><td colspan="2">端子用途</td><td>センサ／アナログ</td><td>センサ</td><td colspan="2">端子用途を設定</td></tr><tr><td colspan="7">「本項目(01):端子用途」が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力／項目(01)~(18)」と同一となります。</td></tr><tr><td colspan="7">「アナログ」の場合、項目(02)以降の設定は、以下のようになります。</td></tr><tr><td>02</td><td colspan="2">異常モード</td><td>しきい値／積算値</td><td>しきい値</td><td colspan="2">異常モードを設定 注1</td></tr><tr><td>03</td><td colspan="2">検出タイム</td><td>5~30000(x10ms)</td><td>30(0.3秒)</td><td colspan="2">検出時間を設定</td></tr><tr><td>04</td><td colspan="2">通報内容</td><td>アナログ値／異常通報</td><td>異常通報</td><td colspan="2">本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定 注2</td></tr><tr><td>05</td><td colspan="2">しきい値1(HH)</td><td>1~99(%)</td><td>未設定</td><td colspan="2">しきい値1を設定 注3</td></tr><tr><td>06</td><td colspan="2">通報起動条件</td><td>異常時／異常復旧時</td><td>異常時</td><td colspan="2">通報起動条件を設定 注4</td></tr><tr><td>07</td><td rowspan="4">データ</td><td>ポケット</td><td>異常</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">ポケットベル通報時の通報データを設定</td></tr><tr><td>08</td><td>ベル</td><td>復旧</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>09</td><td>録音</td><td>異常</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">録音音声通報時の通報メッセージを設定</td></tr><tr><td>10</td><td>メッセージ</td><td>復旧</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>11</td><td colspan="2">しきい値2(H)</td><td>1~99(%)</td><td>未設定</td><td colspan="2">しきい値2を設定 注3</td></tr><tr><td>12</td><td colspan="2">通報起動条件</td><td>異常時／異常復旧時</td><td>異常時</td><td colspan="2">通報起動条件を設定 注4</td></tr><tr><td>13</td><td rowspan="4">データ</td><td>ポケット</td><td>異常</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">ポケットベル通報時の通報データを設定</td></tr><tr><td>14</td><td>ベル</td><td>復旧</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>15</td><td>録音</td><td>異常</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">録音音声通報時の通報メッセージを設定</td></tr><tr><td>16</td><td>メッセージ</td><td>復旧</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>17</td><td colspan="2">しきい値3(L)</td><td>1~100(%)</td><td>未設定</td><td colspan="2">しきい値3を設定 注3</td></tr><tr><td>18</td><td colspan="2">通報起動条件</td><td>異常時／異常復旧時</td><td>異常時</td><td colspan="2">通報起動条件を設定 注4</td></tr><tr><td>19</td><td rowspan="4">データ</td><td>ポケット</td><td>異常</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">ポケットベル通報時の通報データを設定</td></tr><tr><td>20</td><td>ベル</td><td>復旧</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>21</td><td>録音</td><td>異常</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">録音音声通報時の通報メッセージを設定</td></tr><tr><td>22</td><td>メッセージ</td><td>復旧</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>23</td><td colspan="2">しきい値4(LL)</td><td>1~100(%)</td><td>未設定</td><td colspan="2">しきい値4を設定 注3</td></tr><tr><td>24</td><td colspan="2">通報起動条件</td><td>異常時／異常復旧時</td><td>異常時</td><td colspan="2">通報起動条件を設定 注4</td></tr><tr><td>25</td><td rowspan="4">データ</td><td>ポケット</td><td>異常</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">ポケットベル通報時の通報データを設定</td></tr><tr><td>26</td><td>ベル</td><td>復旧</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>27</td><td>録音</td><td>異常</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">録音音声通報時の通報メッセージを設定</td></tr><tr><td>28</td><td>メッセージ</td><td>復旧</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>29</td><td colspan="2">しきい値5(断線)</td><td>1~100(%)</td><td>20%</td><td colspan="2">しきい値5を設定 注3</td></tr><tr><td>30</td><td colspan="2">通報起動条件</td><td>異常時／異常復旧時</td><td>異常時</td><td colspan="2">通報起動条件を設定 注4</td></tr><tr><td>31</td><td rowspan="4">データ</td><td>ポケット</td><td>異常</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">ポケットベル通報時の通報データを設定</td></tr><tr><td>32</td><td>ベル</td><td>復旧</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>33</td><td>録音</td><td>異常</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td><td rowspan="2">録音音声通報時の通報メッセージを設定</td></tr><tr><td>34</td><td>メッセージ</td><td>復旧</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td></tr><tr><td>35</td><td colspan="2">通報内容</td><td>積算値／異常通報</td><td>積算値</td><td colspan="2">本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定 注6</td></tr><tr><td>36</td><td colspan="2">異常積算値</td><td>1~16777214</td><td>16777214</td><td colspan="2">異常とする積算値を設定 注7</td></tr><tr><td>37</td><td colspan="2">積算時間間隔</td><td>1~255(分)</td><td>10(10分)</td><td colspan="2">積算する時間間隔を設定</td></tr><tr><td>38</td><td colspan="2">定時通報時積算値クリア</td><td>有／無</td><td>有</td><td colspan="2">定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定</td></tr><tr><td>39</td><td rowspan="2">データ</td><td>DTMF</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td><td colspan="2">DTMF通報時の通報データを設定 注8</td></tr><tr><td>40</td><td>ポケットベル</td><td>0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]</td><td>未設定</td><td colspan="2">ポケットベル通報時の通報データを設定</td></tr><tr><td>41</td><td colspan="2">(積算値)録音メッセージ</td><td>フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]</td><td>未設定</td><td colspan="2">録音音声通報時の通報メッセージを設定 注5</td></tr><tr><td>42</td><td colspan="2">モード1通報</td><td>有／無</td><td>無</td><td colspan="2">モード1における通報の有無を設定 注9</td></tr><tr><td>43</td><td colspan="2">モード2通報</td><td>有／無</td><td>無</td><td colspan="2">モード2における通報の有無を設定 注9</td></tr><tr><td>44</td><td colspan="2">通報グループNo</td><td>1~32</td><td>1</td><td colspan="2">通報グループNoを設定 注10</td></tr><tr><td>45</td><td colspan="2">定時記録</td><td>有／無</td><td>無</td><td colspan="2">定時間隔で履歴記録の有無を設定 注11</td></tr><tr><td>46</td><td colspan="2">定時印刷</td><td>有／無</td><td>無</td><td colspan="2">定時間隔で印刷の有無を設定 注12</td></tr><tr><td>47</td><td colspan="2">臨場音聴取</td><td>有／無</td><td>無</td><td colspan="2">臨場音聴取の有無を設定 注13</td></tr></tbody></table>							設定項目			設定内容	初期値	項目説明		01	端子用途		センサ／アナログ	センサ	端子用途を設定		「本項目(01):端子用途」が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力／項目(01)~(18)」と同一となります。							「アナログ」の場合、項目(02)以降の設定は、以下のようになります。							02	異常モード		しきい値／積算値	しきい値	異常モードを設定 注1		03	検出タイム		5~30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定		04	通報内容		アナログ値／異常通報	異常通報	本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定 注2		05	しきい値1(HH)		1~99(%)	未設定	しきい値1を設定 注3		06	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4		07	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	08	ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	09	録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	10	メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	11	しきい値2(H)		1~99(%)	未設定	しきい値2を設定 注3		12	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4		13	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	14	ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	15	録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	16	メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	17	しきい値3(L)		1~100(%)	未設定	しきい値3を設定 注3		18	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4		19	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	20	ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	21	録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	22	メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	23	しきい値4(LL)		1~100(%)	未設定	しきい値4を設定 注3		24	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4		25	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	26	ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	27	録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	28	メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	29	しきい値5(断線)		1~100(%)	20%	しきい値5を設定 注3		30	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4		31	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	32	ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	33	録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	34	メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	35	通報内容		積算値／異常通報	積算値	本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定 注6		36	異常積算値		1~16777214	16777214	異常とする積算値を設定 注7		37	積算時間間隔		1~255(分)	10(10分)	積算する時間間隔を設定		38	定時通報時積算値クリア		有／無	有	定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定		39	データ	DTMF	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定 注8		40	ポケットベル	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定		41	(積算値)録音メッセージ		フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定 注5		42	モード1通報		有／無	無	モード1における通報の有無を設定 注9		43	モード2通報		有／無	無	モード2における通報の有無を設定 注9		44	通報グループNo		1~32	1	通報グループNoを設定 注10		45	定時記録		有／無	無	定時間隔で履歴記録の有無を設定 注11		46	定時印刷		有／無	無	定時間隔で印刷の有無を設定 注12		47	臨場音聴取		有／無	無	臨場音聴取の有無を設定 注13	
設定項目			設定内容	初期値	項目説明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
01	端子用途		センサ／アナログ	センサ	端子用途を設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
「本項目(01):端子用途」が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力／項目(01)~(18)」と同一となります。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
「アナログ」の場合、項目(02)以降の設定は、以下のようになります。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
02	異常モード		しきい値／積算値	しきい値	異常モードを設定 注1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
03	検出タイム		5~30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
04	通報内容		アナログ値／異常通報	異常通報	本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定 注2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
05	しきい値1(HH)		1~99(%)	未設定	しきい値1を設定 注3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
06	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
07	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
08		ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
09		録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
10		メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
11	しきい値2(H)		1~99(%)	未設定	しきい値2を設定 注3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
12	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
13	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14		ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
15		録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
16		メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
17	しきい値3(L)		1~100(%)	未設定	しきい値3を設定 注3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
18	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
19	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
20		ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
21		録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
22		メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
23	しきい値4(LL)		1~100(%)	未設定	しきい値4を設定 注3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
24	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
25	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
26		ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
27		録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
28		メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
29	しきい値5(断線)		1~100(%)	20%	しきい値5を設定 注3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
30	通報起動条件		異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
31	データ	ポケット	異常	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
32		ベル	復旧	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
33		録音	異常	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
34		メッセージ	復旧	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
35	通報内容		積算値／異常通報	積算値	本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定 注6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
36	異常積算値		1~16777214	16777214	異常とする積算値を設定 注7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
37	積算時間間隔		1~255(分)	10(10分)	積算する時間間隔を設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
38	定時通報時積算値クリア		有／無	有	定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
39	データ	DTMF	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定 注8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
40		ポケットベル	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
41	(積算値)録音メッセージ		フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定 注5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
42	モード1通報		有／無	無	モード1における通報の有無を設定 注9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
43	モード2通報		有／無	無	モード2における通報の有無を設定 注9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
44	通報グループNo		1~32	1	通報グループNoを設定 注10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
45	定時記録		有／無	無	定時間隔で履歴記録の有無を設定 注11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
46	定時印刷		有／無	無	定時間隔で印刷の有無を設定 注12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
47	臨場音聴取		有／無	無	臨場音聴取の有無を設定 注13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

通報

種別

37

アナログ入力(2/3)

要素

01~04

記事

LCD表示

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
しきい値	アナログ値が設定したしきい値(5値)を超えた場合、異常とします。
積算値	アナログ値を積算し、設定した異常積算値で異常とします。

各しきい値の異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
しきい値1(HH)	アナログ値が設定したしきい値より上がった場合、異常とします。
しきい値2(H)	アナログ値が設定したしきい値より上がった場合、異常とします。
しきい値3(L)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。
しきい値4(LL)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。
しきい値5(断線)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。

注2. 通報内容は、以下の通りです。

設定内容	通報内容
アナログ値	異常時のアナログ値を通報します。
異常通報	しきい値になったこと(異常)を通報します。

アナログ値に設定した場合「種別(30)/項目(02):通報方式」が以下の時、有効となります。

①「固定音声」「MF+固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」の時(固定DTMF通報)

③「FAX」の時

また、上記で送出するアナログ値の内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	アナログ値%(最大3桁:1~100)を通報します。
固定DTMF	アナログ値(最大3桁:0~255)を通報します。
FAX	「種別(72)/項目(15):計算式」で演算した値を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。

固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注3. しきい値は、アナログ入力電圧5Vに対する%を設定します。

例:「しきい値1を4Vに設定する」場合、80%と設定します。

注4. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注6. 通報内容は、以下の通りです。

設定内容	通報内容
積算値	異常時の積算値を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

積算値に設定した場合「種別(30)/項目(02):通報方式」が以下の時、有効となります。

①「固定音声」「MF+固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」の時(固定DTMF通報)

③「FAX」の時

また、上記で送出する積算値の内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声/DTMF	積算値(最大8桁:1~16777214)を通報します。
FAX	「種別(72)/項目(15):計算式」で演算した値を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。

固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

nn:要素No(01~04)

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
01:タンシヨウト  
センサ  
→アナログ<sup>\*</sup>

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
02:イシ<sup>\*</sup> ヨウモード<sup>\*</sup>  
→シキイチ  
セキサンチ

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
03:ケンシュツタイマ  
[5~30000(x10ms)]  
:30→■

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
04:ツウホウナイヨウ  
アナログ<sup>\*</sup> チ  
→イシ<sup>\*</sup> ヨウツウホウ

しきい値1(項目05~10)の場合  
37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
05:シキイチ1(HH)  
[1~99(%)]  
ミセツタイ→■

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
06:ツウホウシ<sup>\*</sup> ヨウケン1  
→イシ<sup>\*</sup> ヨウシ<sup>\*</sup>  
イシ<sup>\*</sup> ヨウ・フツキユウシ<sup>\*</sup>

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
07:Pへ<sup>\*</sup> ルイシ<sup>\*</sup> ヨウ1  
■

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
08:Pへ<sup>\*</sup> ルフツキユウ1  
■

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
09:ロクオンイシ<sup>\*</sup> ヨウ1  
[0~63](0/16)  
:■ - - -

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
10:ロクオンフツキユウ1  
[0~63](0/16)  
:■ - - -

項目(11)~(34)は、項目(05)~(10)と内容同等

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
36:ツウホウナイヨウ  
→セキサンチ  
イシ<sup>\*</sup> ヨウツウホウ

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
36:イシ<sup>\*</sup> ヨウセキサンチ  
[1~16777214]  
:16777214■

37:アナログ<sup>\*</sup> INnn  
37:セキサンカンカク  
[1~255(m)]  
:10→

通報	種別	37	アナログ入力(3／3)	要素	01～04
記 事				LCD表示	
<p>注7. 積算値は、16777215でオーバーフローとなり、積算できなくなりますので、定期的に積算値はクリアして下さい。積算値をクリアする方法は、以下の通りです。</p> <p>①定時状態通報完了時にクリアする。「本項目(38):定時通報時積算値クリア」</p> <p>②テレコントロールにおいて、「積算値クリア」の操作でクリアする。</p> <p>③キーボードメンテナンスでクリアする。</p> <p>また、本項目を設定する場合、「←」で■を移動して設定してください。</p> <p>注8. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。</p> <p>尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。</p> <p>固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。</p> <p>注9. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。</p> <p>設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。</p> <p>注10. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。</p> <p>注11. 定時記録機能は、以下の通りです。</p> <p>「種別(38):アナログ入力定時記録・印刷」で設定した時間間隔で、アナログ端子の状態を本装置に履歴として記録します。(最新100件)</p> <p>注12. 定時印刷機能は、以下の通りです。</p> <p>「種別(38):アナログ入力定時記録・印刷」で設定した時間間隔で、アナログ端子の状態を本装置に接続したプリンタに印刷します。</p> <p>注13. 本項目及び「種別(30)／項目(13):臨場音聴取」が「有」の場合、通報時の臨場音聴取が可能となります。</p>				<div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 38:セキサンチクリア →アリ →ナシ</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 39:DTMFセキサン</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 40:P<sup>*</sup> ルセキサン</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 41:ロクオンセキサン [0-63] (0/16) : ■ - - -</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 42:モート<sup>*</sup> 1 ツウホウ アリ →ナシ</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 43:モート<sup>*</sup> ■ ツウホウ アリ →ナシ</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 44:ツウホウ<sup>*</sup> ルーフ<sup>*</sup> [1-32] : 1→■</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 45:テイシ<sup>*</sup> キロク アリ →ナシ</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 46:テイシ<sup>*</sup> インサツ アリ →ナシ</div> <div>37:アナログ<sup>*</sup> I N n n 47:リンシ<sup>*</sup> ヨウオン アリ →ナシ</div>	

通報	種別	38	アナログ入力定時記録・印刷時間	要素	01-02																
<b>概要</b> アナログ入力の定時記録・印刷時間の設定をします。 「種別(37):アナログ入力/項目(45):定時記録及び項目(46):定時印刷」の設定を「有」にした場合、本種別で設定した時間間隔で記録及び印刷します。																					
<b>設定項目</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 記録先</td> <td>メモリ+プリンタ/FAX</td> <td>メモリ+プリンタ</td> <td>記録先を設定 <span style="float:right">注1</span></td> </tr> <tr> <td>02 時間間隔</td> <td>1~14400(分)</td> <td>60(60分)</td> <td>時間間隔を設定 <span style="float:right">注2、3</span></td> </tr> <tr> <td>03 開始時刻</td> <td>00:00~23:59</td> <td>00:00</td> <td>開始時刻を設定 <span style="float:right">注3</span></td> </tr> </tbody> </table>						設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 記録先	メモリ+プリンタ/FAX	メモリ+プリンタ	記録先を設定 <span style="float:right">注1</span>	02 時間間隔	1~14400(分)	60(60分)	時間間隔を設定 <span style="float:right">注2、3</span>	03 開始時刻	00:00~23:59	00:00	開始時刻を設定 <span style="float:right">注3</span>
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																		
01 記録先	メモリ+プリンタ/FAX	メモリ+プリンタ	記録先を設定 <span style="float:right">注1</span>																		
02 時間間隔	1~14400(分)	60(60分)	時間間隔を設定 <span style="float:right">注2、3</span>																		
03 開始時刻	00:00~23:59	00:00	開始時刻を設定 <span style="float:right">注3</span>																		
<b>記 事</b> 注1. 記録先は、以下の通りです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メモリ+プリンタ</td> <td>「種別(37):アナログ入力/項目(45)及び項目(46)」の設定を「有」にした場合、本項目(02)で設定した時間間隔でアナログ入力の値を記録及び印刷します。</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>FAX通報機能で月報や日報で使用するデータを1時間間隔でセンサ、アナログ入力の値を記録します。</td> </tr> </tbody> </table>				設定内容	内容説明	メモリ+プリンタ	「種別(37):アナログ入力/項目(45)及び項目(46)」の設定を「有」にした場合、本項目(02)で設定した時間間隔でアナログ入力の値を記録及び印刷します。	FAX	FAX通報機能で月報や日報で使用するデータを1時間間隔でセンサ、アナログ入力の値を記録します。	<b>LCD表示</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           38: テイジ キロク・インサツ            01: キロクサキ              →メモリ+プ リンタ                  FAX         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           38: テイジ キロク・インサツ            02: シ カンカンカク              [ 1-14400 (m) ]              : 60 → ■         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           38: テイジ キロク・インサツ            03: カイシジ コク              [ 00:00-23:59 ]              00:00 → ■ :         </div>											
設定内容	内容説明																				
メモリ+プリンタ	「種別(37):アナログ入力/項目(45)及び項目(46)」の設定を「有」にした場合、本項目(02)で設定した時間間隔でアナログ入力の値を記録及び印刷します。																				
FAX	FAX通報機能で月報や日報で使用するデータを1時間間隔でセンサ、アナログ入力の値を記録します。																				
注2. 本項目(01)の設定が「FAX」の場合は、60分固定としてください。																					
注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時記録及び印刷を行いません。 <u>キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。</u>																					



通報

種別

40

AND通報(1/2)

要素

01~05

概要

AND通報の設定をします。最大5グループ設定できます。  
センサ入力・アナログ入力の複数入力(MAX:5入力)を、検出して通報します。異常／復旧検出方法は、以下の通りです。

- ・異常検出: 設定した全ての端子が異常となった時
- ・復旧検出: 設定した端子のうち1端子でも復旧した時

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 端子No	01~XX(センサ) (注1) #01~#XX(アナログ) #01~#XX+しきい値No.1~5 [MAX:5端子]	未設定	ANDするセンサ・アナログNoを設定 注1
02 通報起動条件	異常時／異常・復旧時	異常時	通報起動条件を設定 注2
03 モード1通報	有／無	無	モード1における通報の有無を設定 注3
04 モード2通報	有／無	無	モード2における通報の有無を設定 注3
05 通報グループNo	1~32	1	通報グループNoを設定 注4
06 通報	DTMF 異常 0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
07 データ	復旧 0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定	注5
08	ポケット 異常 0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
09	ベル 復旧 0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定	
10	録音 異常 フレーズNo.0~63 [MAX:167フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
11	メッセージ 復旧 フレーズNo.0~63 [MAX:167フレーズ]	未設定	注6

記事

注1. 設定は、以下を参考に設定して下さい。  
設定可能な端子は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
センサNo	各異常モードの異常／復旧
アナログNo	アナログ端子の異常モードが「積算値」の場合の異常／復旧
アナログNo+しきい値	アナログ端子の異常モードが「しきい値」の場合、設定したしきい値の異常／復旧

センサ／アナログ積算端子の復旧については、積算値をクリアした時点とします。  
積算値のクリアについては、「種別(36):センサ入力」「種別(37):アナログ入力」を参照願います。  
設定可能なセンサ・アナログNoは、以下の通りです。  
なお、アナログNo設定時は、Noの前に#を入力して下さい。  
センサNo01~08、41~44(アナログ入力をセンサ入力として使用時)  
アナログNo#01~#04

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。  
設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。

注4. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

注5. A~D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A~D場合は[1]~[4]、Pの場合は[#]を押してください。  
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。  
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注6. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

nn:要素No(01~05)

40: ANDツウホウnn  
01: タンシNo  
→1:  
2: (0/5)

40: ANDツウホウnn  
02: ツウホウシ ヨウケン  
→イシ ヨウシ  
イシ ヨウ・フツキユウシ

40: ANDツウホウnn  
03: モード 1 ツウホウ  
アリ  
→ナシ

40: ANDツウホウnn  
04: モード 2 ツウホウ  
アリ  
→ナシ

40: ANDツウホウnn  
05: ツウホウク ループ  
[1~32]  
: 1→■

40: ANDツウホウnn  
06: DTMFイシ ヨウ  
■

40: ANDツウホウnn  
07: DTMFフツキユウ  
■

40: ANDツウホウnn  
08: Pへ ルイシ ヨウ  
■

通報	種別	40	AND通報(2/2)	要素	01~05
記事				LCD表示	
				<div>40: ANDツウホウnn 09: Pへ ルフツキュウ ■</div> <div>40: ANDツウホウnn 10: ロクオンイシ ヨウ [0-63] (0/16) : ■ - - -</div> <div>40: ANDツウホウnn 11: ロクオンフツキュウ [0-63] (0/16) : ■ - - -</div>	

通報		種別	41	定時通報(1/2)		要素	一
概要							
定時通報の設定をします。 本種別の設定により、本装置の点検を定期的に行うことができます。(但し、接続されているセンサ等の点検はできません)							
設定項目							
設定項目		設定内容		初期値	項目説明		
01	通報動作	有/無		無	通報動作の有無を設定		
02	通報方式	定時刻/定時間隔/定日		定時刻	通報方式を設定 注1		
03	通報時刻1	00:00~23:59		未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定 注2		
04	通報時刻2	00:00~23:59		未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定 注2		
05	通報時刻3	00:00~23:59		未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定 注2		
06	定時間間隔	10~14400(分)		1440(24時間)	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定 注3		
07	通報開始時刻	00:00~23:59		10:00	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定 注3		
08	定日設定	1~31(日)、41:日~47:土(曜日)		1	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定		
09	定日時刻	00:00~23:59		10:00	本項目(02)が「定日」の場合、通報する時刻を設定		
10	通報グループNo	1~32		1	通報グループNoを設定 注4		
11	通報	DTMF	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定 注5		
12	データ	ポケットベル	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定		
13		録音メッセージ	フレーズNo.0~63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定 注6		

記事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
定時刻	毎日、設定した時刻に通報します。
定時間隔	開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。
定日	設定した日または曜日の設定時刻に通報します。

注2. 通報時刻1、2、3は、重複しないように設定して下さい。

注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時間隔通報を行いません。  
キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。

注4. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。  
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。  
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。  
「種別(31)/項目(01):モード1 通報先No」  
「種別(31)/項目(05):モード2 通報先No」

注5. A~D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A~D場合は[1]~[4]、Pの場合は[#]を押してください。  
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。  
固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注6. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

41: テイシ ツウホウ  
01: ツウホウト ウサ  
→アリ  
ナシ

41: テイシ ツウホウ  
01: ツウホウホウシキ  
→テイシ コク  
テイシ カンカク  
テイシ ツ

41: テイシ ツウホウ  
03: ツウホウシ コク1  
[00:00-23:59]  
ミセツタイ■:

41: テイシ ツウホウ  
04: ツウホウシ コク2  
[00:00-23:59]  
ミセツタイ■:

41: テイシ ツウホウ  
05: ツウホウシ コク3  
[00:00-23:59]  
ミセツタイ■:

41: テイシ ツウホウ  
06: テイシ カンカンカク  
[10-14400(m)]  
:1440→■

41: テイシ ツウホウ  
07: ツウホウカイシ コク  
[00:00-23:59]  
10:00→■:

41: テイシ ツウホウ  
08: テイシ ツセツタイ  
[1-31, 41-47]  
:1→■

41: テイシ ツウホウ  
09: テイシ ツシ コク  
[00:00-23:59]  
10:00→■:

41: テイシ ツウホウ  
10: ツウホウク ルーフ  
[1-32]  
:1→■

通報	種別	41	定時通報(2/2)	要素	—
記事				LCD表示	
				41: テイシ ツウホウ 11: DTMF ■	
				41: テイシ ツウホウ 12: Pへル ■	
				41: テイシ ツウホウ 13: ロクオン [0-63] (0/16) : ■ — — —	

通報	種別	42	定時状態通報(1/2)	要素	01-03																																																
<p><b>概要</b></p> <p>定時状態通報の設定をします。</p> <p>本種別の設定により、本装置に接続されているセンサ等の入力状態を定期的にモニタできます。</p> <p>但し、本種別は「種別(30)/項目(02):通報方式」が以下の場合、有効となります。</p> <p>①「固定音声」「MF+固定音声」の時(固定音声通報)</p> <p>②「DTMF」「MF+固定音声」でかつ各通報要因の通報DTMFデータが「未設定」の時(固定DTMF通報)</p> <p>通報メッセージ及びデータは、以下の通りです。</p> <p>①通報メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。</p> <p>②通報データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。</p>																																																					
<p><b>設定項目</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 通報動作</td> <td>有/無</td> <td>無</td> <td>通報動作の有無を設定</td> </tr> <tr> <td>02 通報方式</td> <td>定時刻/定時間隔/定日</td> <td>定時刻</td> <td>通報方式を設定 注1</td> </tr> <tr> <td>03 通報時刻1</td> <td>00:00~23:59</td> <td>未設定</td> <td>本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定 注2</td> </tr> <tr> <td>04 通報時刻2</td> <td>00:00~23:59</td> <td>未設定</td> <td>本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定 注2</td> </tr> <tr> <td>05 通報時刻3</td> <td>00:00~23:59</td> <td>未設定</td> <td>本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定 注2</td> </tr> <tr> <td>06 定時間隔</td> <td>10~14400(分)</td> <td>1440(24時間)</td> <td>本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間隔を設定 注3</td> </tr> <tr> <td>07 通報開始時刻</td> <td>00:00~23:59</td> <td>10:00</td> <td>本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定 注3</td> </tr> <tr> <td>08 定日時刻</td> <td>1~31(日)、41:日~47:土(曜日)</td> <td>1</td> <td>本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定</td> </tr> <tr> <td>09 定日時刻</td> <td>00:00~23:59</td> <td>10:00</td> <td>本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定</td> </tr> <tr> <td>10 帳票形式</td> <td>1~4</td> <td>1</td> <td>FAXへ通報する帳票形式を設定 注5</td> </tr> <tr> <td>11 通報グループNo</td> <td>1~32</td> <td>1</td> <td>通報グループNoを設定 注4</td> </tr> </tbody> </table>						設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 通報動作	有/無	無	通報動作の有無を設定	02 通報方式	定時刻/定時間隔/定日	定時刻	通報方式を設定 注1	03 通報時刻1	00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定 注2	04 通報時刻2	00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定 注2	05 通報時刻3	00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定 注2	06 定時間隔	10~14400(分)	1440(24時間)	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間隔を設定 注3	07 通報開始時刻	00:00~23:59	10:00	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定 注3	08 定日時刻	1~31(日)、41:日~47:土(曜日)	1	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	09 定日時刻	00:00~23:59	10:00	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	10 帳票形式	1~4	1	FAXへ通報する帳票形式を設定 注5	11 通報グループNo	1~32	1	通報グループNoを設定 注4
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																																																		
01 通報動作	有/無	無	通報動作の有無を設定																																																		
02 通報方式	定時刻/定時間隔/定日	定時刻	通報方式を設定 注1																																																		
03 通報時刻1	00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定 注2																																																		
04 通報時刻2	00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定 注2																																																		
05 通報時刻3	00:00~23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定 注2																																																		
06 定時間隔	10~14400(分)	1440(24時間)	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間隔を設定 注3																																																		
07 通報開始時刻	00:00~23:59	10:00	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定 注3																																																		
08 定日時刻	1~31(日)、41:日~47:土(曜日)	1	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定																																																		
09 定日時刻	00:00~23:59	10:00	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定																																																		
10 帳票形式	1~4	1	FAXへ通報する帳票形式を設定 注5																																																		
11 通報グループNo	1~32	1	通報グループNoを設定 注4																																																		
<p><b>記事</b></p> <p>注1. 通報方式は、以下の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定時刻</td> <td>毎日、設定した時刻に通報します。</td> </tr> <tr> <td>定時間隔</td> <td>開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。</td> </tr> <tr> <td>定日</td> <td>設定した日または曜日の設定時刻に通報します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注2. 通報時刻1、2、3は、重複しないように設定して下さい。</p> <p>注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時間隔通報を行いません。  <u>キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。</u></p> <p>注4. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。          モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。          一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。          「種別(31)/項目(01):モード1 通報先No」          「種別(31)/項目(05):モード2 通報先No」</p> <p>注5. 帳票は、以下の通りです。(FAX通報機能 標準設定の場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>月報</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>日報</td> </tr> <tr> <td>3, 4</td> <td>使用しません</td> </tr> </tbody> </table>						設定内容	内容説明	定時刻	毎日、設定した時刻に通報します。	定時間隔	開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。	定日	設定した日または曜日の設定時刻に通報します。	設定内容	内容説明	1	月報	2	日報	3, 4	使用しません																																
設定内容	内容説明																																																				
定時刻	毎日、設定した時刻に通報します。																																																				
定時間隔	開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。																																																				
定日	設定した日または曜日の設定時刻に通報します。																																																				
設定内容	内容説明																																																				
1	月報																																																				
2	日報																																																				
3, 4	使用しません																																																				
<p><b>LCD表示</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              01:ツウホウト ウサ              アリ              →ナシ         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              02:ツウホウホウシキ              →テイジ コク              テイジ カンカク              テイジ ツ         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              03:ツウホウシ コク1              [00:00-23:59]              ミセツタイー■:         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              04:ツウホウシ コク2              [00:00-23:59]              ミセツタイー■:         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              05:ツウホウシ コク3              [00:00-23:59]              ミセツタイー■:         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              06:テイジ カンカンカク              [10-14400(m)]              :1440→■         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              07:ツウホウカイシジ コク              [00:00-23:59]              10:00→■:         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             42:ジ ヨウタイツウホウ              08:テイジ ツセツタイ              [1-31, 41-47]              :1→■         </div>																																																					

通報	種別	42	定時状態通報(2/2)	要素	01-03
記事				LCD表示	
				<div>42: シ ヨウタイツウホウ n n 09: テイシ ツシ ヨク [00:00-23:59] 10: 00 → ■ :</div> <div>42: シ ヨウタイツウホウ n n 10: チ ヨウヒ ヨウケイシキ [1-4] : 1 → ■ :</div> <div>42: シ ヨウタイツウホウ n n 11: ツウホウク ループ [1-32] : 1 → ■</div>	

通報

種別

43

要素

一

概要

停電・復電通報の設定をします。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01 通報動作	有／無	無	通報動作の有無を設定	
02 検出タイマ	1～1000(秒)	10(10秒)	検出時間を設定	
03 通報起動条件	停電時／停電復電時	停電時	通報起動条件を設定 注1	
04 通報遅延タイマ	0～36000(秒)	0(0秒)	通報遅延時間を設定 注2	
05 通報グループNo	1～32	1	通報グループNoを設定 注3	
06 通報	DTMF 停電	0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
07 データ	復電	0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	
08	ポケット 停電	0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
09	ベル 復電	0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	
10	録音 停電	フレーズNo.0～63 [MAX:167フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
11	メッセージ 復電	フレーズNo.0～63 [MAX:167フレーズ]	未設定	

記事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
停電時	停電時のみ通報します。
停電復電時	停電時及び復旧時に通報します。

注2. 通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

停電検出確定

通報開始

通報遅延タイマ

注3. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。  
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。  
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。  
「種別(31)／項目(01):モード1 通報先No」  
「種別(31)／項目(05):モード2 通報先No」

注4. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[＃]を押してください。  
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。  
固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
01: ツウホウト<sup>ウ</sup> ウサ  
アリ  
→ナシ

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
02: ケンシュツタイマ  
[1-1000(s)]  
: 10→■

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
03: ツウホウシ<sup>ョウ</sup> ケン  
→ティテ<sup>ン</sup> シ<sup>ン</sup>  
ティテ<sup>ン</sup>・フク<sup>ン</sup> テンシ<sup>ン</sup>

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
04: ツウホウチエンタイマ  
[0-3600(s)]  
: 0→■

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
05: ツウホウク<sup>ル</sup> フ<sup>ン</sup>  
[1-32]  
: 1→■

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
06: DTMFティテ<sup>ン</sup>  
■

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
07: DTMFフク<sup>ン</sup> テン  
■

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
08: Pヘ<sup>ル</sup> ティテ<sup>ン</sup>  
■

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
09: Pヘ<sup>ル</sup> フク<sup>ン</sup> テン  
■

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
10: ロクオンティテ<sup>ン</sup>  
[0-63] (0/16)  
: ■ - - -

43: ティ・フクテ<sup>ン</sup> ツウホウ  
11: ロクオンフク<sup>ン</sup> テン  
[0-63] (0/16)  
: ■ - - -

- 82 -

通報	種別	44	ローバッテリー通報	要素	—
----	----	----	-----------	----	---

## 概要

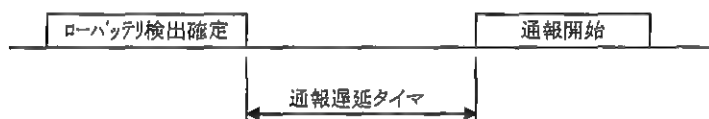
ローバッテリー通報の設定をします。  
停電等により蓄電池動作状態となった場合、蓄電池容量の低下を検出して通報します。

## 設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 通報動作	有/無	無	通報動作の有無を設定
02 検出タイム	1~1000(秒)	10(10秒)	検出時間を設定
03 通報遅延タイム	0~255(秒)	0(0秒)	通報遅延時間を設定 注1
04 通報グループNo	1~32	1	通報グループNoを設定 注2
05 通報	DTMF	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定 DTMF通報時の通報データを設定 注3
06 データ	ポケットベル	0~9、*、#、A~D、P [MAX:32桁]	未設定 ポケットベル通報時の通報データを設定
07	録音メッセージ	フレーズNo.0~63 [MAX:167フレーズ]	未設定 録音音声通報時の通報メッセージを設定 注4

## 記事

注1. 通報遅延タイムは以下を参考に設定して下さい。



注2. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。  
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。  
「種別(31)/項目(01):モード1 通報先No」  
「種別(31)/項目(05):モード2 通報先No」

注3. A~D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A~D場合は[1]~[4]、Pの場合は[#]  
を押してください。

尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。  
固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注4. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

## LCD表示

44:ローバ ッテリーツウホウ  
01:ツウホウト ウサ  
アリ  
ーナシ

44:ローバ ッテリーツウホウ  
02:ケンシュツタイム  
[1-1000(s)]  
:10→■

44:ローバ ッテリーツウホウ  
03:ツウホウチエンタイム  
[0-255(s)]  
:0→■

44:ローバ ッテリーツウホウ  
04:ツウホウク ループ  
[1-32]  
:1→■

44:ローバ ッテリーツウホウ  
05:DTMF  
■

44:ローバ ッテリーツウホウ  
06:Pヘ ル  
■

44:ローバ ッテリーツウホウ  
07:ロクオン  
[0-63] (0/16)  
:■ - - -



通報		種別	45	蓄電池交換通報		要素	—																												
<b>概要</b> 蓄電池交換通報の設定をします。 蓄電池には寿命があるため、停電動作を保証するには定期的な交換が必要です。 本種別を設定することにより、設定した時期に蓄電池交換通報を行います。 通報時期は、2年後に設定して下さい。																																			
<b>設定項目</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 通報動作</td> <td>有／無</td> <td>無</td> <td>通報動作の有無を設定</td> </tr> <tr> <td>02 通報時期</td> <td>00年01月01日 00:00～ 99年12月31日 23:59</td> <td>未設定</td> <td>通報時期を設定</td> </tr> <tr> <td>03 通報グループNo</td> <td>1～32</td> <td>1</td> <td>通報グループNoを設定 注1</td> </tr> <tr> <td>04 通報</td> <td>DTMF 0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]</td> <td>未設定</td> <td>DTMF通報時の通報データを設定 注2</td> </tr> <tr> <td>05 データ</td> <td>ポケットベル 0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]</td> <td>未設定</td> <td>ポケットベル通報時の通報データを設定</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>録音メッセージ フレーズNo.0～63 [MAX:167フレーズ]</td> <td>未設定</td> <td>録音音声通報時の通報メッセージを設定 注3</td> </tr> </tbody> </table>								設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 通報動作	有／無	無	通報動作の有無を設定	02 通報時期	00年01月01日 00:00～ 99年12月31日 23:59	未設定	通報時期を設定	03 通報グループNo	1～32	1	通報グループNoを設定 注1	04 通報	DTMF 0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定 注2	05 データ	ポケットベル 0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	06	録音メッセージ フレーズNo.0～63 [MAX:167フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定 注3
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																																
01 通報動作	有／無	無	通報動作の有無を設定																																
02 通報時期	00年01月01日 00:00～ 99年12月31日 23:59	未設定	通報時期を設定																																
03 通報グループNo	1～32	1	通報グループNoを設定 注1																																
04 通報	DTMF 0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定 注2																																
05 データ	ポケットベル 0～9、*、＃、A～D、P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定																																
06	録音メッセージ フレーズNo.0～63 [MAX:167フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定 注3																																
<b>記 事</b> 注1. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。 モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。 一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。 「種別(31)/項目(01):モード1 通報先No」 「種別(31)/項目(05):モード2 通報先No」 注2. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[＃] を押して下さい。 尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。 固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。 注3. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。						<b>LCD表示</b> <div> 4 5 : テ ンチコウカンツウホウ  0 1 : ツウホウト ウサ  アリ  →ナシ </div> <div> 4 5 : テ ンチコウカンツウホウ  0 2 : ツウホウジ キ  : ミセツテイ  →■ — — ( : ) </div> <div> 4 5 : テ ンチコウカンツウホウ  0 3 : ツウホウク ループ  [ 1 ~ 3 2 ]  : 1 →■ </div> <div> 4 5 : テ ンチコウカンツウホウ  0 4 : D T M F  ■ </div> <div> 4 5 : テ ンチコウカンツウホウ  0 5 : P ヘ ル  ■ </div> <div> 4 5 : テ ンチコウカンツウホウ  0 6 : ロクオン  [ 0 ~ 6 3 ] ( 0 / 1 6 )  : ■ — — — </div>																													

通報		種別	47	モード切替通報		要素	—
<b>概要</b> モード切替通報の設定をします。 通報モードが切り替わる毎に通報します。 通報モードの切替方法等については、「種別(32):通報モード切替」で設定して下さい。							
<b>設定項目</b>							
設定項目		設定内容		初期値	項目説明		
01	通報動作	有/無		無	通報動作の有無を設定		
03	通報グループNo	1~32		1	通報グループNoを設定 <span style="float:right">注1</span>		
03	通報	DTMF	モード1	0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	
04	データ		モード2	0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定	注2	
05		ポケット	モード1	0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
06		ベル	モード2	0~9,*,#,A~D,P [MAX:32桁]	未設定		
07		録音	モード1	フレーズNo.0~63 [MAX:167フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
08		メッセージ	モード2	フレーズNo.0~63 [MAX:167フレーズ]	未設定	注3	
<b>記 事</b>							
注1. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。 モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。 一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。 「種別(31)/項目(01):モード1 通報先No」 「種別(31)/項目(05):モード2 通報先No」							
注2. A~D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A~D場合は[1]~[4]、Pの場合は[#] を押してください。 尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。 固定データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。							
注3. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。							
<b>LCD表示</b>							
47: モード キリカエツウホウ 01: ツウホウト ウサ アリ ナシ							
47: モード キリカエツウホウ 02: ツウホウク ループ [1-32] : 1 → ■							
47: モード キリカエツウホウ 03: DTMF (モード 1) ■							
47: モード キリカエツウホウ 04: DTMF (モード 2) ■							
47: モード キリカエツウホウ 05: Pベル (モード 1) ■							
47: モード キリカエツウホウ 06: Pベル (モード 2) ■							
47: モード キリカエツウホウ 07: ロクオン (モード 1) [0-63] (0/16) : ■ — — —							
47: モード キリカエツウホウ 08: ロクオン (モード 2) [0-63] (0/16) : ■ — — —							

エレベータ種別

60

通報先Aグループ

要素

01～03

概要

エレベータホン機能の通報先Aグループの設定をします。

注意：通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数(最大3宛先)の通報先を設定して下さい。

通報時にかご内インターホンから送出するガイダンスについては、「種別(65):通報方式」を参照願います。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 電話番号	0～9、*、#、P、F [MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定 注1
02 応答DTMF	0～9、*、# [1桁]	5	応答検出するDTMFを設定 注2

記事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。

F(フラッシュ)時間は、「種別(10)/項目(06):フラッシュ時間」で設定して下さい。

P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「\*」を押してください。

注2. 応答検出は、「応答DTMF」固定ですので必ず設定して下さい。

応答DTMFを受信すると、端末情報(DTMFデータ)を送出後通話状態となります。

応答DTMF受信

1秒

端末情報送出

エレベータホン通話

端末情報フォーマットは以下の通りです。

ID番号(MAX16桁)	区切りコード	子機番号(2桁)
	*	01～04

ID番号(MAX:16桁)は「種別(01):IDコード/項目(01):ID番号」で設定

エレベータホン通話時に、本装置がDTMF信号を受信することにより動作できる機能は、以下の通りです。

機能名称	機能内容
ブレストーク送話	DTMF[2]受信以降は、かご内の音声をセンターに送出します。
ブレストーク受話	DTMF[3]受信以降は、センターからの音声がかご内に送出されます。
通話延長	終話予告音中から30秒以内にDTMF[4]または[#]受信により、終話予告音を停止し、「ピッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートします。
終話	DTMF[6]受信により、3秒後に「ビー」音を送出し、回線を開放します。
一斉受話	DTMF[7]受信により、センターからの音声がかご内に送出されます。
再送要求	DTMF[8]受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出します。
ハンズフリー通話	DTMF[9]受信により、3秒後に「ビー」音を送出しエレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替えます。
ハンズフリー受話レベル調整	DTMF[92n] (n:0～7) 受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する。
ハンズフリー受話感度調整	DTMF[93n] (n:0～7) 受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。
ハンズフリー送話感度調整	DTMF[94n] (n:0～7) 受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。
テレコン切替	DTMF[1]受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える。

LCD表示

nn:要素No(01～03)

60:E・ツウホウサキAnn

01:TEL No

■

60:E・ツウホウサキAnn

02:アウトウDTMF

[0～9, \*, #]

5→■

エレベータ種別	61	通報先Bグループ	要素	01~03																														
<b>概要</b> エレベータホン機能の通報先Bグループの設定をします。 注意: 通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数(最大3宛先)の通報先を設定して下さい。 通報時にかご内インターホンから送出するガイダンスについては、「種別(65): 通報方式」を参照願います。																																		
<b>設定項目</b>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 電話番号</td> <td>0~9、*、#、P、F [MAX:32桁]</td> <td>未設定</td> <td>通報先の電話番号を設定 注1</td> </tr> <tr> <td>02 応答DTMF</td> <td>0~9、*、# [1桁]</td> <td>5</td> <td>応答検出するDTMFを設定 注2</td> </tr> </tbody> </table>					設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 電話番号	0~9、*、#、P、F [MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定 注1	02 応答DTMF	0~9、*、# [1桁]	5	応答検出するDTMFを設定 注2																		
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																															
01 電話番号	0~9、*、#、P、F [MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定 注1																															
02 応答DTMF	0~9、*、# [1桁]	5	応答検出するDTMFを設定 注2																															
<b>記 事</b> 注1. P(ボーズ)時間は、1つにつき約3秒です。 F(フラッシュ)時間は、「種別(10)/項目(06): フラッシュ時間」で設定して下さい。 P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。  注2. 応答検出は、「応答DTMF」固定ですので必ず設定して下さい。 応答DTMFを受信すると、端末情報(DTMFデータ)を送出後通話状態となります。			<b>LCD表示</b> nm: 要素No(01~03) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">           61: E・ツウホウサキBnn            01: TEL No            ■         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">           61: E・ツウホウサキBnn            02: オウトウDTMF            [0~9, *, #]            5→■         </div>																															
<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">応答DTMF受信</div> <div style="margin: 0 10px;">↓ 1秒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">端末情報送出</div> <div style="margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">エレベータホン通話</div> </div> <p>端末情報フォーマットは以下の通りです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ID番号(MAX16桁)</th> <th>区切りコード</th> <th>子機番号(2桁)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">01~04</td> </tr> </tbody> </table> <p>ID番号(MAX:16桁)は「種別(01): IDコード/項目(01): ID番号」で設定</p> <p>エレベータホン通話時に、本装置がDTMF信号を受信することにより動作できる機能は、以下の通りです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機能名称</th> <th>機能内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブレストーク 送話</td> <td>DTMF[2]受信以降は、かご内の音声をセンターに送出します。</td> </tr> <tr> <td>ブレストーク 受話</td> <td>DTMF[3]受信以降は、センターからの音声がかご内に送出されます。</td> </tr> <tr> <td>通話延長</td> <td>終話予告音中から30秒以内にDTMF[4]または[#]受信により、終話予告音を停止し、「ビッビッビ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートします。</td> </tr> <tr> <td>終話</td> <td>DTMF[6]受信により、3秒後に「ビー」音を送出し、回線を開放します。</td> </tr> <tr> <td>一斉受話</td> <td>DTMF[7]受信により、センターからの音声が全かご内に送出されます。</td> </tr> <tr> <td>再送要求</td> <td>DTMF[8]受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出します。</td> </tr> <tr> <td>ハンズフリー 通話</td> <td>DTMF[9]受信により、3秒後に「ビー」音を送出しエレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替えます。</td> </tr> <tr> <td>ハンズフリー 受話レベル調整</td> <td>DTMF[92n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する。</td> </tr> <tr> <td>ハンズフリー 受話感度調整</td> <td>DTMF[93n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。</td> </tr> <tr> <td>ハンズフリー 送話感度調整</td> <td>DTMF[94n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。</td> </tr> <tr> <td>テレコン切替</td> <td>DTMF[1]受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える。</td> </tr> </tbody> </table>					ID番号(MAX16桁)	区切りコード	子機番号(2桁)		*	01~04	機能名称	機能内容	ブレストーク 送話	DTMF[2]受信以降は、かご内の音声をセンターに送出します。	ブレストーク 受話	DTMF[3]受信以降は、センターからの音声がかご内に送出されます。	通話延長	終話予告音中から30秒以内にDTMF[4]または[#]受信により、終話予告音を停止し、「ビッビッビ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートします。	終話	DTMF[6]受信により、3秒後に「ビー」音を送出し、回線を開放します。	一斉受話	DTMF[7]受信により、センターからの音声が全かご内に送出されます。	再送要求	DTMF[8]受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出します。	ハンズフリー 通話	DTMF[9]受信により、3秒後に「ビー」音を送出しエレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替えます。	ハンズフリー 受話レベル調整	DTMF[92n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する。	ハンズフリー 受話感度調整	DTMF[93n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。	ハンズフリー 送話感度調整	DTMF[94n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。	テレコン切替	DTMF[1]受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える。
ID番号(MAX16桁)	区切りコード	子機番号(2桁)																																
	*	01~04																																
機能名称	機能内容																																	
ブレストーク 送話	DTMF[2]受信以降は、かご内の音声をセンターに送出します。																																	
ブレストーク 受話	DTMF[3]受信以降は、センターからの音声がかご内に送出されます。																																	
通話延長	終話予告音中から30秒以内にDTMF[4]または[#]受信により、終話予告音を停止し、「ビッビッビ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートします。																																	
終話	DTMF[6]受信により、3秒後に「ビー」音を送出し、回線を開放します。																																	
一斉受話	DTMF[7]受信により、センターからの音声が全かご内に送出されます。																																	
再送要求	DTMF[8]受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出します。																																	
ハンズフリー 通話	DTMF[9]受信により、3秒後に「ビー」音を送出しエレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替えます。																																	
ハンズフリー 受話レベル調整	DTMF[92n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する。																																	
ハンズフリー 受話感度調整	DTMF[93n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。																																	
ハンズフリー 送話感度調整	DTMF[94n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する。																																	
テレコン切替	DTMF[1]受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える。																																	

エレベータ種別	62	呼出モード切替	要素	一
<b>概要</b> エレベータホンの呼出モード(インターホン/Aグループ/Bグループ)の切替方式を設定します。				
<b>設定項目</b>				
設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01 切替方式	ボタン/タイマ	ボタン	切替方式を設定 <span style="float: right;">注1</span>	
<b>記 事</b> 注1. 切替方式は、以下の通りです。				
設定内容	内容説明			
ボタン	本装置のモード切替ボタンの2秒押下及びエレベータホン切替スイッチで切替えます。(*1) モード切替ボタンとエレベータホン切替スイッチでは、後押しが有効となります。			
タイマ	設定した時間または曜日または月日で切替えます。			
*1. エレベータホン切替スイッチによる切替えは、インターホンとAグループとなります。 エレベータホン切替スイッチを接続する端子は、「7.6 配線工事 (8)エレベータホンの接続」(P22、23)を参照願います。 エレベータホン切替スイッチによる切替えは、エレベータホン切替スイッチ端子の状態により以下のようになります。				
エレベータホン切替スイッチ端子	呼出モード			
メーク	インターホン			
ブレーク	Aグループ			
タイマは、「種別(63):Aグループタイマ」及び「種別(64):Bグループタイマ」で設定して下さい。 なお、上記種別で設定した時間、曜日、月日以外の場合は、インターホンモードとなります。				
			<b>LCD表示</b> 62: E・モード キリカエ 01: キリカエホウシキ →ホ タン タイマ	

エレベータ	種別	63	Aグループタイマ	要素	—
-------	----	----	----------	----	---

概要

通報先Aグループとする時間、曜日、月日を設定します。  
 「種別(62):呼出モード切替/項目(01):切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 時間	(00:00~23:59) ~ (00:00~23:59)	未設定	Aグループの時間を設定 注1
02 曜日(毎週)	1~7(1:日~7:土) [MAX:6日]	未設定	Aグループの曜日を設定 注1
03 月日(毎年)	1月1日~12月31日 [MAX:30日]	未設定	Aグループの月日を設定 注1

記事

注1. 本種別及び「種別(64):Bグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(インターホン親機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	12:00~13:00	
曜日(毎週)	月曜日	
月日(毎年)	4月30日~5月5日	

Aグループとなる時間、曜日、月日  
 「毎年4月30日~5月5日と毎週月曜日とそれ以外に日の12:00~13:00」

LCD表示

63:E・Aグループ タイマ  
 01:シ・カン  
 ミセツテイ  
 — ( ■ : — : )

63:E・Aグループ タイマ  
 02:ヨウヒ  
 [1(Sun)~7(Sat)]  
 — —

63:E・Aグループ タイマ  
 03:ツキヒ  
 →01: —  
 02: — ( 0/30 )

エレベータ種別

64

Bグループタイマ

要素

—

概 要

通報先Bグループとする時間、曜日、月日を設定します。  
 「種別(62):呼出モード切替/項目(01):切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 時間	(00:00~23:59)~ (00:00~23:59)	未設定	Bグループの時間を設定 注1
02 曜日(毎週)	1~7(1:日~7:土) [MAX:6日]	未設定	Bグループの曜日を設定 注1
03 月日(毎年)	1月1日~12月31日 [MAX:30日]	未設定	Bグループの月日を設定 注1

記 事

注1. 本種別及び「種別(63):Aグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(インターホン親機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	18:00~08:00	
曜日(毎週)	土、日	
月日(毎年)	12月30日~1月3日	

Bグループとなる時間、曜日、月日  
 「毎年12月30日~1月3日と毎週土、日曜日とそれ以外に日の18:00~08:00」

LCD表示

64:E・Bグループ タイマ  
 01:シ・カン  
 ミセッテイ  
 →(■:—:—)

64:E・Bグループ タイマ  
 02:ヨウヒ  
 [1(Sun)~7(Sat)]  
 — —

64:E・Bグループ タイマ  
 03:ツキヒ  
 →01: —  
 02: — (0/30)

エレベータ種別	65	通報方式	要素	—
<b>概要</b> エレベータホン機能の通報方式を設定します。				
<b>設定項目</b>				
設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01 通報ガイダンス	有/無	有	通報ガイダンスの有無を設定 注1	
02 DTMF受信待ちタイマ	1~255(秒)	10(10秒)	応答後、応答DTMFの受信待ち時間を設定 注2	
<b>記事</b> 注1. かつ内インターホンの送出ガイダンスは、以下の通りです。			<b>LCD表示</b>	
子機操作	送出ガイダンス	記事	65 : E・ツウホウホウシキ 01 : ツウホウガイダンス →アリ ナシ	
呼出ボタン押下 第1宛先通報時	ただ今連絡しておりますので、しばらくお待ち下さい	1フレーズ送出	5 : E・ツウホウホウシキ 02 : DTMFマテタイマ [1-255(秒)] : 10→■	
第2宛先 不応答時	ただ今回線が込み合っていますので、しばらくお待ち下さい	1フレーズ送出		
全宛先不応答時	ただ今回線が込み合っています。後程おかけ直し下さい	1フレーズ送出		
注2. 設定した時間を経過した場合、回線開放します。				



エレベータ種別	66	通話方式	要素	一
<b>概要</b> エレベータホン機能の通話方式を設定します。				
<b>設定項目</b>				
設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01 通話形式	プレストーク/ハンズフリー	ハンズフリー	通話形式を設定	注1
02 受話レベル	0~7 (0:小~7:大)	0	本項目(01)が「ハンズフリー」の場合、受話レベルを設定	注2
03 受話感度	0~7	3	本項目(01)が「ハンズフリー」の場合、受話感度を設定	注3
04 送話感度	0~7	3	本項目(01)が「ハンズフリー」の場合、送話感度を設定	注3
05 長時間通話監視タイマ	1~255 (分)	6 (6分)	通話監視時間を設定	注4
<b>記事</b>				
注1. 通話形式は、以下の通りです。				
設定内容	内容説明			
プレストーク	DTMF[2]を受信すると、かご内の音声をセンターに送出します。 DTMF[3]を受信すると、センターからの音声がかご内に送出されます。 (プレストークに設定した場合、本状態から通話を開始します。)			
ハンズフリー	DTMF[9]を受信すると、センターとかご内で相互通話ができます。			
注2. 受話レベルは、以下を参考に設定し、実際に通話して確認して下さい。				
設定値	ゲイン			
0	0			
1	2dB UP			
2	4dB UP			
3	6dB UP			
4	8dB UP			
5	10dB UP			
6	12dB UP			
7	14dB UP			
注3. 受話感度、送話感度は、実際に通話して音声の頭切れ等が発生した場合、調整してください。				
①かご内からの送話音が頭切れする場合 送話感度を上げるか、受話感度を下げることにより改善されます。				
②かご内への受話音が頭切れする場合 受話レベルのゲインをUP側に調整することにより改善されます。 頭切れが改善されない場合は、送話感度を下げるか、受話感度を上げることにより改善されます。				
<b>受話/送話感度</b>				
設定値	感度			
0	DOWN			
1	↑			
2				
3	0			
4				
5	↓			
6				
7	UP			
注4. 設定した時間を経過すると終了予告音「ピーピー…」を送出し30秒後に通話を切断します。 尚、終了予告音送出中に以下の操作をすると長時間通話監視タイマをリスタート(通話延長)します。				
①通報先よりDTMF信号「4」または「#」を受信した時				
<b>LCD表示</b>				
66 : E・ツウワホウシキ 01 : ツウワケイシキ プレストーク →ハンズフリー				
66 : E・ツウワホウシキ 02 : シュウレベル [0-7] : 0 → ■				
66 : E・ツウワホウシキ 03 : シュウカント [0-7] : 3 → ■				
66 : E・ツウワホウシキ 04 : ソウワカント [0-7] : 3 → ■				
66 : E・ツウワホウシキ 05 : ツウワカンシタイマ [1-255 (m)] : 6 → ■				

エレベータ	種別	67	子機設定		要素	—												
<div>概要</div> <p>エレベータインターホン子機の設定をします。</p> <p>注意：子機の設定は、ソフト設定（本種別の設定）とハード設定（EVUユニットの設定）が必要です。</p> <p>ハード設定については、「7.5 ユニットの設定・取付 7.5.1各ユニット部のスイッチ設定およびコネクタの説明 (3) CSD7-EVU-A1」(P13)を参照願います。</p>																		
<div>設定項目</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 子機タイプ</td> <td>TE型/EZ型</td> <td>TE型</td> <td>子機タイプを設定 <span style="float:right">注1</span></td> </tr> <tr> <td>02 呼出ボタン押下検出タイマ</td> <td>5~6000 (x10ms)</td> <td>5秒</td> <td>呼出ボタンの押下検出時間を設定</td> </tr> </tbody> </table>							設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 子機タイプ	TE型/EZ型	TE型	子機タイプを設定 <span style="float:right">注1</span>	02 呼出ボタン押下検出タイマ	5~6000 (x10ms)	5秒	呼出ボタンの押下検出時間を設定
設定項目	設定内容	初期値	項目説明															
01 子機タイプ	TE型/EZ型	TE型	子機タイプを設定 <span style="float:right">注1</span>															
02 呼出ボタン押下検出タイマ	5~6000 (x10ms)	5秒	呼出ボタンの押下検出時間を設定															
<div>記 事</div> <p>注1. 接続したエレベータインターホン子機タイプを設定してください。</p>				<div>LCD表示</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">         67 : E・コキセッテイ          01 : コキタイプ            → TE            EZ       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         67 : E・コキセッテイ          02 : オウカケンシュツタイマ            [ 5 - 6000 ( x 10ms ) ]            : 500 → ■       </div>														

FAX	種別	70	FAX基本	要素	一。																																																						
概要																																																											
FAX通報時の各帳票フォーマットや設置場所名、通報先名の設定をします。																																																											
注意:項目(02)～(16)は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。 設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。 誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。																																																											
設定項目																																																											
<table><tr><th>設定項目</th><th>設定内容</th><th>初期値</th><th>項目説明</th></tr><tr><td>01 設置場所名</td><td>半角文字、全角文字</td><td rowspan="2">注1</td><td>帳票に表示する設置場所名を設定します。注2</td></tr><tr><td>02 通報先</td><td>項目毎に【MAX:半角24文字(漢字12文字)】</td><td>帳票に表示する通報先名を設定します。注2</td></tr><tr><td>03 使用しません</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="14">キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。</td></tr><tr><td>04 使用しません</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>05 帳票01</td><td>—</td><td>月報帳票</td></tr><tr><td>06 帳票02</td><td>—</td><td>日報帳票</td></tr><tr><td>07 帳票03</td><td>—</td><td>異常復旧通報帳票</td></tr><tr><td>08 帳票04</td><td>—</td><td>未設定</td></tr><tr><td>09 帳票オブジェクト1</td><td>—</td><td>標準ヘッダ</td></tr><tr><td>10 帳票オブジェクト2</td><td>—</td><td>通報表示部</td></tr><tr><td>11 帳票オブジェクト3</td><td>—</td><td>動作履歴部</td></tr><tr><td>12 帳票オブジェクト4</td><td>—</td><td>未設定</td></tr><tr><td>13 帳票オブジェクト5</td><td>—</td><td>未設定</td></tr><tr><td>14 帳票オブジェクト6</td><td>—</td><td>未設定</td></tr><tr><td>15 帳票オブジェクト7</td><td>—</td><td>未設定</td></tr><tr><td>16 帳票オブジェクト8</td><td>—</td><td>未設定</td></tr></table>						設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 設置場所名	半角文字、全角文字	注1	帳票に表示する設置場所名を設定します。注2	02 通報先	項目毎に【MAX:半角24文字(漢字12文字)】	帳票に表示する通報先名を設定します。注2	03 使用しません	—	—	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	04 使用しません	—	—	05 帳票01	—	月報帳票	06 帳票02	—	日報帳票	07 帳票03	—	異常復旧通報帳票	08 帳票04	—	未設定	09 帳票オブジェクト1	—	標準ヘッダ	10 帳票オブジェクト2	—	通報表示部	11 帳票オブジェクト3	—	動作履歴部	12 帳票オブジェクト4	—	未設定	13 帳票オブジェクト5	—	未設定	14 帳票オブジェクト6	—	未設定	15 帳票オブジェクト7	—	未設定	16 帳票オブジェクト8	—	未設定
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																																																								
01 設置場所名	半角文字、全角文字	注1	帳票に表示する設置場所名を設定します。注2																																																								
02 通報先	項目毎に【MAX:半角24文字(漢字12文字)】		帳票に表示する通報先名を設定します。注2																																																								
03 使用しません	—	—	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。																																																								
04 使用しません	—	—																																																									
05 帳票01	—	月報帳票																																																									
06 帳票02	—	日報帳票																																																									
07 帳票03	—	異常復旧通報帳票																																																									
08 帳票04	—	未設定																																																									
09 帳票オブジェクト1	—	標準ヘッダ																																																									
10 帳票オブジェクト2	—	通報表示部																																																									
11 帳票オブジェクト3	—	動作履歴部																																																									
12 帳票オブジェクト4	—	未設定																																																									
13 帳票オブジェクト5	—	未設定																																																									
14 帳票オブジェクト6	—	未設定																																																									
15 帳票オブジェクト7	—	未設定																																																									
16 帳票オブジェクト8	—	未設定																																																									
記 事				LCD表示																																																							
注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。 初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧ください。				<div>70 : FAXキホン 01 : セツチバ シヨ ■</div>																																																							
注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧ください。				<div>70 : FAXキホン 02 : ツウホウサキ ■</div> <div>・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。 ・項目(03)以降はキーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。</div>																																																							

FAX	種別	71	FAXセンサ	要素	01-08, 41-44																						
<p><b>概要</b></p> <p>各センサ入力(「種別(36):センサ入力」)の名称等を設定をします。  (「種別(37):アナログ入力」をセンサとして使用している場合も本種別の要素(41)～(44)で設定します)</p> <p>注意:項目(01)は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。  設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。  誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。</p>																											
<p><b>設定項目</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 センサ種別</td> <td>無/異常復旧/パルス積算/時間積算</td> <td rowspan="5">注1</td> <td>キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。</td> </tr> <tr> <td>02 センサ名称</td> <td>半角文字、全角文字</td> <td>帳票に表示するセンサ名称を設定します。 注2</td> </tr> <tr> <td>03 正常時名称</td> <td>項目毎に[ MAX:半角20文字(漢字10文字) ]</td> <td>帳票に表示する正常時名称を設定します。 注2</td> </tr> <tr> <td>04 異常時名称</td> <td></td> <td>帳票に表示する異常時名称を設定します。 注2</td> </tr> <tr> <td>05 単位名称</td> <td>半角文字、全角文字 [ MAX:半角16文字(漢字8文字) ]</td> <td rowspan="2">キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。</td> </tr> <tr> <td>06 計算式</td> <td>記号、四則演算、数字</td> </tr> </tbody> </table>						設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 センサ種別	無/異常復旧/パルス積算/時間積算	注1	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	02 センサ名称	半角文字、全角文字	帳票に表示するセンサ名称を設定します。 注2	03 正常時名称	項目毎に[ MAX:半角20文字(漢字10文字) ]	帳票に表示する正常時名称を設定します。 注2	04 異常時名称		帳票に表示する異常時名称を設定します。 注2	05 単位名称	半角文字、全角文字 [ MAX:半角16文字(漢字8文字) ]	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	06 計算式	記号、四則演算、数字
設定項目	設定内容	初期値	項目説明																								
01 センサ種別	無/異常復旧/パルス積算/時間積算	注1	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。																								
02 センサ名称	半角文字、全角文字		帳票に表示するセンサ名称を設定します。 注2																								
03 正常時名称	項目毎に[ MAX:半角20文字(漢字10文字) ]		帳票に表示する正常時名称を設定します。 注2																								
04 異常時名称			帳票に表示する異常時名称を設定します。 注2																								
05 単位名称	半角文字、全角文字 [ MAX:半角16文字(漢字8文字) ]		キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。																								
06 計算式	記号、四則演算、数字																										
<p><b>記 事</b></p> <p>注1. 「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。  初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧ください。</p> <p>注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧ください。</p>				<p><b>LCD表示</b></p> <p>nn:要素No(01～08, 41～44)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 71: FAXセンサnn  01: シュヘツ  →ナシ  イシ ヨウフツキユウ  パ ルス  シ カン </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 71: FAXセンサnn  02: センサメイ  ■ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 71: FAXセンサnn  03: セイジ ヨウシ  ■ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 71: FAXセンサnn  04: イシ ヨウシ  ■ </div> <p>・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。</p> <p>・項目(05)以降はキーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。</p>																							

FAX	種別	72	FAXアナログ(1/2)	要素	01~04
-----	----	----	--------------	----	-------

## 概要

各アナログ入力(「種別(37):アナログ入力」)の名称等を設定をします。  
 (「種別(37):アナログ入力」をセンサとして使用している場合は、「種別(71):FAXセンサの要素41~44」で設定します。)

注意:項目(01)は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。

設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。

誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。

## 設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 アナログセンサ種別	無/しきい値/積算値		キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。
02 アナログセンサ名称			帳票に表示するアナログセンサ名称を設定します。 注2
03 正常時名称			
04 HH/異常時名称			
05 H時名称			
06 L時名称	半角文字、全角文字		
07 LL時名称	項目毎に[MAX:半角20文字(漢字10文字)]		
08 断線時名称			帳票に表示する各状態名称を設定します。 注2
09 HH復旧時名称			
10 H復旧時名称			
11 L復旧時名称			
12 LL復旧時名称			
13 断線復旧時名称			
14 単位名称	半角文字、全角文字 [MAX:半角16文字(漢字8文字)]		アナログ値または積算値に対する単位を設定します。 注2
15 計算式	記号、四則演算、数字		アナログ値または積算値に対する演算式を設定します。 注3

## 記事

注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。

初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。

注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。

注3. 計算式は以下の記号を使用して設定して下さい。

記号	内容説明
\$	本要素の値を示します。 (本要素のアナログ値や積算値を示します)
+ - / *	四則演算記号

例: \$ \* 100 (本要素のアナログ値または積算値を100倍する場合)

## LCD表示

nn:要素No(01~04)

72:FAXアナログ nn  
 01:シュベツ  
 →ナシ  
 シキイチ  
 セキサン

72:FAXアナログ nn  
 02:センサメイ

72:FAXアナログ nn  
 03:セイジ ヨウジ

72:FAXアナログ nn  
 04:HH/イジ ヨウジ

72:FAXアナログ nn  
 05:Hジ

FAX	種別	72	FAXアナログ(2/2)	要素	01-04
記事				LCD表示	
				nn:要素No(01~04)	
				72:FAXアナログ`nn 06:Lシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 07:LLシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 08:タ`ンセンシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 09:HHフツキュウシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 10:Hフツキュウシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 11:Lフツキュウシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 12:LLフツキュウシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 13:タ`ンセンフツキュウシ` ■	
				72:FAXアナログ`nn 14:タンイ ■	
				72:FAXアナログ`nn 15:ケイサンシキ ■	
				<p>・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。</p>	

FAX	種別	73	FAX AND		要素	01→05
概要						
各AND通報(「種別(40):AND通報」)の名称等を設定をします。						
設定項目						
設定項目		設定内容	初期値	項目説明		
01	FAX AND種別	無／有	注1	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。注2		
02	センサ名称	半角文字、全角文字		帳票に表示するAND名称を設定します。注3		
03	正常時名称	項目毎に[ MAX:半角20文字(漢字10文字) ]		帳票に表示する正常時名称を設定します。注3		
04	異常時名称			帳票に表示する異常時名称を設定します。注3		
記 事						
注1. 「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。 初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧ください。				LCD表示		
注2 動作履歴の記録対象とする場合に設定します。				nn:要素No(01～05) 73:FAX・ANDnn 01:シュベツ 一ナシ アリ		
注3. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧ください。				73:FAX・ANDnn 02:センサメイ ■		
				73:FAX・ANDnn 03:セイシ ヨウシ ■		
				73:FAX・ANDnn 04:イシ ヨウシ ■		
				・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。		

FAX	種別	74	FAXシステム	要素	01-06
概要					
その他通報(定時通報、停電復電通報等)の名称等を設定をします。					
注意:その他通報は、以下の通り本種別の各要素に割当てています。					
要素		種別及び通報名			
01		種別(47):モード切替通報			
02		種別(43):停電・復電通報			
03		種別(44):ローバッテリー通報			
04		種別(45):蓄電池交換通報			
05		使用しません			
06		種別(41):定時通報			
設定項目					
設定項目		設定内容		初期値	項目説明
01	FAXシステム種別	無／有		注1	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。注2
02	センサ名	半角文字、全角文字			帳票に表示する名称を設定します。注3
03	正常時	項目毎に[ MAX:半角20文字(漢字10文字) ]			帳票に表示する正常時名称を設定します。注3
04	異常時				帳票に表示する異常時名称を設定します。注3
記事					
注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。 初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧ください。					
注2 動作履歴の記録対象とする場合に設定します。					
注3. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧ください。					
LCD表示					
nn:要素No(01～06)					
74 : FAXシステムnn 01 : シュベ`ツ →ナシ アリ					
74 : FAXシステムnn 02 : センサメイ ■					
74 : FAXシステムnn 03 : セイシ`ヨウシ` ■					
74 : FAXシステムnn 04 : イシ`ヨウシ` ■					
・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。					



FAX	種別	75	FAX出力接点	要素	01-04
-----	----	----	---------	----	-------

概要

各出力接点(「種別(35):出力接点」)の名称等の設定をします。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 FAX出力接点種別	無/有	注1	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。注2
02 接点名称	半角文字、全角文字 項目毎に[ MAX:半角20文字(漢字10文字) ]		帳票に表示する出力接点名称を設定します。注3

記事

注1. 「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。  
初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧ください。

注2 動作履歴の記録対象とする場合に設定します。

注3. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧ください。

LCD表示

nn:要素No(01~04)

75:Fシュツリョクセツテンnn  
01:シュベツ  
→ナシ  
アリ

75:Fシュツリョクセツテンnn  
02:メイショウ  
■

・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。

FAX	種別	76	FAX計算	要素	01-08										
概 要															
<p>帳票等で使用する計算の設定をします。</p> <p>各センサが蓄積している積算値等を使用し計算式を設定できます。</p> <p>その結果は帳票に表示したり、統計データとして使用することができます。</p> <p>注意:要素(04)～(08)は、キーボードメンテナンスでは使用しません。</p> <p>また項目(04は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。</p> <p>設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。</p> <p>誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。</p>															
設定項目															
設定項目		設定内容	初期値	項目説明											
01	FAX計算名	半角文字、全角文字 項目毎に[ MAX:半角20文字(漢字10文字) ]	注1	計算名称を設定します。 注2											
02	単位	半角文字、全角文字 注1 [ MAX:半角■文字(漢字4文字) ]		計算式に対する単位を設定します。 注2											
03	計算式	記号、四則演算、数字		計算式を設定します。 注3											
04	計算種別	直値/差分		キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。											
記 事															
<p>注1.「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。</p> <p>初期値および設定に関しては、「10. FAX通報機能」をご覧下さい。</p> <p>注2. 設定可能文字および設定方法は、「10. 4 設定文字」をご覧下さい。</p> <p>注3. 計算式は以下の記号を使用して設定して下さい。</p>															
<table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>内容説明</th> </tr> <tr> <td>Axx</td> <td>xxは種別71の要素Noを示します。 (指定した要素Noの積算値を示します) ※ 種別71で設定した計算値ではありません。</td> </tr> <tr> <td>Bxx</td> <td>xxは種別72の要素Noを示します。 (指定した要素Noのアナログ値や積算値を示します) ※ 種別72で設定した計算値ではありません。</td> </tr> <tr> <td>Fxx</td> <td>xxは本種別の要素Noを示します。 (指定した要素Noの計算値を示します)</td> </tr> <tr> <td>+ - / *</td> <td>四則演算記号</td> </tr> </table> <p>例:A01*100(センサ01の積算値を100倍にする場合)</p>						記号	内容説明	Axx	xxは種別71の要素Noを示します。 (指定した要素Noの積算値を示します) ※ 種別71で設定した計算値ではありません。	Bxx	xxは種別72の要素Noを示します。 (指定した要素Noのアナログ値や積算値を示します) ※ 種別72で設定した計算値ではありません。	Fxx	xxは本種別の要素Noを示します。 (指定した要素Noの計算値を示します)	+ - / *	四則演算記号
記号	内容説明														
Axx	xxは種別71の要素Noを示します。 (指定した要素Noの積算値を示します) ※ 種別71で設定した計算値ではありません。														
Bxx	xxは種別72の要素Noを示します。 (指定した要素Noのアナログ値や積算値を示します) ※ 種別72で設定した計算値ではありません。														
Fxx	xxは本種別の要素Noを示します。 (指定した要素Noの計算値を示します)														
+ - / *	四則演算記号														
LCD表示															
nn:要素No(01~32)															
<div> 76:FAXケイサンnn  01:ケイサンメイ  ■ </div>															
<div> 76:FAXケイサンnn  02:タンイ  ■ </div>															
<div> 76:FAXケイサンnn  03:ケイサンシキ  ■ </div>															
<p>・全角文字が設定されている場合、意味不明の文字が表示される場合がありますが、問題ありません。</p> <p>・項目(04)は、キーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。</p>															

FAX	種別	77	FAX統計		要素	01-32												
<div>概 要</div> <p>帳票等で使用する統計データの設定をします。 あるセンサが蓄積している積算値の1時間毎の1日分データ、1日毎の1ヶ月分データ等の統計データを設定します。</p> <p>注意: 本種別は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。 また項目 (04) は、キーボードメンテナンスでは設定変更しないで下さい。 設定変更するとFAX機能が正常に動作できなくなる場合があります。 誤って設定変更した場合は、「システムデータ保存」を行わずにキーボードメンテナンスを終了して下さい。</p>																		
<div>設定項目</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>初期値</th> <th>項目説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01 適用センサ</td> <td>01-XX~06-XX</td> <td rowspan="3">注1</td> <td rowspan="3">キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。</td> </tr> <tr> <td>02 統計形式</td> <td>01-06</td> </tr> <tr> <td>03 付加情報</td> <td>01-05</td> </tr> </tbody> </table>							設定項目	設定内容	初期値	項目説明	01 適用センサ	01-XX~06-XX	注1	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	02 統計形式	01-06	03 付加情報	01-05
設定項目	設定内容	初期値	項目説明															
01 適用センサ	01-XX~06-XX	注1	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。															
02 統計形式	01-06																	
03 付加情報	01-05																	
<div>記 事</div> <p>注1. 「小規模ポンプ場用標準設定」が初期値として設定されています。</p>				<div>LCD表示</div> <p>・本種別は、キーボードメンテナンスでは、使用しませんので記載しません。</p>														

## 10. FAX通報機能

### 10. 1 標準設定

FAX通報機能を動作させるためには、設定項目「システムデータ種別(01)～(47)」及びFAX通報機能用の設定項目「システムデータ種別(70)～(77)」を設定する必要があります。  
種別(70)～(77)の主な設定内容は、各帳票のフォーマット、各帳票のデータ集計方法(統計方法等)各帳票に表示する各名称(設置場所名、通報先名等)などですが、標準設定として「小規模ポンプ場」の運用を想定した帳票フォーマット、データ集計方法が設定されています。  
本体のテンキーを使用して設定する方法(キーボードメンテナンス)では、「種別(01)～(47)」の設定と「種別(70)～(77)」で各名称等を設定することでFAX通報機能を動作させることができます。  
標準の各帳票フォーマット(月報、日報、異常復旧通報)は、「10. 2 帳票フォーマット」をご覧ください。  
キーボードメンテナンスで設定するデータは、「10. 3 設定項目」をご覧ください。  
キーボードメンテナンスで設定可能な文字は、「10. 4 設定文字」をご覧ください。

#### 注意:

- キーボードメンテナンスでは、各帳票のフォーマットや各種データの統計等は設定できません。  
また、各名称設定は、半角文字(カタカナ・英数字・記号等)のみとなります。  
保守端末(「保守用FD」をインストールしたパソコン)を使用すると、各名称を全角文字(漢字・ひらがな等:JIS第1水準)で設定することもでき、また帳票のフォーマットも数種類、用意しています。  
※:全角文字はJIS第1水準文字です。ただし、ギリシャ文字、ロシア文字、けい線素片は設定できません。
- FAX通報機能を設定した後に必ずテスト通報試験を行って下さい。  
尚、テスト通報試験の方法は、保守用FDの取扱説明書を参照して下さい。
- 一括通報について、FAX通報でも一括通報は可能ですが、7つ以上の通報要因が一括通報される場合、6つまでの通報要因を一括通報し、残りの通報要因は通報されません。

種別(70)～(77)は、以下のような接続および運用を想定したシステムデータが設定されています。

#### ◆ 接続機器

- ① センサ入力1, 2, 3にポンプ1の起動信号(起動中常時出力する無電圧接点)を接続します。  
(センサ入力1で運転時間、センサ入力2で運転回数、センサ入力3で動作状態を蓄積します。)
- ② センサ入力5, 6, 7にポンプ2の起動信号(起動中常時出力する無電圧接点)を接続します。  
(センサ入力5で運転時間、センサ入力6で運転回数、センサ入力7で動作状態を蓄積します。)
- ③ センサ入力4, 8, 41～43に各々センサを接続します。  
(センサ入力4, 8, 41～43の異常や復旧により通報します。)  
※: センサ入力41～43は、アナログ入力1～3をセンサ入力として使用している場合のセンサ番号です。
- ④ アナログ入力4にアナログセンサ(電圧または電流出力)を接続します。  
(電圧または電流値を監視します。)  
※接続できるアナログセンサの規格は、「6. 接続(周辺)機器の規格」をご覧ください。

#### ◆ 運用

- ① 2台のポンプの運転時間・作動回数および各種動作履歴を月報帳票(1ヶ月1回)でFAX通報します。
- ② 2台のポンプの運転時間・作動回数を日報帳票(1日1回)でFAX通報します。
- ③ センサ入力4, 8, 41～43の異常や復旧により通報し、通報内容およびセンサ入力4, 8, 41～43、アナログ入力4の状態および2台のポンプの動作状態(トレンド)を異常復旧通報帳票で通報します。
- ④ 2台のポンプの総運転時間、総運転回数(通報する積算値を設定)により通報します。

#### 注意:④の通報について

- ④の通報は、積算値をオーバーフローさせないための通報です。積算値がオーバーフローすると月報や日報のデータ集計が正常にできなくなります。
- ④の通報を受信した場合は、積算値をクリアする必要があります。積算値をクリアする方法については、「8. キーボードメンテナンス」や「11. 参考資料のテレコントロール機能」をご覧ください。  
(よくお読みの上、実行して下さい。)
- また、積算値をクリアすることにより、集計データに多少の誤差が生じる場合があります。

## 10. 2 帳票フォーマット

各帳票フォーマットは、以下の通りです。以下を参考に名称等を設定して下さい。

### (1) 月報帳票「種別(70):FAX基本/項目(05):帳票01」に設定済み

前月のデータ集計結果と動作履歴(最大:100件)が表示されます。

動作履歴は、最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきます。

「種別(70)/項目(01)」で設定した名称

「種別(76)要素(01)」で設定した単位及び計算結果

「種別(76)要素(02)」で設定した単位及び計算結果

「種別(76)要素(03)」で設定した単位及び計算結果

「種別(70)/項目(02)」で設定した名称

1998年10月 1日(木)

カンサキ

承認	確認	確認	担当

### 9月 報告書

【定時記録】

日付	1号ポンプ			2号ポンプ			合計流量 (m3)
	運転時間 (分)	運転回数 (回)	流量 (m3)	運転時間 (分)	運転回数 (回)	流量 (m3)	
9- 1	46	4	55	46	4	55	110
9- 2	89	8	107	66	7	79	186
9- 3	50	5	60	57	6	68	128
9- 4	75	7	90	71	7	85	175
9- 5	42	3	40	48	4	58	108
9- 6	44	7	83	69	6	83	166
9- 7	50	8	71	40	7	40	152
9- 8	63	8	76	75	7	40	166
9- 9	51	6	61	84	6	77	138
9-10	76	9	91	79	4	40	186
9-11	42	3	50	49	4	59	109
9-12	51	5	61	40	4	62	124
9-13	38	3	46	53	4	64	109
9-14	86	8	103	62	7	74	178
9-15	40	10	107	78	9	94	200
9-16	51	5	61	53	6	64	125
9-17	39	4	47	49	5	40	106
9-18	81	9	97	40	8	100	197
9-19	48	5	58	40	6	76	133
9-20	40	8	82	40	7	96	178
9-21	42	4	50	47	4	56	107
9-22	36	4	43	57	5	68	112
9-23	59	7	71	62	6	74	145
9-24	46	5	55	63	5	76	131
9-25	59	6	71	58	5	70	140
9-26	41	4	49	42	4	50	100
9-27	38	4	46	51	5	61	107
9-28	57	7	68	61	6	73	142
9-29	54	6	65	66	6	79	144
9-30	42	5	50	48	5	58	108
合計	1687	176	2024	1820	174	2184	4208
累計(時間) 78				80			

【動作履歴】

発生日	発生時間	センサ名称	状態
9- 2	10:00	センサ4	異常
9- 2	10:05	センサ4	正常
9- 5	18:30	センサ8	異常
9- 5	18:50	センサ8	正常
9-13	08:00	7104	LL異常
9-13	09:00	7104	LL復旧

「種別(71)～(75)」の正常時名称、異常時名称で設定した名称  
「種別(71)～(75)」のセンサ名称で設定した名称  
「種別(71)～(75)」で「無」以外を設定した要因が記録対象

注1. 運転時間が59秒以内の場合は、表示上は「0」と表示されますが、合計値には加算されています。

日毎の表示値を加算した値と合計値の表示値とは一致しない場合があります。

注2. 累計は、通報日の通報時刻時点での総運転時間です。

注3. 動作履歴は、通報日の通報時刻時点での全動作履歴(最大100件)を表示します。

(2)日報帳票「種別(70):FAX基本/項目(06):帳票02」に設定済み  
前日データ集計結果が表示されます。

「種別(70)/項目(01)」で設定した名称

「種別(76)要素(03)」で設定した単位及び計算結果

「種別(70)/項目(02)」で設定した名称

1998年10月 1日(木)

カシオ

承認	確認	確認	担当

9月30日 報告書

【定時記録】

時刻	1号ポンプ		2号ポンプ		合計流量 (m3)
	運転時間 (分)	運転回数 (回)	運転時間 (分)	運転回数 (回)	
0時00分	9	1	0	0	9
1時00分	0	0	12	1	1
2時00分	0	0	0	0	0
3時00分	0	0	0	0	0
4時00分	8	1	10	1	9
5時00分	0	0	0	0	0
6時00分	0	0	0	0	0
7時00分	0	0	0	0	0
8時00分	0	0	0	0	0
9時00分	10	1	0	0	10
10時00分	0	0	0	0	0
11時00分	0	0	10	1	1
12時00分	0	0	0	0	0
13時00分	0	0	0	0	0
14時00分	12	1	0	0	12
15時00分	0	0	0	0	0
16時00分	0	0	9	1	1
17時00分	0	0	0	0	0
18時00分	9	1	0	0	9
19時00分	0	0	13	1	1
20時00分	0	0	0	0	0
21時00分	0	0	0	0	0
22時00分	0	0	0	0	0
23時00分	7	1	0	0	7
合計	55	6	54	6	60
累計(時間)	51		71		

注1. 運転時間が59秒以内の場合は、表示上は「0」と表示されますが、合計値には加算されています。

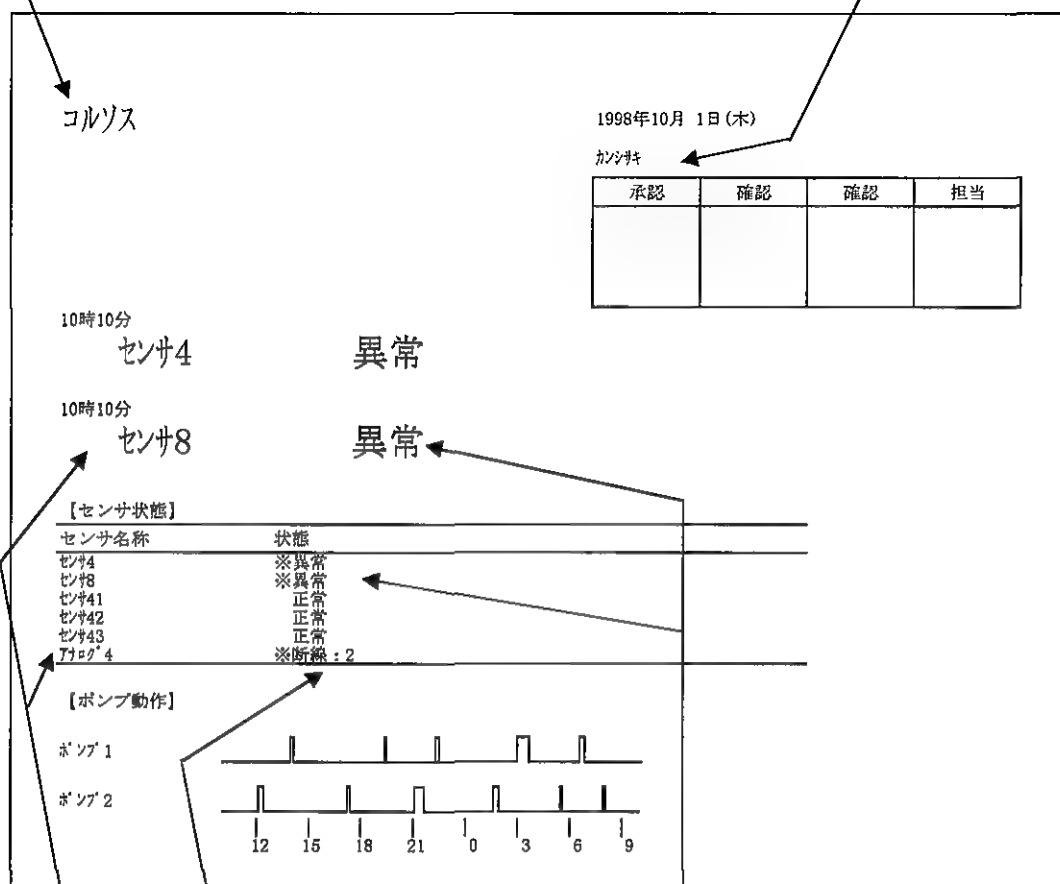
時間毎の表示値を加算した値と合計値の表示値とは一致しない場合があります。

注2. 累計は、通報日の通報時刻時点での総運転時間です。

(3) 異常復旧通報帳票「種別(70):FAX基本/項目(07):帳票03」に設定済み  
通報内容、その他入力状態およびポンプの動作状態が表示されます。

「種別(70)/項目(01)」で設定した名称

「種別(70)/項目(02)」で設定した名称



「種別(72)要綱(04)」で設定した計算結果及び単位

「種別(71)~(75)」の正常時名称、異常時名称で設定した名称

「種別(71)~(75)」のセンサ名称で設定した名称

- 注1. 通報内容は、一括通報時、複数(最大6)の要因を表示します。(上記は、2つの要因の一括通報の例です)
- 注2. センサ状態に表示するセンサは、帳票フォーマットで設定するため、キーボードメンテナンスでは変更できません。
- 注3. センサ状態に表示されている状態は、通報開始時の状態ですので、通報内容と異なる場合があります。  
センサ状態に表示されている状態で、「※」印は異常であることを示します。(「※」印は変更できません)
- 注4. ポンプ動作は、24時間で最大70回の変化履歴を表示します。最大値を超える変化が発生した場合は、古い変化履歴から上書きしていきます。  
24時間以内で最大値を超える変化が発生した場合は、ポンプ動作が24時間分表示されない場合があります。

### 10. 3 設定項目

キーボードメンテナンスでシステムデータ設定する場合は、帳票フォーマット等は変更できないため、「小規模ポンプ場用標準設定」に合わせた設定をする必要があります。

設定する項目は、下表「システムデータ設定例」の通りです。

注意事項欄および「9項 システムデータ設定内容」をよくお読みの上、設定して下さい。

下表にない設定項目については、初期値で問題ありませんが、運用に応じて設定変更して下さい。

#### 注意:

- 下表のように行わないと、FAX通報機能が正常に動作しない場合があります。
- 待機状態より「設定」キーを3秒以上押すと、キーボードメンテナンス状態になりますが、FAXユニットを実装している場合、キーボードメンテナンス状態になるまでに約50秒程度かかる場合があります。
- 新規設置時の電源投入後やシステムオールリセット後、本装置はキーボードメンテナンス状態（日付設定）になりますが、FAXユニットを実装している場合、待機状態に戻るためには、最低限下表（1／3）の（※）印のある設定項目を設定し「システムデータ保存」を行なう必要があります。

システムデータ設定例（1／3）

設定種別		要素 No.	設定項目		設定データ ( ): 初期値	設定時の注意事項
No.	種別名称		No.	項目名称		
01	IDコード	—	01(※)	ID番号	(未設定)	必ず設定して下さい。
30	通報先	01	01	電話番号	(未設定)	必ず設定して下さい。 要素Noは、運用に応じて変更して下さい。
			02	通報方式	FAX	必ずこの通りに設定して下さい。
			03	応答検出方式	(極性反転)	運用に応じて、設定変更して下さい。
31	通報グループ	01	01	通報先No. (モード1)	(未設定)	必ず設定して下さい。 要素Noは、運用に応じて変更して下さい。 その場合、各通報装置の通報グループNoを設定変更して下さい。
36	センサ入力	01, 05	01(※)	異常モード	時間積算	必ずこの通りに設定して下さい。 項目(05): 異常積算値は、運用に応じて変更して下さい。
			05	異常積算値	60000	
			06	定時通報時積算値クリア	無	
			07	モード1通報	有	
		02, 06	01(※)	異常モード	パルス積算	
			05	異常積算値	60000	
			06	定時通報時積算値クリア	無	
			07	モード1通報	有	
		03, 07	01	異常モード	(メーク)	
			07	モード1通報	有	
		04, 08	01	異常モード	(メーク)	
			07	モード1通報	有	
37	アナログ入力	04	01(※)	端子用途	アナログ	必ずこの通りに設定して下さい。
			05	しきい値1	(未設定)	運用に応じて、設定して下さい。
			11	しきい値2	(未設定)	
			17	しきい値3	(未設定)	
			23	しきい値4	(未設定)	
			29	しきい値5	(20%)	
38	アナログ入力 定時記録・印刷	01	01(※)	記録先	FAX	必ずこの通りに設定して下さい。
			02	時間間隔	(60分)	運用に応じて、設定変更して下さい。
			03	開始時刻	(00:00)	
42	定時状態通報	01	01	通報動作	有	日報が必要な場合は、必ずこの通りに設定して下さい。 項目(03): 通報時刻は、運用に応じて設定して下さい。
			02	通報方式	定時刻	
			03	通報時刻1	(未設定)	
			10	帳票形式	2	
		02	01	通報動作	有	月報が必要な場合は、必ずこの通りに設定して下さい。 項目(08): 定日設定、(09): 定日時刻は、運用に応じて設定して下さい。
			02	通報方式	定日	
			08	定日設定	(1)	
			09	定日時刻	(10:00)	
			10	帳票形式	1	



システムデータ設定例(2/3)

設定種別		要素 No.	設定項目		設定データ ( ):初期値	設定時の注意事項	
No.	種別名称		No.	項目名称			
70	FAX基本	—	01	設置場所名称	(コルソス)	運用に応じて、設定変更して下さい。	
			02	通報先名称	(カンシサキ)		
			03 ～ 16	各帳票フォーマットが設定済みですので、絶対に設定変更しないで下さい。			
71	FAXセンサ	01～08 41～43	01	センサ種別	要素01,05は(時間積算) 要素02,06は(パルス積算) 要素03,04,07,08, 41～43 は(異常復旧)	設定変更しないで下さい。	
			02	センサ名称	要素01,02,03は(ポンプ'1) 要素05,06,07は(ポンプ'2) 要素04は(センサ4) 要素08は(センサ8) 要素41は(センサ41) 要素42は(センサ42) 要素43は(センサ43)	運用に応じて、設定変更して下さい。	
			03	正常時名称	全要素 (正常)	設定変更しないで下さい。	
			04	異常時名称	全要素 (異常)		
			05	単位名称	要素01,05は((分)) 要素02,06は((回)) 要素04,08, 41～43は (未設定)		
			06	計算式	要素01,05は (\$/6):秒→分の変換式 要素02～04,06～08, 41～43は(未設定)		
72	FAXアナログ	04	01	アナログセンサ種別	(しきい値)	必ずこの通りに設定して下さい。	
			02	アナログセンサ名称	(アナログ'4)	運用に応じて、設定変更して下さい。	
			03	正常時名称	(正常)		
			04	HH/異常時名称	(HH異常)		
			05	H時名称	(H異常)		
			06	L時名称	(L異常)		
			07	LL時名称	(LL異常)		
			08	断線時名称	(断線)		
			09	HH復旧時名称	(HH復旧)		
			10	H復旧時名称	(H復旧)		
			11	L復旧時名称	(L復旧)		
			12	LL復旧時名称	(LL復旧)		
			13	断線復旧時名称	(断線復旧)		
			14	単位名称	(未設定)		
			15	計算式	(未設定)		
73	FAX・AND	01～05	01	AND種別	全要素 (無)	動作履歴の記録対象とする場合は、設定変更して下さい。	
			02	センサ名称	要素01は(AND1) 要素02は(AND2) 要素03は(AND3) 要素04は(AND4) 要素05は(AND5)		
			03	正常時名称	全要素 (正常)		
			04	異常時名称	全要素 (異常)		

システムデータ設定例(3/3)

設定種別		要素 No.	設定項目		設定データ ( ):初期値	設定時の注意事項
No.	種別名称		No.	項目名称		
74	FAXシステム	01~06	01	システム種別	全要素 (無)	動作履歴の記録対象とする場合は、設定変更して下さい。
			02	センサ名称	要素01は(モード切替) 要素02は(電源) 要素03は(ローバッテリー) 要素04は(バッテリー) 要素05は(使用しません) 要素06は(定時通報)	
			03	正常時名称	要素01は(モード1) 要素02は(復電) 要素03は(正常) 要素04は(不要) 要素05,06は(使用しません)	
			04	異常時名称	要素01は(モード2) 要素02は(停電) 要素03は(電圧低下) 要素04は(交換必要) 要素05,06は(使用しません)	
75	FAX出力接点	01~04	01	システム種別	全要素 (無)	動作履歴の記録対象とする場合は、設定変更して下さい。
			02	センサ名称	要素01は(シュツヨクセッテン1) 要素02は(シュツヨクセッテン2) 要素03は(シュツヨクセッテン3) 要素04は(シュツヨクセッテン4)	
76	FAX計算	01~03	01	計算名称	要素01は(ポンプ1 リュウリョウ) 要素02は(ポンプ2 リュウリョウ) 要素03は(ゴウケイ リュウリョウ)	要素01~03は、運用に応じて設定変更して下さい。 要素04~32は、使用しません。
			02	単位名称	全要素 ((m3))	
			03	計算式	要素01は(A01*1): センサ01の積算値*1の式 要素02は(A05*1): センサ05の積算値*1の式 要素03は(F01+F02): 要素01+要素02の式	
			04	計算種別	全要素 (差分)	設定変更しないで下さい。
77	FAX統計	01~32	01~32	各帳票フォーマットに使用する各統計データが設定済みですので、絶対に設定変更しないで下さい。		

## 10. 4 設定文字

### (1) 設定できる文字および本体キーとの対応

キーボードメンテナンスで設定できる文字および本体キーとの対応は、下表の通りです。

注意：■キーボードメンテナンスで設定できる文字は半角文字のみです。

■全角文字(漢字・ひらがな等)については、保守端末で設定可能です。

※ 全角文字はJIS第1水準文字です。ただし、ギリシャ文字、ロシア文字、けい線素片は設定できません。

本体 キー	本体キーを押す回数																										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ																	
2	カ	キ	ク	ケ	コ																						
3	サ	シ	ス	セ	ソ																						
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ																					
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ																						
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ																						
7	マ	ミ	ム	メ	モ																						
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ																					
9	ラ	リ	ル	レ	ロ																						
*	ワ	ヲ	ン	°	ゝ	-	スヘ ーヌ																				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0																	
#	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
→	文字を確定し、カーソルを右に移動する																										
←	文字を確定し、カーソルを左に移動する																										
↑	前の文字を1文字削除する(バックスペース)																										
↓	+	-	*	/	\$	¥	%	,	"	:	:	(	)														

### (2) キーボードメンテナンスでの文字設定手順

例：「センサ1」と設定する場合

1. 「3」を4回押し、「→」を押します。

2. 「\*」を3回押し、「→」を押します。

3. 「3」を1回押し、「→」を押します。

4. 「0」を1回押し、「→」を押します。

5. 入力文字に問題なければ「確定」キーを押します。  
(次項目が表示されます。)

## 11. 参考資料

### ◆ノーマル設定一覧表

ノーマル設定は、以下のシステムデータを順番に表示します。要素のあるものは、要素の数だけ項目を繰り返します。

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
システム	01 IDコード	—	01 ID番号	本装置のID番号を設定	51
			02 IDメッセージ	ID番号の代わりに送出するメッセージを設定	
回線	10 NCU機能	—	01 ダイヤルモード	ダイヤルモード(10/20pps、DTMF)を設定	54
通報	30 通報先	01~16	01 電話番号	通報先の電話番号を設定	62
			02 通報方式	通報方式を設定	
	31 通報グループ	01~05	01 モード1 通報先No	モード1の通報先No(最大8宛先)を設定	64
			05 モード2 通報先No	モード2の通報先No(最大8宛先)を設定	
	36 センサ入力	01~08	03 通報起動条件	通報起動条件を設定	70
			07 モード1 通報	モード1における通報の有無を設定	
			08 モード2 通報	モード2における通報の有無を設定	
			09 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			10 通報	DTMF 異常	
			11 データ	DTMF 復旧	
			12	ポケット 異常	
			13	ベル 復旧	
			14	録音 異常	
			15	メッセージ 復旧	
	37 アナログ入力 (センサ入力) (注1)	(41~44) (注1)	04 通報起動条件	通報起動条件を設定	72
			08 モード1 通報	モード1における通報の有無を設定	
			09 モード2 通報	モード2における通報の有無を設定	
			10 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			11 通報	DTMF 異常	
			12 データ	DTMF 復旧	
			13	ポケット 異常	
			14	ベル 復旧	
			15	録音 異常	
			16	メッセージ 復旧	

注1.「種別(37):アナログ入力/項目(01):端子用途」の設定が「センサ」の場合のみ表示します。(初期値:「センサ」)  
尚、「アナログ」の場合は、ダイレクト設定で設定して下さい。

◆ダイレクト設定一覧表(1/7) 白ヌキ数字は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
システム	01 IDコード	—	01 ID番号	本装置のID番号を設定	51
			02 IDメッセージ	ID番号の変わりに送出するメッセージを設定	
	02 メッセージ 録音条件	—	01 サンプリングレート	サンプリングレートを設定	52
			02 サイレントリムーブ	サイレントリムーブ機能の有無を設定	
			03 しきい値	本項目(02)が「有」の場合、しきい値を設定	
	03 回線断機能	—	01 回線断警報音	検出時、警報音送出の有無を設定	53
			02 出力接点連動	検出時、出力接点連動の有無を設定	
			03 接点No	本項目(02)が「有」の場合、連動させる出力接点No. を設定	
			04 動作印刷	検出時、印刷の有無を設定	
回 線	10 NCU機能	—	01 ダイヤルモード	ダイヤルモード(10/20pps、DTMF)を設定	54
			02 DT検出	DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定	
			03 DT検出タイマ	本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定	
			04 極性反転検出タイマ	極性反転の検出時間を設定	
			05 BT・H&D検出	BT(ビジートーン)及び通報中のH&D検出の有無を設定	
			06 フラッシュ時間	ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定	
			07 回線開放タイマ	前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定	
	11 アンサ信号	—	01 検出周波数	検出周波数を設定	55
			02 有効時間(Min)	有効時間の最小値を設定	
			03 有効時間(Max)	有効時間の最大値を設定	
	12 エンド信号	—	01 エンド信号待ちタイマ	通報DTMFデータ送出後、エンド信号の受信待ち時間を設定	56
			02 検出周波数	検出周波数を設定	
			03 有効時間(Min)	有効時間の最小値を設定	
			04 有効時間(Max)	有効時間の最大値を設定	
	13 DTMF信号	—	01 DTMF送出タイマ	送出時間を設定	57
			02 DTMF休止タイマ	休止時間を設定	
			03 DTMF送出レベル	送出レベルを設定	
			04 アンサ信号後DTMF 送出遅延タイマ	アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定	
自動 応答	20 自動応答	—	01 自動応答機能	自動応答機能の有無を設定	58
			02 自動応答条件	自動応答する条件を設定	
			03 自動応答の設定時間	本項目(02)が「設定時間」の場合、自動応答可能とする時間帯を設定	
			04 自動応答タイマ	自動応答するまでの時間を設定	
			05 自動応答DTMF	自動応答DTMFを設定	
			06 自動応答メッセージ方式	自動応答時、送出するメッセージの方式を設定	
			07 自動応答メッセージ(録音)	本項目(06)が「録音音声」の場合、送出するメッセージを設定	
			08 端子状態通知	端子状態通知機能の有無を設定	
	21 暗証番号	—	01 暗証番号オンラインメンテナンス	オンラインメンテナンスを起動する暗証番号を設定	59
			02 暗証番号 音声制御	音声によるテレコンを起動する暗証番号を設定	
			03 テレコン センタ制御	センタ装置によるテレコンを起動する暗証番号を設定	
			04 エレベータ制御	エレベータホンのテレコンを起動する暗証番号を設定	
			08 暗証番号再入力回数	暗証番号の再入力可能な回数を設定	
			09 暗証番号受信待ちタイマ	自動応答後、暗証番号の受信待ち時間を設定	
	22 テレコントロール	—	01 サービス番号待ちタイマ	1つのサービス番号の受信可能な時間を設定	60
			08 子機番号受信待ちタイマ	暗証番号受信後、子機番号の受信可能な時間を設定	
	23 オンラインメンテナンス	—	01 コマンド待ちタイマ	1つのコマンドの受信待ち時間を設定	61

# ◆ダイレクト設定一覧表(2/7)

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
通 報	30 通報先	01～32	01 電話番号	通報先の電話番号を設定	62
			02 通報方式	通報方式を設定	
			03 応答検出方式	本項目(02)が「DTMF」以外の場合、相手応答の検出方式を設定	
			04 応答タイマ	本項目(03)が「タイマ」の場合、応答時間を設定	
			05 応答DTMF	本項目(03)が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定	
			06 応答後音声メッセージ 送出遅延タイマ	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、相手応答後から 通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定	
			07 音声メッセージ送出タイマ	通報メッセージの送出時間を設定	
			08 音声メッセージ 繰返ポーズタイマ	通報メッセージを繰返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定	
			09 応答後ポケベルデータ 送出遅延タイマ	本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、相手応答後から 通報メッセージまたはDTMFを送出するまでの時間を設定	
			10 DTMF後音声メッセージ 送出遅延タイマ	本項目(02)が「MF+固定/録音」の場合、DTMFデータ 送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	
			11 通報確認	本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、通報確認機能の有無を設定	
			12 通報確認DTMF	本項目(11)が「有」の場合、設定可。 受信するDTMF信号を設定	
			13 臨場音聴取	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、臨場音聴取機能の有無を設定	
			14 臨場音聴取マイク番号	本項目(13)が「有」の場合、聴取するマイクNoを設定	
			15 臨場音聴取監視タイマ	本項目(13)が「有」の場合、聴取する時間を設定	
			16 テレコン起動	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。 通報時、テレコン起動の有無を設定します。	
			17 テレコン制御方式	本項目(16)が「有」の場合、制御方式を設定	
	31 通報グループ	01～32	01 通報先No	モード1の通報先No(最大8宛先)を設定	64
			02 モード1 通報完了条件	モード1での通報終了条件を設定	
			03 特定宛先	本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定宛先の通報先Noを設定	
			04 発呼回数	発呼する回数を設定	
			05 通報先No	モード2の通報先No(最大8宛先)を設定	
			06 モード2 通報完了条件	モード2での通報終了条件を設定	
			07 特定宛先	本項目(05)が「特定宛先」の場合、特定宛先の通報先Noを設定	
			08 発呼回数	発呼する回数を設定	
			09 出力接点連動	接点連動の有無を設定	
			10 接点連動 接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動1の出力接点Noを設定	
			11 1 オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			12 オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			13 接点連動 接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動2の出力接点Noを設定	
			14 2 オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			15 オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			16 接点連動 接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動3の出力接点Noを設定	
			17 3 オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			18 オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			19 接点連動 接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動4の出力接点Noを設定	
			20 4 オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			21 オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			22 接点連動 接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動5の出力接点Noを設定	
			23 5 オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			24 オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	

# ◆ダイレクト設定一覧表(3/7)

機能	種別	要素	設定項目		項目説明	ページ		
通 報	32 通報モード切替	—	01 切替方式	切替方式を設定		66		
			02 外部スイッチセンサNo	本項目(01)が「ボタン」の場合、設定可。 外部スイッチとするセンサNoを設定				
			03 モード切替遅延タイマ(1→2)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード1→2へ切替わるまでの時間を設定				
			04 モード切替遅延タイマ(2→1)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード2→1へ切替わるまでの時間を設定				
			05 モード1開始時刻	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード1の開始時刻を設定				
			06 モード2開始時刻	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の開始時刻を設定				
			07 モード2の曜日(毎週)	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の曜日を設定				
			08 モード2の月日(毎年)	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の月日を設定				
	33 通報動作設定	—	01 通報優先	通報優先の有無を設定		67		
			02 外部停止ボタンセンサNo	外部停止ボタンとするセンサNoを設定				
			03 通報動作印刷	通報時、印刷の有無を設定				
			04 一括通報	一括通報の有無を設定				
			05 センサアナログ通報遅延タイマ	センサ・アナログ通報の遅延時間を設定				
	34 集音マイク	01～02	01 ゲイン初期値	ゲインの初期値を設定		68		
	35 出力接点	01～04	01 待機モード	待機時の接点状態を設定		69		
			02 出力方式	オン時の出力方式を設定				
			03 ワンショットタイマ	本項目(02)が「ワンショット」の場合、オンする時間を設定				
			04 動作記録	動作時、履歴記録の有無を設定				
			05 動作印刷	動作時、印刷の有無を設定				
			06 テレコン応答	オン	テレコン操作時のメッセージを設定			
			07 メッセージ	オフ				
	36 センサ入力	01～08	01 異常モード	異常モードを設定		70		
			02 検出タイマ	検出時間を設定				
			03 通報起動条件	本項目(01)が「メーク」「ブレーク」の場合、通報起動条件を設定				
			04 通報内容	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、固定音声/固定データ通報時の通報内容を設定				
			05 異常積算値	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、異常とする積算値を設定				
			06 定時通報時積算値クリア	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定				
			07 モード1通報	モード1における通報の有無を設定				
			08 モード2通報	モード2における通報の有無を設定				
			09 通報グループNo	通報グループNoを設定				
			10 通報データ	DTMF	異常		DTMF 通報時の通報データを設定	
					復旧			
			12	ポケット	異常		ポケットベル通報時の通報データを設定	
			13	ベル	復旧			
			14	録音	異常		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			15	メッセージ	復旧			
			16 動作記録				動作時、履歴記録の有無を設定	
			17 動作印刷				動作時、印刷の有無を設定	
			18 臨場音聴取				臨場音聴取の有無を設定	

# ◆ダイレクト設定一覧表(4/7)

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
通 報	37 アナログ入力 (センサ入力) 注1	01～04 (41～44)	01 端子用途	端子用途(アナログ/センサ)を設定	72
			02 異常モード	異常モードを設定	
			03 検出タイマ	検出時間を設定	
			04 通報内容	本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定	
			05 しきい値1(HH)	しきい値1を設定	
			06 通報起動条件	通報起動条件を設定	
			07 通報データ	ポケット異常	
			08 異常	ポケットベル復旧	
			09 録音異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			10 メッセージ復旧		
			11 しきい値2(H)	しきい値2を設定	
			12 通報起動条件	通報起動条件を設定	
			13 通報データ	ポケット異常	
			14 異常	ポケットベル復旧	
			15 録音異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			16 メッセージ復旧		
			17 しきい値3(L)	しきい値3を設定	
			18 通報起動条件	通報起動条件を設定	
			19 通報データ	ポケット異常	
			20 異常	ポケットベル復旧	
			21 録音異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			22 メッセージ復旧		
			23 しきい値4(LL)	しきい値4を設定	
			24 通報起動条件	通報起動条件を設定	
			25 通報データ	ポケット異常	
			26 異常	ポケットベル復旧	
			27 録音異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			28 メッセージ復旧		
			29 しきい値5(断線)	しきい値5を設定	
			30 通報起動条件	通報起動条件を設定	
			31 通報データ	ポケット異常	
			32 異常	ポケットベル復旧	
			33 録音異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			34 メッセージ復旧		
			35 通報内容	本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定	
			36 異常積算値	異常とする積算値を設定	
			37 積算時間間隔	積算する時間間隔を設定	
			38 定時通報時積算値クリア	定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
			39 通報データ	DTMF	
			40 (積算値) 録音メッセージ	DTMF通報時の通報データを設定	
			41 モード1通報	ポケット異常	
			42 モード2通報	ポケットベル復旧	
			43 通報グループNo	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			44 定時記録	モード1における通報の有無を設定	
			45 定時印刷	モード2における通報の有無を設定	
			46 臨場音聴取	通報グループNoを設定	
			47 定時間隔で履歴記録の有無を設定	定時間隔で印刷の有無を設定	
			48 定時間隔で臨場音聴取の有無を設定		
38 アナログ 定時印刷・記録	-	-	01 時間間隔	時間間隔を設定	75
			02 開始時刻	開始時刻を設定	
40 AND通報	01～05	01～05	01 端子No.	ANDするセンサ・アナログNo. を設定	76
			02 通報起動条件	通報起動条件を設定	
			03 モード1通報	モード1における通報の有無を設定	
			04 モード2通報	モード2における通報の有無を設定	
			05 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			06 通報データ	DTMF異常	
			07 異常	DTMF通報時の通報データを設定	
			08 録音異常	ポケット異常	
			09 メッセージ復旧	ポケットベル復旧	
			10 録音異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			11 メッセージ復旧		

注1.「本項目(01):端子用途」の設定が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力/項目(01)～(18)」と同一となります。



# ◆ダイレクト設定一覧表(5/7)

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
通 報	41 定時通報	—	01 通報動作	通報動作の有無を設定	78
			02 通報方式	通報方式を設定	
			03 通報時刻1	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	
			04 通報時刻2	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	
			05 通報時刻3	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	
			06 定時間間隔	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	
			07 通報開始時刻	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	
			08 定日設定	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	
			09 定日時刻	本項目(02)が「定日」の場合、通報する時刻を設定	
			10 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			11 通報	DTMF	
			12 データ	ポケットベル	
			13	録音メッセージ	
	42 定時状態通報	—	01 通報動作	通報動作の有無を設定	80
			02 通報方式	通報方式を設定	
			03 通報時刻1	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	
			04 通報時刻2	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	
			05 通報時刻3	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	
			06 定時間間隔	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	
			07 通報開始時刻	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	
			08 定日設定	本項目(02)が「定日」の場合、通報する日または曜日を設定	
			09 定日時刻	本項目(02)が「定日」の場合、通報する時刻を設定	
			10 通報グループNo	通報グループNoを設定	
	43 停電・復電通報	—	01 通報動作	通報動作の有無を設定	82
			02 検出タイマ	検出時間を設定	
			03 通報起動条件	通報起動条件を設定	
			04 通報遅延タイマ	通報遅延時間を設定	
			05 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			06 通報	DTMF	
			07 データ	復電	
			08	ポケット	
			09	ベル	
			10	録音	
			11	メッセージ	
	44 ローバッテリー通報	—	01 通報動作	通報動作の有無を設定	83
			02 検出タイマ	検出時間を設定	
			03 通報遅延タイマ	通報遅延時間を設定	
			04 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			05 通報	DTMF	
			06 データ	ポケットベル	
			07	録音メッセージ	
	45 蓄電池交換通報	—	01 通報動作	通報動作の有無を設定	84
			02 通報時期	通報時期を設定	
			03 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			04 通報	DTMF	
			05 データ	ポケットベル	
			06	録音メッセージ	
	47 モード切替通報	—	01 通報動作	通報動作の有無を設定	85
			03 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			03 通報	DTMF	
			04 データ	モード1	
			05	モード2	
			06	ポケット	
			07	ベル	
			08	録音	

# ◆ダイレクト設定一覧表(6/7)

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
エレベータ ホン	60 通報先Aグループ	01～03	01 電話番号	通報先の電話番号を設定	86
			02 応答DTMF	応答検出するDTMFを設定	
	61 通報先Bグループ	01～03	01 電話番号	通報先の電話番号を設定	87
			02 応答DTMF	応答検出するDTMFを設定	
	62 呼出モード切替	—	01 切替方式	切替方式を設定	88
	63 Aグループタイマ	—	01 時間	Aグループの時間を設定	89
			02 曜日(毎週)	Aグループの曜日を設定	
			03 月日(毎年)	Aグループの月日を設定	
	64 Bグループタイマ	—	01 時間	Bグループの時間を設定	90
			02 曜日(毎週)	Bグループの曜日を設定	
			03 月日(毎年)	Bグループの月日を設定	
	65 通報方式	—	01 通報ガイダンス	通報ガイダンスの有無を設定	91
			02 DTMF受信待ちタイマ	応答後、応答DTMFを受信するまでの時間を設定	
	66 通話方式	—	01 通話形式	通話形式を設定	92
			02 受話レベル	受話レベルを設定	
			03 受話感度	受話感度を設定	
			04 送話感度	送話感度を設定	
			05 長時間通話監視タイマ	通話監視時間を設定	
	67 子機設定	—	01 子機タイプ	子機タイプを設定	93
			02 呼出ボタン押下検出タイマ	呼出ボタンの押下検出時間を設定	

# ◆ダイレクト設定一覧表(7/7)

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
FAX	70 FAX基本	—	01 設置場所名	帳票に表示する設置場所名を設定します。	94
			02 通報先	帳票に表示する通報先名を設定します。	
			03 使用しません	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	
			04 使用しません		
			05 帳票01		
			06 帳票02		
			07 帳票03		
			08 帳票04		
			09 帳票オブジェクト1		
			10 帳票オブジェクト2		
11 帳票オブジェクト3					
12 帳票オブジェクト4					
13 帳票オブジェクト5					
14 帳票オブジェクト6					
15 帳票オブジェクト7					
16 帳票オブジェクト8					
71 FAXセンサ	01～08 41～44	01 センサ種別	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	95	
		02 センサ名称	帳票に表示するセンサ名称を設定します。		
		03 正常時名称	帳票に表示する正常時名称を設定します。		
		04 異常時名称	帳票に表示する異常時名称を設定します。		
		05 単位名称	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。		
		06 計算式			
72 FAXアナログ	01～04	01 アナログセンサ種別	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	96	
		02 アナログセンサ名称	帳票に表示するアナログセンサ名称を設定します。		
		03 正常時名称	帳票に表示する各状態名称を設定します。		
		04 HH／異常時名称			
		05 H時名称			
		06 L時名称			
		07 LL時名称			
		08 断線時名称			
		09 HH復旧時名称			
		10 H復旧時名称			
		11 L復旧時名称			
		12 LL復旧時名称			
		13 断線復旧時名称			
		14 単位名称	アナログ値または積算値に対する単位を設定します。		
		15 計算式	アナログ値または積算値に対する演算式を設定します。		
73 FAX・AND	01～05	01 FAX AND種別	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	98	
		02 センサ名称	帳票に表示するAND名称を設定します。		
		03 正常時名称	帳票に表示する正常時名称を設定します。		
		04 異常時名称	帳票に表示する異常時名称を設定します。		
74 FAXシステム	01～06	01 FAXシステム種別	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	99	
		02 センサ名	帳票に表示する名称を設定します。		
		03 正常時	帳票に表示する正常時名称を設定します。		
		04 異常時	帳票に表示する異常時名称を設定します。		
75 FAX出力接点	01～04	01 FAX出力接点種別	動作履歴の記録対象とする場合に設定します。	100	
		02 接点名称	帳票に表示する出力接点名称を設定します。		
76 FAX計算	01～32	01 FAX計算名	計算名称を設定します。	101	
		02 単位	計算式に対する単位を設定します。		
		03 計算式	計算式を設定します。		
		04 計算種別	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。		
77 FAX統計	01～32	01 適用センサ	キーボードメンテナンスでは、設定変更しないで下さい。	102	
		02 統計形式			
		03 付加情報			

## ◆固定通報メッセージ

「種別(30):通報先/項目(02):通報方式」の設定が「固定音声」「MF+固定音声」の場合は、以下のような固定メッセージを送出します。

### 1. 固定メッセージフォーマット

固定メッセージフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

No	IDコード の設定(注1)	通報形態 (注2)	固定メッセージフォーマット
1	ID番号のみ	個別通報時	「こちらはXXXXです + 標準メッセージ」(注3)
2	設定した場合	一括通報時	「こちらはXXXXです + 通報要因単位のメッセージ」(注3)(注6)
3	IDメッセージも	個別通報時	「IDメッセージ(録音) + 標準メッセージ」(注4)
4	設定した場合	一括通報時	「IDメッセージ(録音) + 通報要因単位のメッセージ」(注4)(注6)

注1. IDコードの設定は、「種別(01):IDコード」で設定

注2. 一括通報の設定は、「種別(33):通報動作設定/項目(04):一括通報」で設定

注3. XXXX:ID番号(MAX:16桁)。「種別(01):IDコード/項目(01):ID番号」で設定

注4. IDメッセージ(録音):録音フレーズ(MAX:1フレーズ)「種別(01):IDコード/項目(02):IDメッセージ」で設定

### 2. 標準メッセージ

標準メッセージは、通報要因、システムデータ設定により、以下のようになります。

通報要因	異常モード (注5)	通報内容 (注5)	標準メッセージ
センサ入力 01~08 41~44	メーク/ブレイク	—	異常時:「センサnnが異常です」 復旧時:「センサnnは異常ありません」 (nn:センサNo. 2桁固定)
	パルス積算 時間積算	異常通報	異常時:「センサnnが異常です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
		積算値通報	異常時:「センサnnが(積算値)です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
アナログ入力 01~04	しきい値	異常通報	異常時:「アナログnnの(しきい値)が異常です」 但し、しきい値5(断線)については 「アナログnnが異常です」 復旧時:「アナログnnの(しきい値)は異常ありません」 但し、しきい値5(断線)については 「アナログnnは異常ありません」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(しきい値):1~4)
		アナログ値通報	異常時:「アナログnnが(アナログ値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(アナログ値):MAX3桁)
	積算値	異常通報	異常時:「アナログnnが異常です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(積算値):MAX8桁)
		積算値通報	異常時:「アナログnnが(積算値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(積算値):MAX8桁)
定時通報	—	—	「定時通報です」
定時状態通報	—	—	次ページを参照願います。
AND通報	—	—	異常時:「センサnnが異常です」 復旧時:「センサnnは異常ありません」 (nn:センサNo. 2桁固定 71~75)
停電・復電通報	—	—	停電時:「停電です」 復電時:「復電しました」
ローバッテリー通報	—	—	異常時:「緊急通報の2です」
蓄電池交換時期通報	—	—	異常時:「緊急通報の3です」
モード切替通報	—	—	モード2→1:「1を開始します」 モード1→2:「2を開始します」

注5. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注6. 通報要因単位のメッセージの例を、以下に記します。

「センサ01 センサ05 センサ06が異常です アナログ01の2が異常です アナログ02が5000です」

センサのメッセージ

アナログのメッセージ

通報要因	標準メッセージ	
定時状態通報	正常時:「定時通報 + (センサ状態) + (センサ積算値情報) + (アナログ状態) + (アナログ値またはアナログ積算値情報)」	
	異常時:「定時通報 故障です」 (通報時にサブCPUに異常がある場合)	
	センサ状態 異常センサ端子 無 異常センサ端子 有	「センサ異常ありません」 「センサnn...センサnnが異常です」 (nn:センサNo. 2桁固定)
	センサ積算値情報 異常モード:パルス/時間積算 通報内容:積算値 の場合のみ送出	「センサnnが(積算値)...センサnnが(積算値)です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
	アナログ状態 異常アナログ端子 無 異常アナログ端子 有	「アナログ異常ありません」 「アナログnnの(しきい値)...アナログnnの(しきい値)が異常です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(しきい値):1~4) 但し、積算値に設定されている端子については、しきい値は無
	アナログ値またはアナログ積算値情報 通報内容:アナログ値/積算値 の場合のみ送出	「アナログnnが(アナログ値)...アナログnnが(積算値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(アナログ値):MAX3桁% (積算値):MAX8桁)

## ◆固定通報DTMFデータ

「種別(30):通報先/項目(02):通報方式」の設定が「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」で、各通報要因の通報データが「未設定」の場合、以下のような固定DTMFデータを送出します。

### 1. データフォーマット

データフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

個別通報時

開始コード	ID番号(MAX16桁) (注1)	種別コード	標準データ 通報データ	終了コード
A		B		A

一括通報時(一括通報時は、固定データと設定したデータが混在する場合があります。)

開始コード	ID番号(MAX16桁) (注1)	標準データ	標準データ	終了コード
A				A

標準データ	標準データ
種別コード	通報データ
Bxx	固定データ
B00	設定データ桁数(2桁固定) 設定データ

注1. ID番号(MAX:16桁)は「種別(01):IDコード/項目(01):ID番号」で設定

### 2. 標準データ

標準データは、通報要因、システムデータ設定により、以下のようになります。

通報要因	異常モード (注2)	通報内容 (注2)	種別	標準データ 通報データ
センサ入力 001~008 041~044	メーク/ブレイク	—	11	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁) (注4、5)
	パルス積算	異常通報	12	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁)
		積算値通報	13	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁)+積算値(5桁)
	時間積算	異常通報	14	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁)
		積算値通報	15	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁)+積算値(5桁)
アナログ入力 001~004	しきい値	異常通報	31	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁) (注4、5)
		アナログ値通報	32	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁)+アナログ値(3桁)
	積算値	異常通報	33	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁)
		積算値通報	34	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁)+アナログ値(8桁)
定時通報	—	—	71	年月日時分(10桁) (注5)
定時状態通報	—	—	72	次ページを参照願います。 (注5)
AND通報 001~005	—	—	41	年月日時分(10桁)+端子No(3桁)+状態(2桁) (注4、5)
停電通報	—	—	81	年月日時分(10桁)+001 (注5)
復電通報	—	—		年月日時分(10桁)+002 (注5)
ローバッテリー通報	—	—		年月日時分(10桁)+003 (注5)
蓄電池交換時期通報	—	—		年月日時分(10桁)+005 (注5)
モート切替通報(2→1)	—	—		年月日時分(10桁)+006 (注5)
モート切替通報(1→2)	—	—		年月日時分(10桁)+007 (注5)
設定データ(注3)	—	—	00	設定データ桁数(2桁)+設定データ

注2. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注3. 設定データは、一括通報時のみ送出される場合があります。

注4. 状態(2桁)データは、以下の通りです。

・センサ/AND状態

00:復旧(正常)

01:異常

09:実装異常(定時状態通報のみ)

・アナログ状態

00:復旧(正常)

01:異常(積算値の場合)

X0:復旧(正常)(X:しきい値1~5)

X1:異常(X:しきい値1~5)

09:実装異常(定時状態通報のみ)

注5. 年月日時分(10桁)データは、以下の通りです。

XX XX XX XX XX  
年(下2桁) 月 日 時 分

—例—

・1999年4月1日9時0分の場合 :99 04 01 09 00

・2000年10月10日21時30分の場合 :00 10 10 21 30

## 定時状態通報

定時状態通報は、以下のデータフォーマットで送出します。

但し、アナログ端子及びANDグループデータは、設定されていない場合、送出しません。

A	ID番号(MAX16桁)	B 72	年月日時分 データ	端子データ 件数(2桁)	センサ端子 データ		センサ端子 データ
---	--------------	------	--------------	-----------------	--------------	--	--------------

種別コード	通報データ
B1X	(年月日時分以外のデータ)

アナログ端子 データ		アナログ端子 データ	ANDグループ データ		ANDグループ データ	A
---------------	--	---------------	----------------	--	----------------	---

種別コード	通報データ
B3X	(年月日時分以外のデータ)

種別コード	通報データ
B41	(年月日時分以外のデータ)

# ◆機能概要表

## 通報関係機能

### ◆通報機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	センサ入力通報	端子毎に以下の3種類から選択できます	種別 (36) (30) (31)	
	異常・復旧通報	センサ入力状態の異常・復旧により通報する		
	パルス積算通報	センサ入力のメークした回数を積算し、積算値(1~65534回)により通報する		
	時間積算通報	センサ入力のメークしている時間(10秒単位)を積算し、積算値(10秒~約182時間)により通報する		
2	アナログ入力通報	端子毎に以下の2種類から選択できます。	種別 (37) (30) (31)	
	異常・復旧通報	アナログ入力状態の異常・復旧(しきい値:5値)により通報する		
	アナログ積算通報	アナログ値を指定時間間隔(1~255分)で積算し、積算値(1~16777214)により通報する		
3	AND条件通報	複数のセンサ・アナログ入力状態のグループ異常/復旧により通報する	種別 (40) (30) (31)	
4	定時通報	指定時刻(最大3時刻)、指定時間間隔(10分~10日)または、指定日により通報する	種別 (41) (30) (31)	
5	定時状態通報	センサ/アナログ入力状態を指定時刻(最大3時刻)、指定時間間隔(10分~10日)または、指定日により通報する	種別 (42) (30) (31)	
6	停電・復電通報	停電発生・復旧の検知(1秒~約16分)により通報する	種別 (43) (30) (31)	
7	ローバッテリー通報	本体蓄電池による動作中、蓄電池の電圧低下により通報する	種別 (44) (30) (31)	
8	蓄電池交換時期通報	蓄電池の交換を設定した交換時期(年月日時分)により通報する	種別 (45) (30) (31)	
9	モード切替通報	通報モード1、2の切り替わりにより通報する	種別 (47) (30) (31)	
10	一括通報	上記1~10の通報が同時に起動または保留した時、設定されている「通報グループ」が同じであれば一括で通報する	種別 (33)	

### ◆通報方式選択機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	固定音声方式	固定メッセージ(登録済)で通報する	種別 (30)	
2	録音音声方式	録音メッセージ(各入力毎に64フレーズ中16フレーズの組み合わせ)で通報する	種別 (30)	
3	DTMF信号方式	DTMF信号(固定または設定)で通報する	種別 (30) (11) (12)	
4	DTMF+固定音声方式	DTMF信号送出後、固定メッセージで通報する	種別 (30)	
5	DTMF+録音音声方式	DTMF信号送出後、録音メッセージで通報する	種別 (30)	
6	ポケットベル方式	ポケットベルにDTMF信号で通報する	種別 (30)	
7	FAX	FAX機で通報する	注1	FAXU

### ◆マンマシン機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報モード切替	モード切替ボタン、内蔵タイマまたは外付スイッチ(タイマ)により、通報モード1、2を切り替える	種別 (32)	
2	通報停止	通報停止ボタンまたは外部停止ボタンにより通報をキャンセルする	種別 (33)	

### ◆通報運動機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	出力接点制御	通報動作に連動して出力接点を制御する	種別 (31) (35)	
2	臨場音聴取	通報終了後、集音マイクにより臨場音を聴取する	種別 (30) (36) (37)	
3	テレコントロール起動	通報終了後、テレコントロールを起動する	種別 (30)	

### ◆履歴記録機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作記録	通報履歴を記録する(最大100件)		
2	センサ動作記録	センサの入力の動作(メーク/ブレイク)履歴を記録する(最大100件)	種別 (36)	
3	アナログ定時記録	アナログ入力の状態(アナログ値)を指定時間間隔(1分~10日)で記録する(最大100件)	種別 (37) (38)	
4	出力接点動作記録	出力接点の動作(メーク/ブレイク)履歴を記録する(最大100件)	種別 (35)	
5	FAX統計	統計(日報/月報)データ、各入力の動作履歴を記録する	注1	FAXU

注1 種別 (30)、(38)、(41)、(42)、(70) ~ (77)



# ◆動作／定時印刷機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作印刷	通報終了時に、通報履歴を外付けプリンタに印刷する	種別 (33)	
2	センサ動作印刷	センサ入力動作（メーク／ブレイク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別 (36)	
3	アナログ定時印刷	アナログ入力の状態（アナログ値）を指定時間間隔（1分～10日）で外付けプリンタに印刷する	種別 (37) (38)	
4	出力接点動作印刷	出力接点動作（メーク／ブレイク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別 (35)	

# エレベータホン関係機能

## ◆基本機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	呼出モード切替	モード切替ボタンまたは内蔵タイマにより、呼出モード（親子通話モードまたはAグループまたはBグループ）を切り替える また、外付スイッチ（タイマ）により、呼出モード（インターホンまたはAグループ）を切り替える	種別 (62)	EVU
2	エレベータ親子通話	エレベータ子機と親機でエレベータ親子通話をする		

## ◆通話機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	エレベータホン通報	エレベータ子機の呼出ボタンを押すことにより、エレベータホン通話先（AグループまたはBグループ）へ通報する	種別 (60) (61)	EVU
2	エレベータホン通話	エレベータホン通話先と子機で通話する		
3	長時間通話監視	エレベータホン通話中に長時間通話監視タイムアウトすると、通話先に対し終話予告音「ピーピー…」を送出し、長時間通話切断タイムアウト後に回線を開放する機能。	種別 (66)	
4	通話延長	終話予告音から30秒以内にDTMF [4] または [#] を受信することにより、終話予告音を停止し長時間監視タイマをリスタートする		

# システム機能

## ◆回線断検出機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	回線断記録	回線断及び復旧履歴として記録する（最大20件）	種別（03）	
2	回線断警報	回線断を検出することにより、警報音を鳴動する		
3	回線断連動接点	回線断を検出に連動して出力接点を制御する		
4	回線断動作印刷	回線断及び復旧時、動作履歴を外付けプリンタに印刷する		

## ◆LCD表示機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	カレンダー表示	現在の月日、曜日、時刻を表示する		
2	モード表示	通報モード（1または2）及び呼出モード（インターホンモードまたはAグループまたはBグループ）を表示する		
3	サービス状態表示	実行中のサービス、及びサービス状態を表示する		
	通報状態表示	通報の要因、状態、結果、保留等を表示する		
	自動応答表示	着信に対して自動応答したことを表示する		
	テレコン状態表示	テレコン起動中であること、及びテレコン用サービス番号またはコマンド番号を表示する		
	オンラインメンテナンス状態表示	オンラインメンテナンス中であること、及びオンラインメンテナンス用コマンド番号を表示する		
	回線断表示	回線断を検出したことを表示する		
	システム一時停止表示	システム一時停止中であることを表示する		
	EEPROM異常表示	システムデータの保存に異常があったことを表示する		
	エレベータホン通報表示	エレベータホン通話中であることを表示する		EVU

## ◆ランプ表示機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	電源ランプ表示	AC電源動作中は電源ランプを点灯表示し、本体蓄電池による動作中は点滅表示する		

## ◆自動応答機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答	着信に対して自動応答し、「こちらは、×…×です」+DTMFデータ [C]（×…×：ID番号）または、録音メッセージを送出する	種別（01）（20）	
2	暗証番号受信	暗証番号 [*○○○○#] の受信により、テレコン（音声制御）、テレコン（センタ装置制御）、テレコン（エレベータホン制御）またはオンラインメンテナンスを起動する	種別（21）	
3	自動状態通知	着信に対して自動応答し、センサ入力全端子の状態を送出する	種別（20）	

# テレコントロール機能

## ◆テレコン音声制御

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン (音声制御) 起動ガイダンス	テレコン (音声制御) の起動により、「サービス番号をどうぞ」を送出する	種別 (21)	
2	サービス番号受信	以下のサービス番号の受信により、各サービスを実行する	種別 (22)	
3	センサ情報収集 個別情報	[#11nn] (nn: センサNo.) の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「異常です」 / 「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (異常)」 / 「録音 (復旧)」 ・nnの41~44がアナログの場合 : 「アナログnnです」	種別 (36)	
	センサ情報収集 全端子情報	[#1199] の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合 : 「異常ありません」 ・異常端子がある場合 : 「センサnn...センサnnが異常です」または「録音 (異常) + 録音 (異常) ... + センサnn...が異常です」		
	センサ情報収集 積算値情報	[#12nn] (nn: センサNo.) の受信により以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「(積算値)」 + 「異常です / 異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「(積算値)」 + 「録音 (異常) / 録音 (復旧)」 ・nnの41~44がアナログの場合 : 「アナログnnです」 (積算値: 最大5桁)		
4	アナログ情報収集 個別情報	[#21nn] (nn: アナログNo.) の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「異常です」 / 「(しきい値No) が異常です」 / 「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (異常)」 / 「録音 (しきい値2または3の復旧)」 ・nn01~04がセンサの場合 : 「センサnnです」 (しきい値No: 1~4)	種別 (37)	
	アナログ情報収集 全端子情報	[#2199] の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合 : 「異常ありません」 ・異常端子がある場合 : 「アナログnnの (しきい値No) ... + アナログnnが異常です」または「録音 (異常) + 録音 (異常) ... + アナログnn...が異常です」		
	アナログ情報収集 アナログ値 (積算値) 情報	[#22nn] (nn: アナログNo.) の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「(積算値)」 + 「異常です / (しきい値No) が異常です / 異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「(積算値)」 + 「録音 (異常) / 録音 (復旧)」 ・nnの01~04がセンサの場合 : 「センサnnです」 (積算値: 最大8桁)		
5	出力接点情報収集 個別情報	[#31nn] (nn: 出力接点No.) の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「オンです」 / 「オフです」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (オン)」 / 「録音 (オフ)」	種別 (35)	
	出力接点情報収集 全端子情報	[#3199] の受信により、以下の音声を送出する ・オン端子がない場合 : 「オンありません」 ・オン端子がある場合 : 「出力接点nn...出力接点nnがオンです」または「録音 (オン) + 録音 (オン) ... + 出力接点nn...がオンです」		
6	出力接点制御 ON/OFF	[#41nn] (nn: 出力接点No.) の受信により、出力接点nnをオンし、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「オンしました」 / 「オフしました」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (オン)」 / 「録音 (オフ)」		
7	集音マイク制御 ON/OFF ゲイン調整	[#420n] (n: マイクNo.) の受信により、「オンしました」を送出後、マイクnをオンする [#6299] の受信により、マイクをオフし、「オフしました」を送出する 集音マイクオン中、[0] (最小) ~ [3] (最大) の受信により、マイクのゲインを制御する	種別 (34)	
8	スピーカー制御 ON/OFF	[#430n] (n: スピーカーNo.) の受信により、「オンしました」を送出後、スピーカnをオンする [#6399] の受信により、スピーカをオフし、「オフしました」を送出する		
9	時計設定 月日/時刻/曜日	[#81MMDD] (MM: 月, DD: 日) の受信により、月日を設定する [#82hhmm] (hh: 時, mm: 分) の受信により、時分を設定する [#83W] (W: 曜日, 日(1)~土(7)) の受信により、曜日を設定する		
10	積算値クリア センサ/アナログ	[#01nn] (nn: センサNo.または99でオールクリア) の受信により、センサ積算値をクリアする [#02nn] (nn: アナログNo.または99でオールクリア) の受信により、アナログ積算値をクリアする		
11	現在状態確認	[#5101] 異常復旧通報帳票に設定されている現在状態を送信します。	注1	FAXU
12	定時状態要素1 (前回)	[#5111] 定時状態通報の要素01の条件で、前回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前日の日報となります。)		
13	定時状態要素1 (前々回)	[#5112] 定時状態通報の要素01の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前々日の日報となります。)		
14	定時状態要素2 (前回)	[#5121] 定時状態通報の要素02の条件で、前回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前月の月報となります。)		
15	定時状態要素2 (前々回)	[#5122] 定時状態通報の要素02の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、前々月の月報となります。)		
16	定時状態要素3 (前回)	[#5131] 定時状態通報の要素03の条件で、前回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、使用しません。)		
17	定時状態要素3 (前々回)	[#5132] 定時状態通報の要素03の条件で、前々回通報された帳票を送信します。 (標準設定では、使用しません。)		
18	制御方式切替 音声/センタ	[#9101] の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える [#9102] の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
19	テレコン終了	[#9999] の受信により、回線を開放する機能。		

注1 種別 (30)、(38)、(41)、(42)、(70) ~ (77)

# ◆テレコンセンタ制御

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン（センタ装置制御）起動ガイダンス	テレコン（センタ装置制御）の起動により、「コントロールを開始します」+DTMFデータ [C] を送出する	種別 (21)	
2	コマンド受信	以下のコマンドの受信により、各サービスを実行する	種別 (22)	
3	センサ全端子情報収集	[#1199] の受信により、全てのセンサ入力の情報を送出する	種別 (36)	
4	アナログ全端子情報収集	[#2199] の受信により、全てのアナログ入力端子の情報を送出する	種別 (37)	
5	出力接点全端子情報収集	[#3199] の受信により、全ての出力接点の情報を送出する	種別 (35)	
6	出力接点制御 ON/OFF	[#41nn] (nn: 出力接点No.) の受信により、出力接点nnをオンする [#61nn] (nn: 出力接点No.) の受信により、出力接点nnをオフする		
7	積算値クリア センサ/アナログ	[#01nn] (nn: センサNo.または99でオールクリア) の受信により、センサ積算値をクリアする [#02nn] (nn: アナログNo.または99でオールクリア) の受信により、アナログ積算値をクリアする		
8	制御方式切替 音声/センタ	[#9101] の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える [#9102] の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
9	テレコン終了	[#9999] の受信により、回線を開放する		

# ◆テレコンエレベータホン制御

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答による エレベータホン通話	エレベータ暗証番号受話後のエレベータ子機番号の受信により、エレベータ子機と個別にエレベータホン通話をする	種別 (21)	EVU
2	サービス番号受信	エレベータホン通話中の以下のサービス番号の受信により、各種サービスを実行する	種別 (22)	
3	プレストーク送話	[2] 受信以降は、かご内の音声をセンターに送出する		
4	プレストーク受話	[3] 受信以降は、センターからの音声がかご内に送出される		
5	通話延長	終話予告音中から30秒以内に [4] または [#] 受信により、終話予告音を停止し、「ビッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートする		
6	終話	[6] 受信により、3秒後に「ビー」を送出し、回線を開放する		
7	一斉受話	[7] 受信により、センターからの音声が全かご内に送出される		
8	再送要求	[8] 受信により、1秒後にセンターへ端末情報を送出する		
9	ハンズフリー通話	[9] 受信により、3秒後に「ビー」を送出し、エレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替える		
10	ハンズフリー 受話レベル調整	[92n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する	種別 (66)	
11	ハンズフリー 受話感度調整	[93n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	種別 (66)	
12	ハンズフリー 送話感度調整	[94n] (n: 0~7) 受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	種別 (66)	
13	テレコン切替	[1] 受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切替える		

# 保守機能

**⚠ 注意:** 保守機能の実行中、本装置は運用停止となるため異常通報等ができません。

通常の監視機能（センサ入力、積算等）も作動しませんので、必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

また保守機能を実行する場合は、以下の事に注意して下さい。

- ・出力端子（出力接点等）が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態（設定）に戻ります。
- ・入力端子（センサやアナログ）が動作している場合は、保守機能終了後に再通報します。
- ・「定時（状態）間隔通報」、「アナログ入力定時記録・印刷」を運用している場合は保守機能実行時に動作間隔はリセットされ、保守機能終了後は、再度開始時刻になるまで動作しません。

## ◆オンラインメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	オンラインメンテナンス起動ガイダンス	オンラインメンテナンスの起動により、「オンラインメンテナンスを開始します」+DTMFデータ [C] を送出する	種別 (21)	
2	コマンド受信	以下のコマンドの受信により、各サービスを起動する	種別 (23)	
3	システムデータ設定アップ/ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ/ダウンロードする		保守用FD
4	音声メッセージの制御録音/再生/消去	<div> [*11XX] (XX:フレーズNo.00~63) の受信により、音声メッセージの録音を行う  [*12XX] (XX:フレーズNo.00~63) の受信により、音声メッセージの再生を行う  [*13XX] (XX:フレーズNo.00~63) の受信により、音声メッセージの消去を行う </div>		
5	コマンド待ちタイマリスタート	[*0000] の受信により、タイマをリスタートする		
6	オンラインメンテナンス終了	[*9999] の受信により、回線を開放する		

## ◆簡易オンラインメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	オンラインメンテナンス簡易待機	キーボードメンテナンスでオンラインメンテナンス待ちにすることで、オンラインメンテナンスを行う		

## ◆オンサイトメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	コマンド受信	RS-232Cインタフェースより、コマンドを受信し、各サービスを起動する		保守用FD
2	システムデータ設定アップ/ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ/ダウンロードする		

## ◆キーボードメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	メッセージ録音	キーボードの操作により、音声メッセージの録音や再生、消去をする		
2	システムデータ設定	キーボードの操作により、システムデータを設定、保存、読み込み、初期化する		
3	日時設定	キーボードの操作により、日付、曜日、時刻を設定、変更する		
4	端子状態表示	キーボードの操作により、センサ、アナログ端子の現在状態をLCDに表示する		
5	履歴表示	キーボードの操作により、記録されている履歴をLCDに表示する		
6	プリントアウト	キーボードの操作により、履歴、システムデータを外付プリンタに印刷する		
7	オンラインメンテナンス	キーボードの操作により、オンラインメンテナンス待ち状態にする		
8	システムバージョン	キーボードの操作により、実装しているメインCPUのバージョンをLCDに表示する		
9	ユニットバージョン	キーボードの操作により、実装しているサブCPUのバージョン及び状態をLCDに表示する		
10	履歴クリア	キーボードの操作により、記録されている履歴をクリアする		
11	積算値クリア	キーボードの操作により、センサ、アナログ端子に記録されている積算値をクリアする		
12	システムオールリセット	キーボードの操作により、システムデータ及び録音メッセージを全て初期化する		

## ◆システム一時停止機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	システム一時停止	設定解除ボタンの3秒連続押下のより、システムを一時的に停止する		

## ◆テレコントロール機能

テレコントロール機能は、電話機(DTMF(PB)信号送出可能であるもの)または専用受信機(センタ装置)から各種のサービス番号(コマンド)送出によって、遠隔操作を行う機能です。

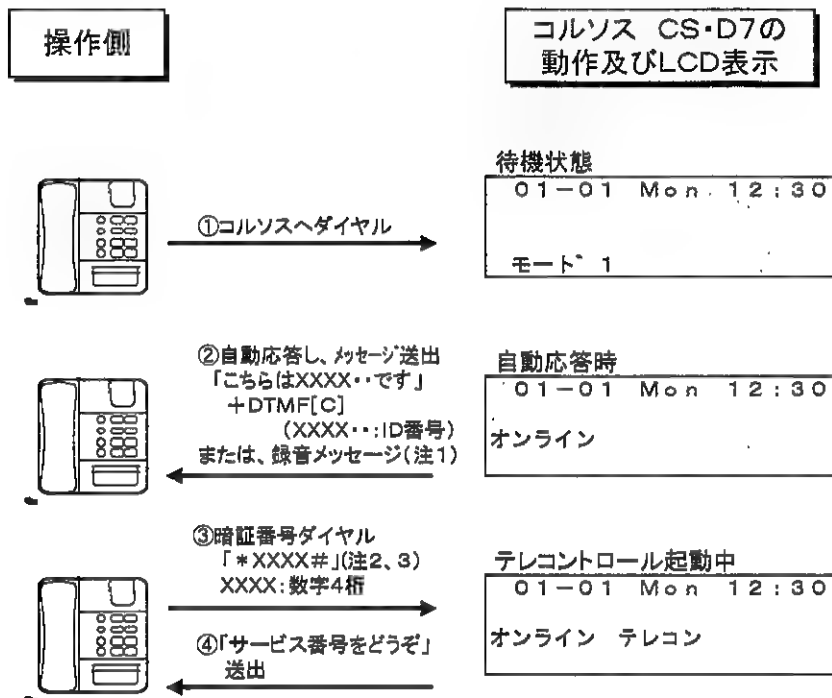
本装置には、以下3つのテレコントロール機能があります。

どのテレコントロール機能を起動するかは、自動応答後の暗証番号(「種別(21):暗証番号」で設定)によって決まります。

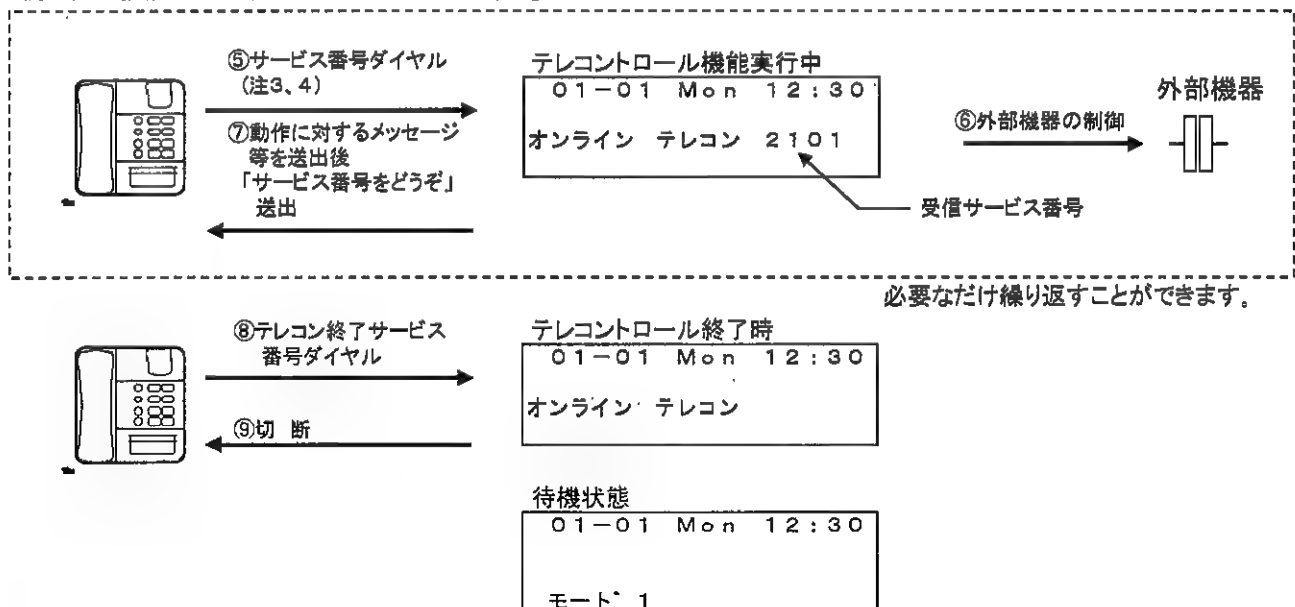
- ①音声制御………音声によるテレコントロール
- ②センタ制御…DTMFデータによるテレコントロール
- ③エレベータ本制御…エレベータホン専用のテレコントロール

各テレコントロールの操作方法は、以下の通りです。

### ①音声制御



例:「出力接点O1を動作させる(外部機器の制御)」の場合



注1. 録音メッセージは、「種別(20):自動応答」で設定して下さい。

注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。

注4. サービス番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール/項目(01):サービス番号待ちタイマ」で設定して下さい。

# 音声制御サービス番号

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	センサ情報収集 個別情報	指定したセンサ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (異常)」／「録音 (復旧)」 ・nnの41～44がアナログの場合 : 「アナログnnです」 ・nnが外部スイッチや外部停止ボタンの場合 : 「異常ありません／録音 (復旧)」	[#11nn] (nn:センサNo)
	センサ情報収集 全端子情報	全センサ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・異常端子がない場合 : 「異常ありません」 ・異常端子がある場合 : 「センサnn・・・センサnnが異常です」または 「録音 (異常) + 録音 (異常)・・・+センサnn・・・が異常です」	[#1199]
	センサ情報収集 積算値情報	指定したセンサ入力端子の積算値と状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「(積算値)」+「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「(積算値)」+「録音 (異常)」／「録音 (復旧)」 ・nnの41～44がアナログの場合 : 「アナログnnです」 (積算値:最大5桁)	
2	アナログ情報収集 個別情報	指定したアナログ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「異常です」／「(しきい値No)が異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (異常)」／「録音 (しきい値2または3の復旧)」 ・nnの41～44がセンサの場合 : 「センサnnです」 (しきい値No:1～4)	[#21nn] (nn:アナログNo)
	アナログ情報収集 全端子情報	全アナログ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・異常端子がない場合 : 「異常ありません」 ・異常端子がある場合 : 「アナログnnの(しきい値No)・・・アナログnnが異常です」または 「録音 (異常) + 録音 (異常)・・・+アナログnn・・・が異常です」	[#2199]
	アナログ情報収集 7桁値 (積算値) 情報	指定したアナログ入力端子の積算値と状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「7桁値 (積算値)」+「異常です」／「mが異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「7桁値 (積算値)」+「録音 (異常)」／「録音 (復旧)」 ・nnの41～44がセンサの場合 : 「センサnnです」 (7桁値:最大3桁 積算値:最大8桁)	[#22nn] (nn:アナログNo)
3	出力接点情報収集 個別情報	指定した出力接点端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「オンです」／「オフです」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (オン)」／「録音 (オフ)」	[#31nn] (nn:出力接点No)
	出力接点情報収集 全端子情報	全出力接点端子の状態を以下の音声で送出する ・オン端子がない場合 : 「オンありません」 ・オン端子がある場合 : 「接点出力nn・・・接点出力nnがオンです」または 「録音 (オン) + 録音 (オン)・・・+接点nn・・・がオンです」	[#3199]
4	出力接点制御 ON/OFF	指定した出力接点端子をオンまたはオフし、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合 : 「オンしました」／「オフしました」 ・録音音声の設定ありの場合 : 「録音 (オン)」／「録音 (オフ)」	オン: [#41nn] オフ: [#61nn] (nn:出力接点No)
5	集音マイク制御 ON/OFF ゲイン調整	指定したマイクをオンまたはオフする ・オンの場合 : 「オンしました」を送出後、マイクをオンする ・オフの場合 : マイクをオフし、「オフしました」を送出する 集音マイクON中、[0]～[3]の受信により、マイクのゲインを制御する	オン: [#420n] オフ: [#6299] (n:マイクNo)
6	スピーカ制御 ON/OFF	指定したスピーカをオンまたはオフする ・オンの場合 : 「オンしました」を送出後、スピーカをオンする ・オフの場合 : スピーカをオフし、「オフしました」を送出する	オン: [#430n] オフ: [#6399] (n:スピーカNo)
7	時計設定 月日/時刻/曜日	時計 (月日/曜日/時刻)を設定し、設定完了後「ピー」を送出する	月日: [#81mmdd] (mm:月, dd:日) 時分: [#82hhmm] (hh:時, mm:分) 曜日: [#83w] (w:曜日, 日(1)～土(7))
8	積算値クリア センサ/アナログ	センサ/アナログ端子の積算値をクリアし、クリア完了後「ピー」を送出する	センサ: [#01nn] (nn:センサNoまたは 99でオールクリア) アナログ: [#02nn] (nn:アナログNoまたは 99でオールクリア)
9	現在状態確認	異常復旧通報帳票に設定されている現在状態を送信する	[#5101]
10	定時状態要素1 (前回)	定時状態通報の要素01の条件で、前回通報された帳票を送信する (標準設定では、前日曜日となりす)	[#5111]
11	定時状態要素1 (前々回)	定時状態通報の要素01の条件で、前々回通報された帳票を送信する (標準設定では、前々日曜日となりす)	[#5112]
12	定時状態要素2 (前回)	定時状態通報の要素02の条件で、前回通報された帳票を送信する (標準設定では、前月の月報となりす)	[#5121]
13	定時状態要素2 (前々回)	定時状態通報の要素02の条件で、前々回通報された帳票を送信する (標準設定では、前々月の月報となりす)	[#5122]
14	定時状態要素3 (前回)	定時状態通報の要素03の条件で、前回通報された帳票を送信する (標準設定では、使用しません)	[#5131]
15	定時状態要素3 (前々回)	定時状態通報の要素03の条件で、前々回通報された帳票を送信する (標準設定では、使用しません)	[#5132]
16	制御方式切替 音声/センタ	テレコントロール制御方式を (音声制御/センタ制御) を切り替える 音声→センタに切り替えた場合、DTMF [**]を送出する	センタ→音声: [#9101] 音声→センタ: [#9102]
17	テレコン終了	テレコントロールを終了し、回線を開放する	[#9999]

注) No. 10～15は、FAXU (オプション) 機能

## ②センター制御

### 操作側

### コルソス CS・D7の 動作及びLCD表示



①コルソスヘダイヤル

待機状態

01-01 Mon 12:30

モード 1



②自動応答し、メッセージ送出  
「こちらはXXXX・・です」  
+DTMF[C]  
(XXXX・・:ID番号)  
または、録音メッセージ(注1)

自動応答時

01-01 Mon 12:30

オンライン



③暗証番号ダイヤル  
「\*XXXX#」(注2、3)  
XXXX:数字4桁

テレコントロール起動中

01-01 Mon 12:30

オンライン テレコン

④「コントロールを開始します」  
+DTMF[C]送出

例:「出力接点O1を動作させる(外部機器の制御)」の場合



⑤コマンドダイヤル  
(注3、4)

⑦動作に対するDTMFデータ  
または確認コマンド[\*\*]  
等を送出

テレコントロール機能実行中

01-01 Mon 12:30

オンライン テレコン 2101

⑥外部機器の制御

外部機器

受信コマンド

必要だけ繰り返すことができます。



⑧テレコン終了コマンド  
ダイヤル

⑨切断

テレコントロール終了時

01-01 Mon 12:30

オンライン テレコン

待機状態

01-01 Mon 12:30

モード 1

注1. 録音メッセージは、「種別(20):自動応答」で設定して下さい。

注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

注3. 誤った暗証番号やコマンドを受信すると「##」(エラーコマンド)をセンター装置に送出します。

注4. コマンドの受信可能な時間は、「種別(23):オンラインメンテナンス/項目(01):コマンド待ちタイマ」で設定して下さい。



## センタ制御コマンド

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	センサ全端子情報収集	全センサ入力端子の状態をDTMFで送出する（送出データは次ページ参照）	[#1199]
2	アナログ全端子情報収集	全アナログ入力端子の状態をDTMF信号で送出する（送出データは次ページ参照）	[#2199]
3	出力接点全端子情報収集	全出力接点端子の状態をDTMF信号で送出する（送出データは次ページ参照）	[#3199]
4	出力接点制御 ON/OFF	指定した出力接点端子をオンまたはオフし、DTMF[**]を送出する	オン：[#41nn] オフ：[#61nn] (nn：出力接点No)
5	積算値クリア センサ／アナログ	センサ／アナログ端子の積算値をクリアし、DTMF[**]を送出する	センサ：[#01nn] (nn：センサNoまたは 99でオールクリア) アナログ：[#02nn] (nn：アナログNoまたは 99でオールクリア)
6	制御方式切替 音声／センタ	テレコントロール制御方式を（音声制御／センタ制御）を切り替える 音声→センタに切り替えた場合、DTMF[**]を送出する	センタ→音声：[#9101] 音声→センタ：[#9102]
7	テレコン終了	テレコントロールを終了し、回線を開放する	[#9999]

## センタ制御送出データ

センタ制御において、情報収集コマンド([ #1199]等)を受信した場合、以下のようなDTMFデータを送出します。

### 1. データフォーマット

データフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

開始コード				終了コード
A	端子データ		端子データ	A
端子データ				
種別コード	情報データ			
Bxx				

### 2. 端子データ

端子データは、受信コマンドにより、以下のようになります。

#### ①センサ全端子情報収集[ #1199]

[ #1199]の受信により、全てのセンサ入力(アナログをセンサとして使用しているものを含む)とANDを以下の順に送出する

送出順: センサ01...センサ08.....センサ41...センサ44.....AND01...AND05

(センサ41~44がアナログ入力の端子やAND通報が設定されていない場合は、送出しない)

送出情報	異常モード (注1)	通報内容 (注1)	端子データ		状態(2桁)データ
			種別	情報データ	
センサ001~008 センサ041~044 (注2)	メーク/ブレイク	—	11	端子No(3桁)+状態(2桁)	00: 復旧(正常)
	パルス積算	異常通報	12	端子No(3桁)+状態(2桁)	01: 異常
		積算値通報	13	端子No(3桁)+状態(2桁)+積算値(5桁)	09: 実装異常
	時間積算	異常通報	14	端子No(3桁)+状態(2桁)	
		積算値通報	15	端子No(3桁)+状態(2桁)+積算値(5桁)	
AND001~005	—	—	41	端子No(3桁)+状態(2桁)	

注1. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注2. 外部スイッチ及び外部停止ボタンとして使用している端子の状態は正常(00)を送出する。

#### ②アナログ全端子情報収集[ #2199]

[ #2199]の受信により、全てのアナログ入力を以下の順に送出する

送出順: アナログ01...アナログ04

(アナログ01~04がセンサ入力の端子は、送出しない)

送出情報	異常モード (注1)	通報内容 (注1)	端子データ		状態(2桁)データ
			種別	情報データ	
[ #2199] アナログ001~004	しきい値	異常通報	31	端子No(3桁)+状態(2桁)	00: 復旧(正常)
		アナログ値通報	32	端子No(3桁)+状態(2桁)+アナログ値(3桁)	01: 異常(積算値の場合)
	積算値	異常通報	33	端子No(3桁)+状態(2桁)	X1: 異常(X: しきい値1~5)
		積算値通報	34	端子No(3桁)+状態(2桁)+アナログ値(8桁)	09: 実装異常

注1. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

#### ③出力接点全端子情報収集[ #3199]

[ #3199]の受信により、全ての出力接点を以下の順に送出する

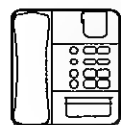
送出順: 出力接点01...出力接点04

送出情報	異常モード (注1)	通報内容 (注1)	端子データ		状態(2桁)データ
			種別	情報データ	
[ #3199] 出力接点001~004	—	—	91	端子No(3桁)+状態(2桁)	00: オフ 01: オン 09: 実装異常

### ③エレベータホン制御

操作側

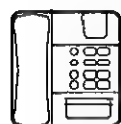
コルソス CS・D7の  
動作及びLCD表示



①コルソスヘダイヤル

待機状態

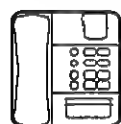
01-01 Mon 12:30  
モード 1



②自動応答し、メッセージ送出  
「こちらはXXXX・・です」  
(XXXX・・:ID番号)  
または  
録音メッセージ(注1)

自動応答時

01-01 Mon 12:30  
オンライン



③暗証番号ダイヤル  
「\*XXXX#」(注2、3)  
XXXX:数字4桁

テレコントロール起動中

01-01 Mon 12:30  
オンライン エレベータホン

④DTMF信号による  
ID番号送出(注5)



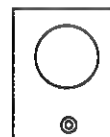
⑤子機番号ダイヤル  
(2桁)(注6)

テレコントロール起動中

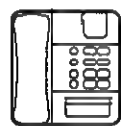
01-01 Mon 12:30  
オンライン エレベータホン

⑥確認音「ピー」を送出

インターホン子機



エレベータホン通話状態

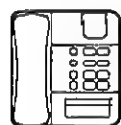


⑦サービス番号ダイヤル  
(注3、4)

テレコントロール機能実行中

01-01 Mon 12:30  
オンライン エレベータホン

⑧サービス番号に対する  
確認音「ピー」等を送出



⑨終話サービス番号  
ダイヤル

テレコントロール終了時

01-01 Mon 12:30  
オンライン エレベータホン

⑩3秒後に「ピー」音  
送出し切断

必要なだけ繰り返すことができます。

待機状態

01-01 Mon 12:30  
モード 1

注1. 録音メッセージは、「種別(20):自動応答」で設定して下さい。

注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッ」というエラー音を電話機に送出します。

注4. サービス番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール/項目(01):サービス番号待ちタイマ」で設定して下さい。

注5. ID番号は「種別(01):IDコード/項目(01):ID番号」で設定して下さい。

注6. 子機番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール/項目(02):子機番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

## エレベータホン制御サービス番号

No.	機能名称	機能内容	サービス番号
1	自動応答によるエレベータ通話	エレベータ暗証番号受信後のエレベータ子機番号の受信により、エレベータ子機と個別にエレベータホン通話をする	
2	ブレストーク送話	かご内の音声をセンターに送出する	[2]
3	ブレストーク受話	センターからの音声がかご内に送出される	[3]
4	通話延長	終話予告音中から30秒以内DTMF [4] または [#] 受信により、終話予告音を停止し、「ピッピッピ」音を送出後、通話監視タイマをリスタートする	[4] または [#]
5	終話	3秒後に「ピー」を送出し、回線を開放する	[6]
6	一斉受話	センターからの音声が全かご内に送出される	[7]
7	再送要求	1秒後にセンターへの端末情報を送出する	[8]
8	ハンズフリー通話	3秒後に「ピー」を送出し、エレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替える	[9]
9	ハンズフリー受話レベル調整	ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する	[92 n]
10	ハンズフリー受話感度調整	ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	[93 n] (n: 0~7)
11	ハンズフリー送話感度調整	ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	[94 n] (n: 0~7)
12	テレコン切替	エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ切り替える	[1]

## ◆オンラインメンテナンス機能(保守機能)

オンラインメンテナンス機能は、電話機(DTMF(PB)信号送出可能であるもの)または専用受信機(センタ装置)から各種のコマンド送出によって、遠隔操作を行う機能です。

また保守端末(保守用FDが動作可能なパソコン)を使用してシステムデータのアップ/ダウンロード等も行えます。



**注意:** 保守機能の実行中、本装置は運用停止となるため異常通報等ができません。

通常の監視機能(センサ入力、積算等)も作動しませんので、必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

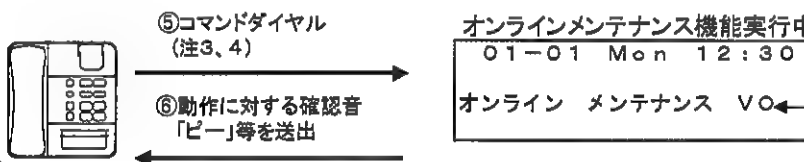
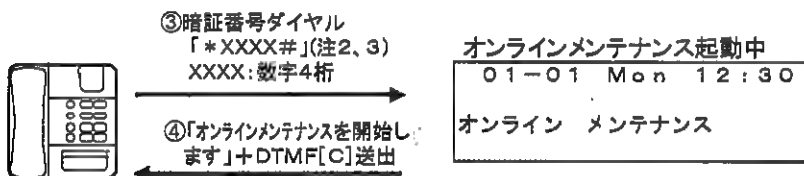
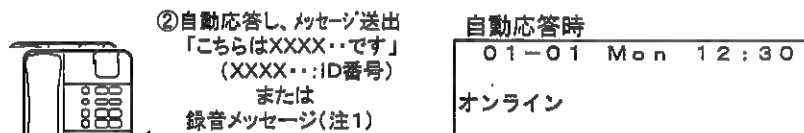
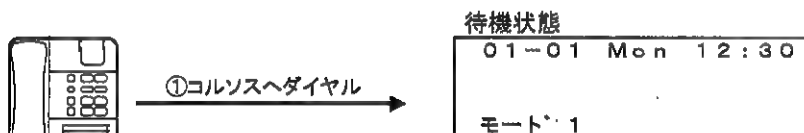
また、保守機能を実行する場合は、以下の事に注意して下さい。

- ・出力端子(出力接点等)が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態(設定)に戻ります。
- ・入力端子(センサやアナログ)が動作している場合は、保守機能終了後に再通報します。
- ・「定時(状態)間隔通報」、「アナログ入力定時記録・印刷」を運用している場合は、保守機能実行時に動作間隔はリセットされ、保守機能終了後は、再度開始時刻になるまで動作しません。

### ①電話機からのオンラインメンテナンス機能

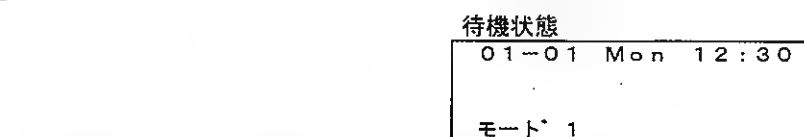
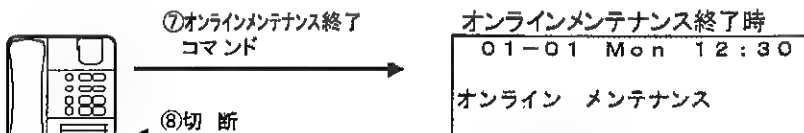
操作側

コルソス CS・D7の  
動作及びLCD表示



コマンドに対する表示  
・VO:録音/再生時  
・DW:システムデータダウンロード  
・UP:システムデータアップロード

必要なだけ繰り返すことができます。



注1. 録音メッセージは、「種別(20):自動応答」で設定して下さい。

注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。

注4. コマンドの受信可能な時間は、「種別(23):オンラインメンテナンス/項目(01):コマンド待ちタイマ」で設定して下さい。

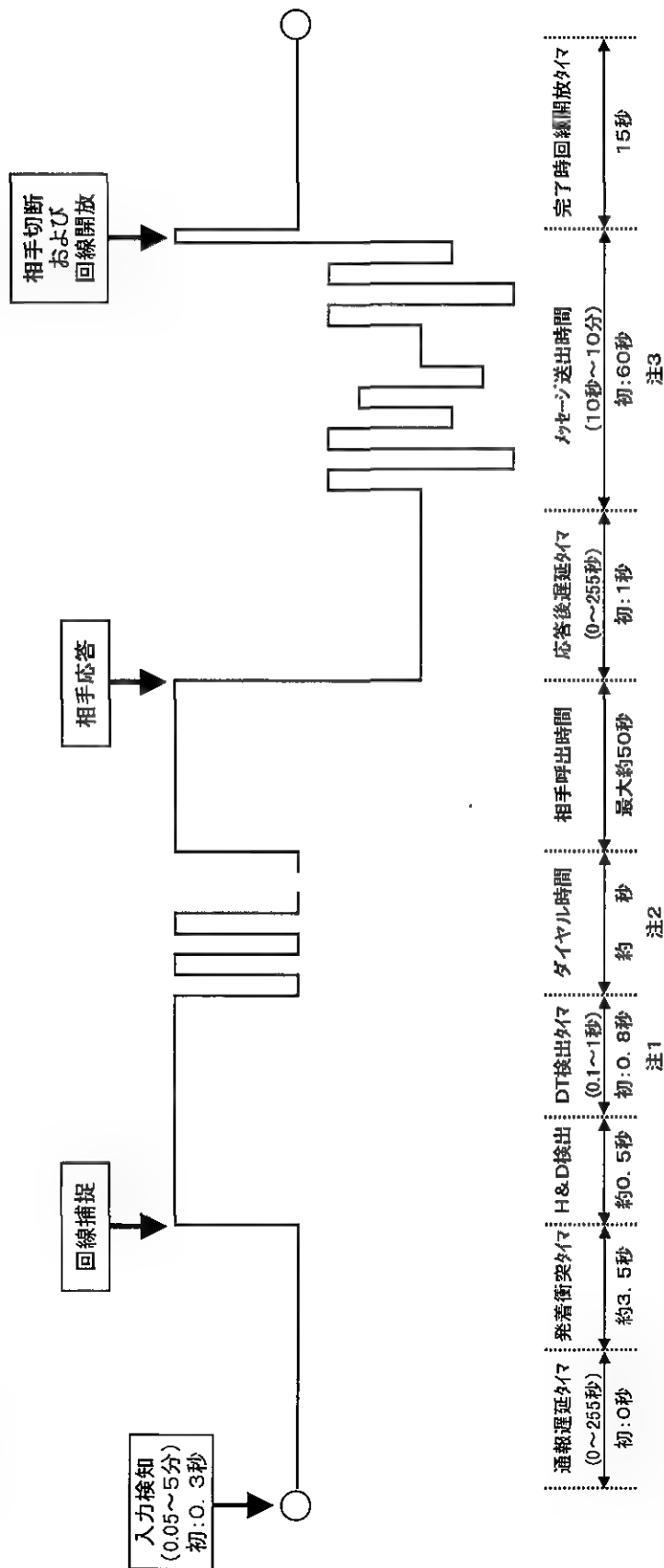
## オンラインメンテナンスコマンド

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	システムデータ設定 アップ/ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ/ダウンロードする	—
2	音声メッセージの制御	<p>本装置の録音メッセージフレーズを制御する</p> <p>録音の場合：指定されたフレーズが録音済みの場合、エラー音「ビッピッピ」を送出する</p> <p>再生の場合：指定されたフレーズが未録音の場合、エラー音「ビッピッピ」を送出する</p> <p>消去の場合：指定されたフレーズが未録音の場合、エラー音「ビッピッピ」を送出する</p> <p>消去完了後「ピー」を送出する</p> <p>注意：録音の場合、録音終了コマンド[*]音が50ms程度フレーズに録音されます。</p>	<p>録音：[*11xx] 後20秒以内に[*]で録音開始</p> <p>再度[*]で録音終了</p> <p>再生：[*12xx]</p> <p>[*]で再生停止</p> <p>消去：[*13xx]</p> <p>(xx：フレーズNo. 00~63)</p>
3	コマンド待ちタイマリスタート	コマンド待ちタイマをリスタートする	[*0000]
4	オンラインメンテナンス終了	オンラインメンテナンスを終了し、回線を開放する	[*9999]

# CS-D7 音声通報タイミングチャート

## ①正常終了の場合

( )内はシステムデーターで設定可能。「初:XXX秒」はシステムデーター初期値。



注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイム約3.2秒となる。

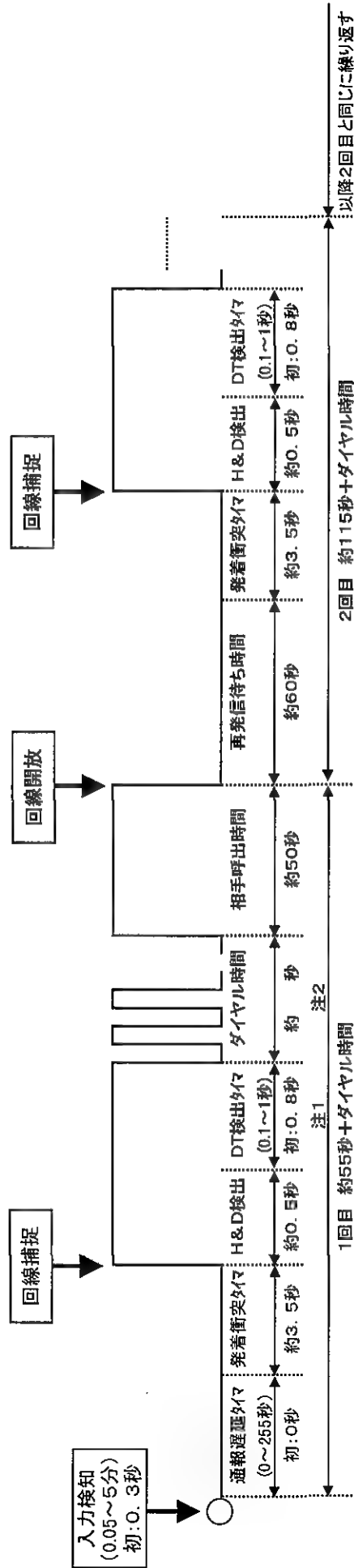
注2. DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

注3. メッセージの1フレーズ途中切断は、通信切断となり再通報する。

# CS・D7 音声通報タイミングチャート

## ②相手不応答時の場合(通報先設定:1宛先)

( )内はシステムデータで設定可能。「初:XXX秒」はシステムデータ初期値。



注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3.2秒となる。

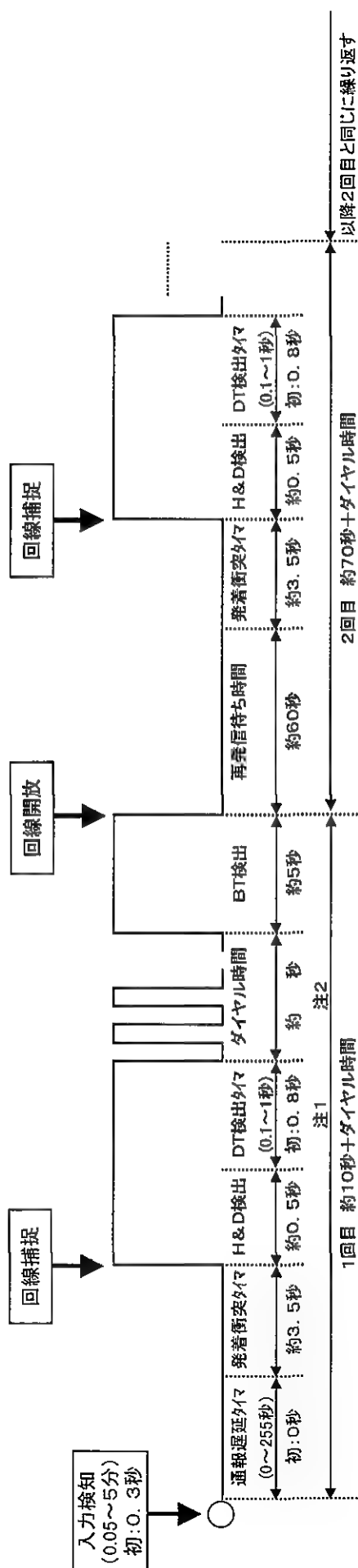
注2. DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。



## CS・D7 音声通報タイミングチャート

### ③相手話中時の場合(通報先設定:1宛先)

( )内はシステムデータで設定可能。「初:XXX秒」はシステムデータ初期値。



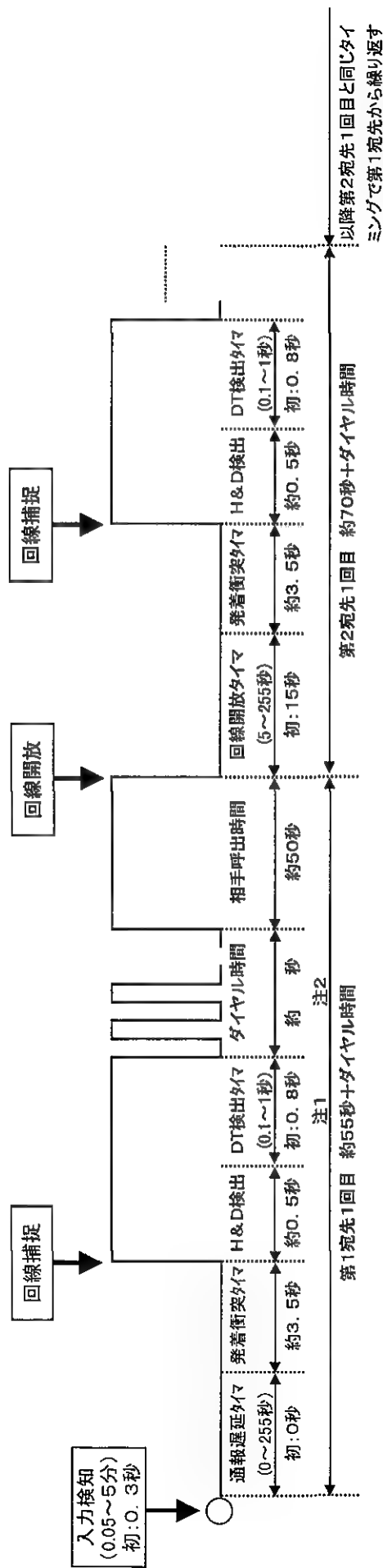
注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイム約3.2秒となる。

注2. DP、PB、ダイヤル析数により異なる。

# CS・D7 音声通報タイミングチャート

## ④相手不応答時の場合(通報先設定:2宛先)

( )内はシステムデーターで設定可能。「初:XXX秒」はシステムデーター初期値。



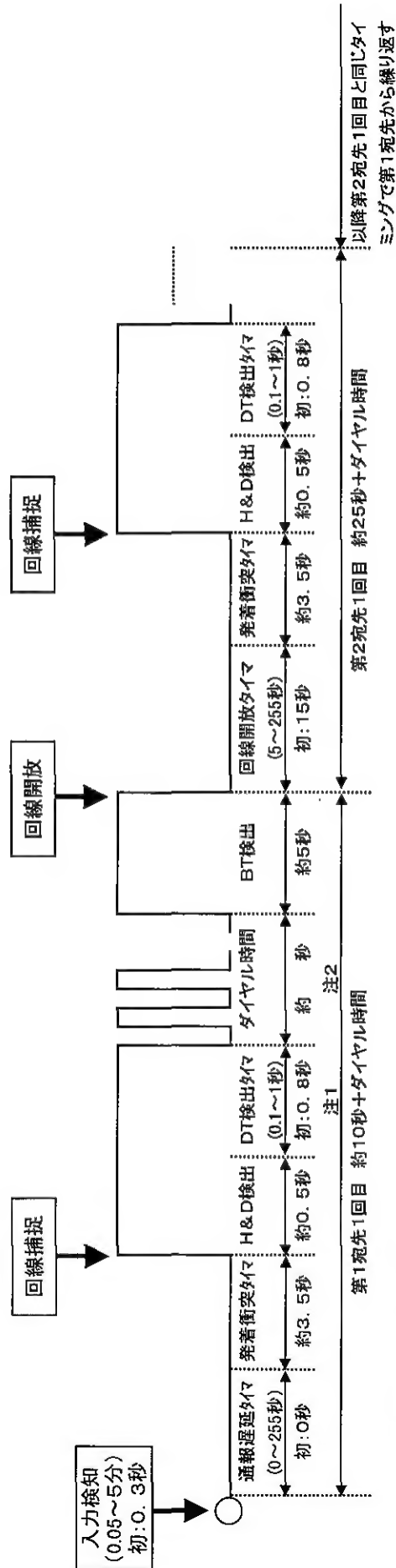
注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイム約3.2秒となる。

注2. DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

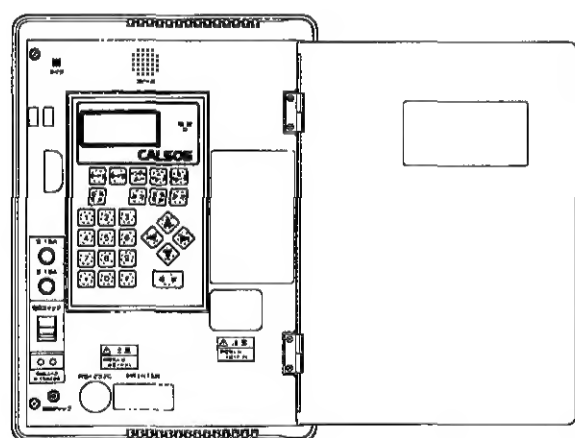
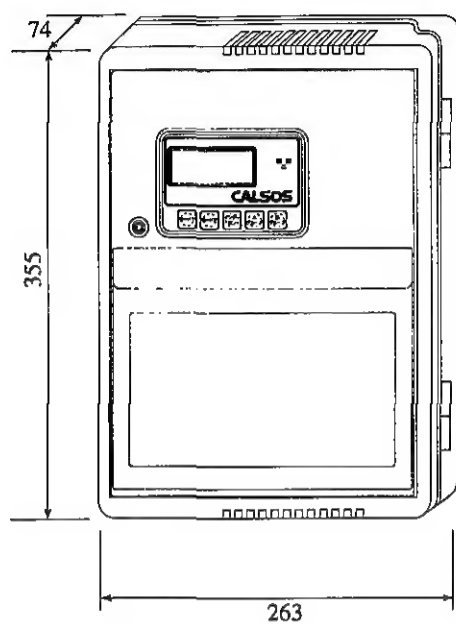
# CS・D7 音声通報タイミングチャート

## ⑤相手話中時の場合(通報先設定:2宛先)

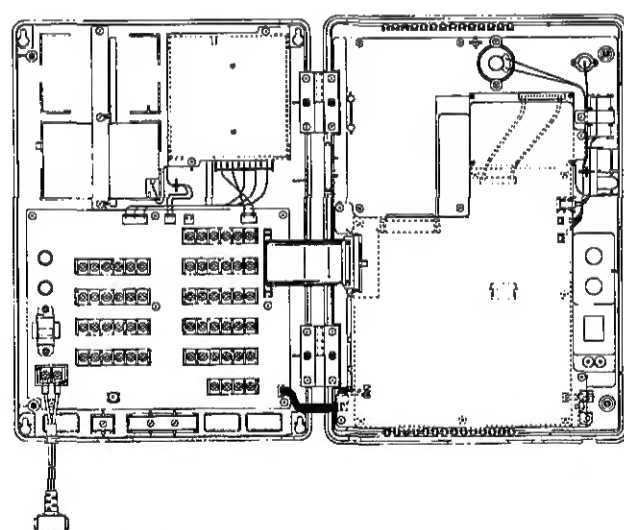
( )内はシステムデーターで設定可能。「初:XXX秒」はシステムデーター初期値。



# ◆CS・D7通報装置外観図 (1/2)



外カバー扉を開いた状態



内カバー扉を開いた状態

# ◆CS・D7通報装置外観図（2/2）

